本文

官報

第七千百四十二號

明治四十年四月二十四日　水曜日

印刷局

○法律

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル刑法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十年四月二十三日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
陸軍大臣　寺内正毅
農商務大臣　松岡康毅
海軍大臣　齋藤實
大藏大臣　法學博士阪谷芳郎
遞信大臣　山縣伊三郎
司法大臣　松田正久
内務大臣　原敬
文部大臣　牧野伸顯
外務大臣　子爵林董

法律第四十五號

刑法別册ノ通之ヲ定ム

此法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十三年第三十六號布告刑法ハ此法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

（別册）

刑法

第一編　總則

第一章　法例
第二章　刑
第三章　期間計算
第四章　刑ノ執行猶豫
第五章　假出獄
第六章　時效
第七章　犯罪ノ不成立及ヒ刑ノ減免
第八章　未遂罪
第九章　併合罪
第十章　累犯
第十一章　共犯
第十二章　酌量減輕
第十三章　加減例

第二編　罪

第一章　皇室ニ對スル罪
第二章　内亂ニ關スル罪
第三章　外患ニ關スル罪
第四章　國交ニ關スル罪
第五章　公務ノ執行ヲ妨害スル罪
第六章　逃走ノ罪
第七章　犯人藏匿及ヒ證憑湮滅ノ罪
第八章　騷擾ノ罪
第九章　放火及ヒ失火ノ罪
第十章　溢水及ヒ水利ニ關スル罪
第十一章　往來ヲ妨害スル罪
第十二章　住居ヲ侵ス罪
第十三章　祕密ヲ侵ス罪
第十四章　阿片煙ニ關スル罪
第十五章　飮料水ニ關スル罪

第7142号　本文

第十六章　通貨僞造ノ罪
第十七章　文書僞造ノ罪
第十八章　有價證劵僞造ノ罪
第十九章　印章僞造ノ罪
第二十章　僞證ノ罪
第二十一章　誣告ノ罪
第二十二章　猥褻、姦淫及ヒ重婚ノ罪
第二十三章　賭博及ヒ富籤ニ關スル罪
第二十四章　禮拜所及ヒ墳墓ニ關スル罪
第二十五章　瀆職ノ罪
第二十六章　殺人ノ罪
第二十七章　傷害ノ罪
第二十八章　過失傷害ノ罪
第二十九章　墮胎ノ罪
第三十章　遺棄ノ罪
第三十一章　逮捕及ヒ監禁ノ罪
第三十二章　脅迫ノ罪
第三十三章　略取及ヒ誘拐ノ罪
第三十四章　名譽ニ對スル罪
第三十五章　信用及ヒ業務ニ對スル罪
第三十六章　竊盜及ヒ强盜ノ罪
第三十七章　詐欺及ヒ恐喝ノ罪
第三十八章　橫領ノ罪
第三十九章　贓物ニ關スル罪
第四十章　毀棄及ヒ隱匿ノ罪

刑法

第一編　總則

第一章　法例

第一條　本法ハ何人ヲ問ハス帝國内ニ於テ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

帝國外ニ在ル帝國船舶内ニ於テ罪ヲ犯シタル者ニ付キ亦同シ

第二條　本法ハ何人ヲ問ハス帝國外ニ於テ左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一　第七十三條乃至第七十六條ノ罪
二　第七十七條乃至第七十九條ノ罪
三　第八十一條乃至第八十九條ノ罪
四　第百四十八條ノ罪及ヒ其未遂罪
五　第百五十四條、第百五十五條、第百五十七條及ヒ第百五十八條ノ罪
六　第百六十二條及ヒ第百六十三條ノ罪
七　第百六十四條乃至第百六十六條ノ罪及ヒ第百六十四條第二項、第百六十五條第二項、第百六十六條第二項ノ未遂罪

第三條　本法ハ帝國外ニ於テ左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル帝國臣民ニ之ヲ適用ス

一　第百八條、第百九條第一項ノ罪、第百八條、第百九條第一項ノ例ニ依リ處斷ス可キ罪及ヒ此等ノ罪ノ未遂罪
二　第百十九條ノ罪
三　第百五十九條乃至第百六十一條ノ罪
四　第百六十七條ノ罪及ヒ同條第二項ノ未遂罪
五　第百七十六條乃至第百七十九條、第百八十一條及ヒ第百八十四條ノ罪
六　第百九十九條、第二百條ノ罪及ヒ其未遂罪
七　第二百四條及ヒ第二百五條ノ罪
八　第二百十四條乃至第二百十六條ノ罪
九　第二百十八條ノ罪及ヒ同條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル罪
十　第二百二十條及ヒ第二百二十一條ノ罪
十一　第二百二十四條乃至第二百二十八條ノ罪
十二　第二百三十條ノ罪
十三　第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條乃至第二百四十一條及ヒ第二百四十三條ノ罪
十四　第二百四十六條乃至第二百五十條ノ罪
十五　第二百五十三條ノ罪
十六　第二百五十六條第二項ノ罪

帝國外ニ於テ帝國臣民ニ對シ前項ノ罪ヲ犯シタル外國人ニ付キ亦同シ

第四條　本法ハ帝國外ニ於テ左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル帝國ノ公務員ニ之ヲ適用ス

一　第百一條ノ罪及ヒ其未遂罪
二　第百五十六條ノ罪
三　第百九十三條、第百九十五條第二項、第百九十七條ノ罪及ヒ第百九十五條第二項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル罪

第五條　外國ニ於テ確定裁判ヲ受ケタル者ト雖モ同一行爲ニ付キ更ニ處罰スルコトヲ妨ケス但犯人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第六條　犯罪後ノ法律ニ因リ刑ノ變更アリタルトキハ其輕キモノヲ適用ス

第七條　本法ニ於テ公務員ト稱スルハ官吏、公吏、法令ニ依リ公務ニ從事スル議員、委員其他ノ職員ヲ謂フ

公務所ト稱スルハ公務員ノ職務ヲ行フ所ヲ謂フ

第八條　本法ノ總則ハ他ノ法令ニ於テ刑ヲ定メタルモノニ亦之ヲ適用ス但其法令ニ特別ノ規定アルトキハ此限ニ在ラス

第二章　刑

第九條　死刑、懲役、禁錮、罰金、拘留及ヒ科料ヲ主刑トシ沒收ヲ附加刑トス

第十條　主刑ノ輕重ハ前條記載ノ順序ニ依ル但無期禁錮ト有期懲役トハ禁錮ヲ以テ重シトシ有期禁錮ノ長期有期懲役ノ長期ノ二倍ヲ超ユルトキハ禁錮ヲ以テ重シトス

同種ノ刑ハ長期ノ長キモノ又ハ多額ノ多キモノヲ以テ重シトシ長期又ハ多額ノ同シキモノハ其短期ノ長キモノ又ハ寡額ノ多キモノヲ以テ重シトス

二個以上ノ死刑又ハ長期若クハ多額及ヒ短期若クハ寡額ノ同シキ同種ノ刑ハ犯情ニ依リ其輕重ヲ定ム

第十一條　死刑ハ監獄内ニ於テ絞首シテ之ヲ執行ス

死刑ノ言渡ヲ受ケタル者ハ其執行ニ至ルマテ之ヲ監獄ニ拘置ス

第十二條　懲役ハ無期及ヒ有期トシ有期懲役ハ一月以上十五年以下トス

懲役ハ監獄ニ拘置シ定役ニ服ス

第十三條　禁錮ハ無期及ヒ有期トシ有期禁錮ハ一月以上十五年以下トス

禁錮ハ監獄ニ拘置ス

第十四條　有期ノ懲役又ハ禁錮ヲ加重スル場合ニ於テハ二十年ニ至ルコトヲ得之ヲ減輕スル場合ニ於テハ一月以下ニ降スコトヲ得

第十五條　罰金ハ二十圓以上トス但之ヲ減輕スル場合ニ於テハ二十圓以下ニ降スコトヲ得

第十六條　拘留ハ一日以上三十日未滿トシ拘留場ニ拘置ス

第十七條　科料ハ十錢以上二十圓未滿トス

第十八條　罰金ヲ完納スルコト能ハサル者ハ一日以上一年以下ノ期間之ヲ勞役場ニ留置ス

科料ヲ完納スルコト能ハサル者ハ一日以上三十日以下ノ期間之ヲ勞役場ニ留置ス

科料ヲ併科シタル場合ト雖モ留置ノ期間ハ六十日ヲ超ユルコトヲ得ス

罰金又ハ科料ノ言渡ヲ爲ストキハ其言渡ト共ニ罰金又ハ科料ヲ完納スルコト能ハサル場合ニ於ケル留置ノ期間ヲ定メ之ヲ言渡ス可シ

罰金ニ付テハ裁判確定後三十日内科料ニ付テハ裁判確定後十日内ハ本人ノ承諾アルニ非サレハ留置ノ執行ヲ爲スコトヲ得ス

罰金又ハ科料ノ言渡ヲ受ケタル者其幾分ヲ納メタルトキハ罰金又ハ科料ノ全額ト留置日數トノ割合ニ從ヒ其金額ニ相當スル日數ヲ控除シテ之ヲ留置ス」留置期間内罰金又ハ科料ヲ納ムルトキハ前項ノ割合ヲ以テ殘日數ニ充ツ」留置一日ノ割合ニ滿タサル金額ハ之ヲ納ムルコトヲ得ス

第十九條　左ニ記載シタル物ハ之ヲ沒收スルコトヲ得

一　犯罪行爲ヲ組成シタル物
二　犯罪行爲ニ供シ又ハ供セントシタル物
三　犯罪行爲ヨリ生シ又ハ之ニ因リ得タル物

沒收ハ其物犯人以外ノ者ニ屬セサルトキニ限ル

第二十條　拘留又ハ科料ノミニ該ル罪ニ付テハ特別ノ規定アルニ非サレハ沒收ヲ科スルコトヲ得ス但前條第一項第一號ニ記載シタル物ノ沒收ハ此限ニ在ラス

第二十一條　未決勾留ノ日數ハ其全部又ハ一部ヲ本刑ニ算入スルコトヲ得

第三章　期間計算

第二十二條　期間ヲ定ムルニ月又ハ年ヲ以テシタルトキハ暦ニ從ヒテ之ヲ計算ス

第二十三條　刑期ハ裁判確定ノ日ヨリ起算ス

拘禁セラレサル日數ハ裁判確定後ト雖モ刑期ニ算入セス

第二十四條　受刑ノ初日ハ時間ヲ論セス全一日トシテ之ヲ計算ス時效期間ノ初日亦同シ

放免ハ刑期終了ノ翌日ニ於テ之ヲ行フ

第四章　刑ノ執行猶豫

第二十五條　左ニ記載シタル者二年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタルトキハ情狀ニ因リ裁判確定ノ日ヨリ一年以上五年以下ノ期間内其執行ヲ猶豫スルコトヲ得

一　前ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者
二　前ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトアルモ其執行ヲ終リ又ハ其執行ノ免除ヲ得タル日ヨリ七年以内ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

第二十六條　左ニ記載シタル場合ニ於テハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消ス可シ

一　猶豫ノ期間内更ニ罪ヲ犯シ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
二　猶豫ノ言渡前ニ犯シタル他ノ罪ニ付キ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
三　前條第二號ニ記載シタル者ヲ除ク外猶豫ノ言渡前他ノ罪ニ付キ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコト發覺シタルトキ

第二十七條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サルルコトナクシテ猶豫ノ期間ヲ經過シタルトキハ刑ノ言渡ハ其效力ヲ失フ

第五章　假出獄

第二十八條　懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者改悛ノ狀アルトキハ有期刑ニ付テハ其刑期三分ノ一無期刑ニ付テハ十年ヲ經過シタル後行政官廳ノ處分ヲ以テ假ニ出獄ヲ許スコトヲ得

第二十九條　左ニ記載シタル場合ニ於テハ假出獄ノ處分ヲ取消スコトヲ得

一　假出獄中更ニ罪ヲ犯シ罰金以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
二　假出獄前ニ犯シタル他ノ罪ニ付キ罰金以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
三　假出獄前他ノ罪ニ付キ罰金以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其刑ノ執行ヲ爲ス可キトキ

第7142号　本文

四　假出獄取締規則ニ違背シタルトキ

假出獄ノ處分ヲ取消シタルトキハ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入セス

第三十條　拘留ニ處セラレタル者ハ情狀ニ因リ何時ニテモ行政官廳ノ處分ヲ以テ假ニ出場ヲ許スコトヲ得

罰金又ハ科料ヲ完納スルコト能ハサルニ因リ留置セラレタル者亦同シ

第六章　時效

第三十一條　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ハ時效ニ因リ其執行ノ免除ヲ得

第三十二條　時效ハ刑ノ言渡確定シタル後左ノ期間內其執行ヲ受ケサルニ因リ完成ス

一　死刑ハ三十年
二　無期ノ懲役又ハ禁錮ハ二十年
三　有期ノ懲役又ハ禁錮ハ十年以上ハ十五年、三年以上ハ十年、三年未滿ハ五年
四　罰金ハ三年
五　拘留、科料及ヒ沒收ハ一年

第三十三條　時效ハ法令ニ依リ執行ヲ猶豫シ又ハ之ヲ停止シタル期間內ハ進行セス

第三十四條　時效ハ刑ノ執行ニ付キ犯人ヲ逮捕シタルニ因リ之ヲ中斷ス

罰金、科料及ヒ沒收ノ時效ハ執行行爲ヲ爲シタルニ因リ之ヲ中斷ス

第七章　犯罪ノ不成立及ヒ刑ノ減免

第三十五條　法令又ハ正當ノ業務ニ因リ爲シタル行爲ハ之ヲ罰セス

第三十六條　急迫不正ノ侵害ニ對シ自己又ハ他人ノ權利ヲ防衛スル爲メ已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス

防衛ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第三十七條　自己又ハ他人ノ生命、身體、自由若クハ財產ニ對スル現在ノ危難ヲ避クル爲メ已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ其行爲ヨリ生シタル害其避ケントシタル害ノ程度ヲ超エサル場合ニ限リ之ヲ罰セス但其程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

前項ノ規定ハ業務上特別ノ義務アル者ニハ之ヲ適用セス

第三十八條　罪ヲ犯ス意ナキ行爲ハ之ヲ罰セス但法律ニ特別ノ規定アル場合ハ此限ニ在ラス

罪本重カル可クシテ犯ストキ知ラサル者ハ其重キニ從テ處斷スルコトヲ得ス

法律ヲ知ラサルヲ以テ罪ヲ犯ス意ナシト爲スコトヲ得ス但情狀ニ因リ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第三十九條　心神喪失者ノ行爲ハ之ヲ罰セス

心神耗弱者ノ行爲ハ其刑ヲ減輕ス

第四十條　瘖啞者ノ行爲ハ之ヲ罰セス又ハ其刑ヲ減輕ス

第四十一條　十四歲ニ滿タサル者ノ行爲ハ之ヲ罰セス

第四十二條　罪ヲ犯シ未タ官ニ發覺セサル前自首シタル者ハ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

告訴ヲ待テ論ス可キ罪ニ付キ告訴權ヲ有スル者ニ首服シタル者亦同シ

第八章　未遂罪

第四十三條　犯罪ノ實行ニ著手シ之ヲ遂ケサル者ハ其刑ヲ減輕スルコトヲ得但自己ノ意思ニ因リ之ヲ止メタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第四十四條　未遂罪ヲ罰スル場合ハ各本條ニ於テ之ヲ定ム

第九章　併合罪

第四十五條　確定裁判ヲ經サル數罪ヲ併合罪トス若シ或罪ニ付キ確定裁判アリタルトキハ止タ其罪ト其裁判確定前ニ犯シタル罪トヲ併合罪トス

第四十六條　併合罪中其一罪ニ付キ死刑ニ處ス可キトキハ他ノ刑ヲ科セス但沒收ハ此限ニ在ラス

其一罪ニ付キ無期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス可キトキ亦他ノ刑ヲ科セス但罰金、科料及ヒ沒收ハ此限ニ在ラス

第四十七條　併合罪中二個以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス可キ罪アルトキハ其最モ重キ罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘタルモノヲ以テ長期トス但各罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ヲ合算シタルモノニ超ユルコトヲ得ス

第四十八條　罰金ト他ノ刑トハ之ヲ併科ス但第四十六條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

二個以上ノ罰金ハ各罪ニ付キ定メタル罰金ノ合算額以下ニ於テ處斷ス

第四十九條　併合罪中重キ罪ニ沒收ナシト雖モ他ノ罪ニ沒收アルトキハ之ヲ附加スルコトヲ得

二個以上ノ沒收ハ之ヲ併科ス

第五十條　併合罪中既ニ裁判ヲ經タル罪ト未タ裁判ヲ經サル罪トアルトキハ更ニ裁判ヲ經サル罪ニ付キ處斷ス

第五十一條　併合罪ニ付キ二個以上ノ裁判アリタルトキハ其刑ヲ併セテ之ヲ執行ス但死刑ヲ執行ス可キトキハ沒收ヲ除ク外他ノ刑ヲ執行セス無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ執行ス可キトキハ罰金、科料及ヒ沒收ヲ除ク外他ノ刑ヲ執行セス有期ノ懲役又ハ禁錮ノ執行ハ其最モ重キ罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘタルモノニ超ユルコトヲ得ス

第五十二條　併合罪ニ付キ處斷セラレタル者或罪ニ付キ大赦ヲ受ケタル場合ニ於テハ特ニ大赦ヲ受ケサル罪ニ付キ刑ヲ定ム

第五十三條　拘留又ハ科料ト他ノ刑トハ之ヲ併科ス但第四十六條ノ場合ハ此限ニ在ラス

二個以上ノ拘留又ハ科料ハ之ヲ併科ス

第五十四條　一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸レ又ハ犯罪ノ手段若クハ結果タル行爲ニシテ他ノ罪名ニ觸ルルトキハ其最モ重キ刑ヲ以テ處斷ス

第四十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第五十五條　連續シタル數個ノ行爲ニシテ同一ノ罪名ニ觸ルルトキハ一罪トシテ之ヲ處斷ス

第十章　累犯

第五十六條　懲役ニ處セラレタル者其執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年內ニ更ニ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キトキハ之ヲ再犯トス

懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ニ因リ死刑ニ處セラレタル者其執行ノ免除アリタル日ヨリ又ハ減刑ニ因リ懲役ニ減輕セラレ其執行ヲ終リ若クハ執行ノ免除アリタル日ヨリ前項ノ期間內ニ更ニ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處ス可キトキ亦同シ

併合罪ニ付キ處斷セラレタル者其併合罪中懲役ニ處ス可キ罪アリタルトキハ其罪最重ノモノニ非スト雖モ再犯例ノ適用ニ付テハ懲役ニ處セラレタルモノト看做ス

第五十七條　再犯ノ刑ハ其罪ニ付キ定メタル懲役ノ長期ノ二倍以下トス

第五十八條　裁判確定後再犯者タルコトヲ發見シタルトキハ前條ノ規定ニ從ヒ加重ス可キ刑ヲ定ム

懲役ノ執行ヲ終リタル後又ハ其執行ノ免除アリタル後發見セラレタル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第五十九條　三犯以上ノ者ト雖モ仍ホ再犯ノ例ニ同シ

第十一章　共犯

第六十條　二人以上共同シテ犯罪ヲ實行シタル者ハ皆正犯トス

第六十一條　人ヲ敎唆シテ犯罪ヲ實行セシメタル者ハ正犯ニ準ス

敎唆者ヲ敎唆シタル者亦同シ

第六十二條　正犯ヲ幇助シタル者ハ從犯トス

從犯ヲ敎唆シタル者ハ從犯ニ準ス

第六十三條　從犯ノ刑ハ正犯ノ刑ニ照シテ減輕ス

第六十四條　拘留又ハ科料ノミニ處ス可キ罪ノ敎唆者及ヒ從犯ハ特別ノ規定アルニ非サレハ之ヲ罰セス

第六十五條　犯人ノ身分ニ因リ構成ス可キ犯罪行爲ニ加功シタルトキハ其身分ナキ者ト雖モ仍ホ共犯トス

身分ニ因リ特ニ刑ノ輕重アルトキハ其身分ナキ者ニハ通常ノ刑ヲ科ス

第十二章　酌量減輕

第六十六條　犯罪ノ情狀憫諒ス可キモノハ酌量シテ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第六十七條　法律ニ依リ刑ヲ加重又ハ減輕スル場合ト雖モ仍ホ酌量減輕ヲ爲スコトヲ得

第十三章　加減例

第六十八條　法律ニ依リ刑ヲ減輕ス可キ一個又ハ數個ノ原由アルトキハ左ノ例ニ依ル

一　死刑ヲ減輕ス可キトキハ無期又ハ十年以上ノ懲役若クハ禁錮トス
二　無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ減輕ス可キトキハ七年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮トス
三　有期ノ懲役又ハ禁錮ヲ減輕ス可キトキハ其刑期ノ二分ノ一ヲ減ス
四　罰金ヲ減輕ス可キトキハ其金額ノ二分ノ一ヲ減ス
五　拘留ヲ減輕ス可キトキハ其長期ノ二分ノ一ヲ減ス
六　科料ヲ減輕ス可キトキハ其多額ノ二分ノ一ヲ減ス

第六十九條　法律ニ依リ刑ヲ減輕ス可キ場合ニ於テ各本條ニ二個以上ノ刑名アルトキハ先ツ適用ス可キ刑ヲ定メ其刑ヲ減輕ス

第七十條　懲役、禁錮又ハ拘留ヲ減輕スルニ因リ一日ニ滿タサル時間ヲ剩ストキハ之ヲ除棄ス

罰金又ハ科料ヲ減輕スルニ因リ一錢ニ滿タサル金額ヲ剩ストキ亦同シ

第七十一條　酌量減輕ヲ爲ス可キトキ亦第六十八條及ヒ前條ノ例ニ依ル

第七十二條　同時ニ刑ヲ加重減輕ス可キトキハ左ノ順序ニ依ル

一　再犯加重
二　法律上ノ減輕
三　併合罪ノ加重
四　酌量減輕

第二編　罪

第一章　皇室ニ對スル罪

第七十三條　天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子又ハ皇太孫ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

第七十四條　天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子又ハ皇太孫ニ對シ不敬ノ行爲アリタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

神宮又ハ皇陵ニ對シ不敬ノ行爲アリタル者亦同シ

第七十五條　皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處シ危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期懲役ニ處ス

第七十六條　皇族ニ對シ不敬ノ行爲アリタル者ハ二月以上四年以下ノ懲役ニ處ス

第二章　內亂ニ關スル罪

第七十七條　政府ヲ顚覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ內亂ノ罪ト爲シ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　首魁ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

第7142号 本文

二　謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ禁錮ニ處シ其他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

三　附和隨行シ其他單ニ暴動ニ干與シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス但前項第三號ニ記載シタル者ハ此限ニ在ラス

第七十八條　內亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

第七十九條　兵器、金穀ヲ資給シ又ハ其他ノ行爲ヲ以テ前二條ノ罪ヲ幇助シタル者ハ七年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十條　前二條ノ罪ヲ犯スト雖モ未タ暴動ニ至ラサル前自首シタル者ハ其刑ヲ免除ス

第三章　外患ニ關スル罪

第八十一條　外國ニ通謀シテ帝國ニ對シ戰端ヲ開カシメ又ハ敵國ニ與シテ帝國ニ抗敵シタル者ハ死刑ニ處ス

第八十二條　要塞、陣營、軍隊、艦船其他軍用ニ供スル場所又ハ建造物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

兵器、彈藥其他軍用ニ供スル物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十三條　敵國ヲ利スル爲メ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥、汽車、電車、鐵道、電線其他軍用ニ供スル場所又ハ物ヲ損壞シ若クハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十四條　帝國ノ軍用ニ供セサル兵器、彈藥其他直接ニ戰鬪ノ用ニ供ス可キ物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第八十五條　敵國ノ爲メニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幇助シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役ニ處ス

軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタル者亦同シ

第八十六條　前五條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第八十七條　前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十八條　第八十一條乃至第八十六條ニ記載シタル罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第八十九條　本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第四章　國交ニ關スル罪

第九十條　帝國ニ滯在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

帝國ニ滯在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス但外國政府ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第九十一條　帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス但被害者ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第九十二條　外國ニ對シ侮辱ヲ加フル目的ヲ以テ其國ノ國旗其他ノ國章ヲ損壞、除去又ハ汚穢シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但外國政府ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第九十三條　外國ニ對シ私ニ戰鬪ヲ爲ス目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス但自首シタル者ハ其刑ヲ免除ス

第九十四條　外國交戰ノ際局外中立ニ關スル命令ニ違背シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五章　公務ノ執行ヲ妨害スル罪

第九十五條　公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

公務員ヲシテ或處分ヲ爲サシメ若クハ爲ササラシムル爲メ又ハ其職ヲ辭セシムル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者亦同シ

第九十六條　公務員ノ施シタル封印又ハ差押ノ標示ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ封印又ハ標示ヲ無效タラシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六章　逃走ノ罪

第九十七條　既決、未決ノ囚人逃走シタルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第九十八條　既決、未決ノ囚人又ハ勾引狀ノ執行ヲ受ケタル者拘禁場又ハ械具ヲ損壞シ若クハ暴行、脅迫ヲ爲シ又ハ二人以上通謀シテ逃走シタルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第九十九條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ奪取シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其他逃走ヲ容易ナラシム可キ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百一條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ看守又ハ護送スル者被拘禁者ヲ逃走セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第七章　犯人藏匿及ヒ證憑湮滅ノ罪

第百三條　罰金以上ノ刑ニ該ル罪ヲ犯シタル者又ハ拘禁中逃走シタル者ヲ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四條　他人ノ刑事被告事件ニ關スル證憑ヲ湮滅シ又ハ僞造、變造シ若クハ僞造、變造ノ證憑ヲ使用シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五條　本章ノ罪ハ犯人又ハ逃走者ノ親族ニシテ犯人又ハ逃走者ノ利益ノ爲メニ犯シタルトキハ之ヲ罰セス

第八章　騷擾ノ罪

第百六條　多衆聚合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ騷擾ノ罪ト爲シ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　首魁ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三　附和隨行シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七條　暴行又ハ脅迫ヲ爲ス爲メ多衆聚合シ當該公務員ヨリ解散ノ命令ヲ受クルコト三回以上ニ及フモ仍ホ解散セサルトキハ首魁ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其他ノ者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九章　放火及ヒ失火ノ罪

第百八條　火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在スル建造物、汽車、電車、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第百九條　火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用セス又ハ人ノ現在セサル建造物、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス但公共ノ危險ヲ生セサルトキハ之ヲ罰セス

第百十條　火ヲ放テ前二條ニ記載シタル以外ノ物ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ物自己ノ所有ニ係ルトキハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十一條　第百九條第二項又ハ前條第二項ノ罪ヲ犯シ因テ第百八條又ハ第百九條第一項ニ記載シタル物ニ延燒シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前條第二項ノ罪ヲ犯シ因テ前條第一項ニ記載シタル物ニ延燒シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百十二條　第百八條及ヒ第百九條第一項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百十三條　第百八條又ハ第百九條第一項ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ其刑ヲ免除スルコトヲ得

第百十四條　火災ノ際鎭火用ノ物ヲ隱匿又ハ損壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ鎭火ヲ妨害シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十五條　第百九條第一項及ヒ第百十條第一項ニ記載シタル物自己ノ所有ニ係ルト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シ若クハ保險ニ付シタルモノヲ燒燬シタルトキハ他人ノ物ヲ燒燬シタル者ノ例ニ同シ

第百十六條　火ヲ失シテ第百八條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ燒燬シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

火ヲ失シテ自己ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物又ハ第百十條ニ記載シタル物ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者亦同シ

第百十七條　火藥、汽罐其他激發ス可キ物ヲ破裂セシメテ第百八條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ放火ノ例ニ同シ自己ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物又ハ第百十條ニ記載シタル物ヲ損壞シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者亦同シ

前項ノ行爲過失ニ出テタルトキハ失火ノ例ニ同シ

第百十八條　瓦斯、電氣又ハ蒸汽ヲ漏出若クハ流出セシメ又ハ之ヲ遮斷シ因テ人ノ生命、身體又ハ財產ニ危險ヲ生セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

瓦斯、電氣又ハ蒸汽ヲ漏出若クハ流出セシメ又ハ之ヲ遮斷シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第十章　溢水及ヒ水利ニ關スル罪

第百十九條　溢水セシメテ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在スル建造物、汽車、電車若クハ鑛坑ヲ浸害シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十條　溢水セシメテ前條ニ記載シタル以外ノ物ヲ浸害シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

浸害シタル物自己ノ所有ニ係ルトキハ差押ヲ受ケ、物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シ若クハ保險ニ付シタル場合ニ限リ前項ノ例ニ依ル

第百二十一條　水害ノ際防水用ノ物ヲ隱匿又ハ損壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ水防ヲ妨害シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十二條　過失ニ因リ溢水セシメテ第百十九條ニ記載シタル物ヲ浸害シ又ハ第百二十條ニ記載シタル物ヲ浸害シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第7142号 本文

第百二十三條　堤防ヲ決潰シ、水閘ヲ破壞シ其他水利ノ妨害ト爲ル可キ行爲又ハ溢水セシム可キ行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一章　往來ヲ妨害スル罪

第百二十四條　陸路、水路又ハ橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シテ往來ノ妨害ヲ生セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第百二十五條　鐵道又ハ其標識ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ汽車又ハ電車ノ往來ノ危險ヲ生セシメタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

燈臺又ハ浮標ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメタル者亦同シ

第百二十六條　人ノ現在スル汽車又ハ電車ヲ顚覆又ハ破壞シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

人ノ現在スル艦船ヲ覆沒又ハ破壞シタル者亦同シ

前二項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第百二十七條　第百二十五條ノ罪ヲ犯シ因テ汽車又ハ電車ノ顚覆若クハ破壞又ハ艦船ノ覆沒若クハ破壞ヲ致シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第百二十八條　第百二十四條第一項、第百二十五條及ヒ第百二十六條第一項、第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百二十九條　過失ニ因リ汽車、電車又ハ艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメ又ハ汽車、電車ノ顚覆若クハ破壞又ハ艦船ノ覆沒若クハ破壞ヲ致シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

其業務ニ從事スル者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二章　住居ヲ侵ス罪

第百三十條　故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若クハ艦船ニ侵入シ又ハ要求ヲ受ケテ其場所ヨリ退去セサル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十一條　故ナク皇居、禁苑、離宮又ハ行在所ニ侵入シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

神宮又ハ皇陵ニ侵入シタル者亦同シ

第百三十二條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十三章　祕密ヲ侵ス罪

第百三十三條　故ナク封緘シタル信書ヲ開披シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十四條　醫師、藥劑師、藥種商、產婆、辯護士、辯護人、公證人又ハ此等ノ職ニ在リシ者故ナク其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知得タル人ノ祕密ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

宗教若クハ禱祀ノ職ニ在ル者又ハ此等ノ職ニ在リシ者故ナク其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知得タル人ノ祕密ヲ漏泄シタルトキ亦同シ

第百三十五條　本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第十四章　阿片煙ニ關スル罪

第百三十六條　阿片煙ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十七條　阿片煙ヲ吸食スル器具ヲ輸入、製造又ハ販賣シ若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十八條　稅關官吏阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ヲ輸入シ又ハ其輸入ヲ許シタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十九條　阿片煙ヲ吸食シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

阿片煙ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖リタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十條　阿片煙又ハ阿片煙吸食ノ器具ヲ所持シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十一條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十五章　飮料水ニ關スル罪

第百四十二條　人ノ飮料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十三條　水道ニ由リ公衆ニ供給スル飮料ノ淨水又ハ其水源ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十四條　人ノ飮料ニ供スル淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十五條　前三條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第百四十六條　水道ニ由リ公衆ニ供給スル飮料ノ淨水又ハ其水源ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十七條　公衆ノ飮料ニ供スル淨水ノ水道ヲ損壞又ハ壅塞シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第十六章　通貨僞造ノ罪

第百四十八條　行使ノ目的ヲ以テ通用ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ僞造又ハ變造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

僞造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ輸入シタル者亦同シ

第百四十九條　行使ノ目的ヲ以テ內國ニ流通スル外國ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ僞造又ハ變造シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

僞造、變造ノ外國ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ輸入シタル者亦同シ

第百五十條　行使ノ目的ヲ以テ僞造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ收得シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百五十一條　前三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百五十二條　貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ收得シタル後其僞造又ハ變造ナルコトヲ知テ之ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル者ハ其名價三倍以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但一圓以下ニ降スコトヲ得ス

第百五十三條　貨幣、紙幣又ハ銀行券ノ僞造又ハ變造ノ用ニ供スル目的ヲ以テ器械又ハ原料ヲ準備シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第十七章　文書僞造ノ罪

第百五十四條　行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽若クハ御名ヲ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ僞造シ又ハ僞造シタル御璽、國璽若クハ御名ヲ使用シテ詔書其他ノ文書ヲ僞造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

御璽、國璽ヲ押捺シ又ハ御名ヲ署シタル詔書其他ノ文書ヲ變造シタル者亦同シ

第百五十五條　行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖畫ヲ僞造シ又ハ僞造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖畫ヲ僞造シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ捺印若クハ署名シタル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者亦同シ

前二項ノ外公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖畫ヲ僞造シ又ハ公務所又ハ公務員ノ作リタル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十六條　公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ虛僞ノ文書若クハ圖畫ヲ作リ又ハ文書若クハ圖畫ヲ變造シタルトキハ印章、署名ノ有無ヲ區別シ前二條ノ例ニ依ル

第百五十七條　公務員ニ對シ虛僞ノ申立ヲ爲シ權利、義務ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

公務員ニ對シ虛僞ノ申立ヲ爲シ免狀、鑑札又ハ旅券ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百五十八條　前四條ニ記載シタル文書又ハ圖畫ヲ行使シタル者ハ其文書又ハ圖畫ヲ僞造若クハ變造シ又ハ虛僞ノ文書若クハ圖畫ヲ作リ又ハ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ト同一ノ刑ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百五十九條　行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ僞造シ又ハ僞造シタル他人ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ僞造シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

他人ノ印章ヲ押捺シ若クハ他人ノ署名シタル權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者亦同シ

前二項ノ外權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ僞造又ハ變造シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十條　醫師公務所ニ提出ス可キ診斷書、檢案書又ハ死亡證書ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十一條　前二條ニ記載シタル文書又ハ圖畫ヲ行使シタル者ハ其文書又ハ圖畫ヲ僞造若クハ變造シ又ハ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者ト同一ノ刑ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十八章　有價證券僞造ノ罪

第百六十二條　行使ノ目的ヲ以テ公債證書、官府ノ證券、會社ノ株券其他ノ有價證券ヲ僞造又ハ變造シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

行使ノ目的ヲ以テ有價證券ニ虛僞ノ記入ヲ爲シタル者亦同シ

第百六十三條　僞造、變造ノ有價證券又ハ虛僞ノ記入ヲ爲シタル有價證券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シ若クハ輸入シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十九章　印章僞造ノ罪

第百六十四條　行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽又ハ御名ヲ僞造シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

御璽、國璽又ハ御名ヲ不正ニ使用シ又ハ僞造シタル御璽、國璽又ハ御名ヲ使

第7142号　本文

用シタル者亦同シ

第百六十五條　行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ僞造シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ僞造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シタル者亦同シ

第百六十六條　行使ノ目的ヲ以テ公務所ノ記號ヲ僞造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

公務所ノ記號ヲ不正ニ使用シ又ハ僞造シタル公務所ノ記號ヲ使用シタル者亦同シ

第百六十七條　行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ僞造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

他人ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ僞造シタル印章若クハ署名ヲ使用シタル者亦同シ

第百六十八條　第百六十四條第二項、第百六十五條第二項、第百六十六條第二項及ヒ前條第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二十章　僞證ノ罪

第百六十九條　法律ニ依リ宣誓シタル證人虛僞ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十條　前條ノ罪ヲ犯シタル者證言シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自白シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第百七十一條　法律ニ依リ宣誓シタル鑑定人又ハ通事虛僞ノ鑑定又ハ通譯ヲ爲シタルトキハ前二條ノ例ニ同シ

第二十一章　誣告ノ罪

第百七十二條　人ヲシテ刑事又ハ懲戒ノ處分ヲ受ケシムル目的ヲ以テ虛僞ノ申告ヲ爲シタル者ハ第百六十九條ノ例ニ同シ

第百七十三條　前條ノ罪ヲ犯シタル者申告シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自白シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十二章　猥褻、姦淫及ヒ重婚ノ罪

第百七十四條　公然猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第百七十五條　猥褻ノ文書、圖畫其他ノ物ヲ頒布若クハ販賣シ又ハ公然之ヲ陳列シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者亦同シ

第百七十六條　十三歲以上ノ男女ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ以テ猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス十三歲ニ滿タサル男女ニ對シ猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者亦同シ

第百七十七條　暴行又ハ脅迫ヲ以テ十三歲以上ノ婦女ヲ姦淫シタル者ハ强姦ノ罪ト爲シ二年以上ノ有期懲役ニ處ス十三歲ニ滿タサル婦女ヲ姦淫シタル者亦同シ

第百七十八條　人ノ心神喪失若クハ抗拒不能ニ乘シ又ハ之ヲシテ心神ヲ喪失セシメ若クハ抗拒不能ナラシメテ猥褻ノ行爲ヲ爲シ又ハ姦淫シタル者ハ前二條ノ例ニ同シ

第百七十九條　前三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百八十條　前四條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第百八十一條　第百七十六條乃至第百七十九條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第百八十二條　營利ノ目的ヲ以テ淫行ノ常習ナキ婦女ヲ勸誘シテ姦淫セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十三條　有夫ノ婦姦通シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス其相姦シタル者亦同シ

前項ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但本夫姦通ヲ縱容シタルトキハ告訴ノ效ナシ

第百八十四條　配偶者アル者重ネテ婚姻ヲ爲シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス其相婚シタル者亦同シ

第二十三章　賭博及ヒ富籤ニ關スル罪

第百八十五條　偶然ノ輸贏ニ關シ財物ヲ以テ博戲又ハ賭事ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但一時ノ娛樂ニ供スル物ヲ賭シタル者ハ此限ニ在ラス

第百八十六條　常習トシテ博戲又ハ賭事ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

賭博場ヲ開張シ又ハ博徒ヲ結合シテ利ヲ圖リタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百八十七條　富籤ヲ發賣シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

富籤發賣ノ取次ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ外富籤ヲ授受シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十四章　禮拜所及ヒ墳墓ニ關スル罪

第百八十八條　神祠、佛堂、墓所其他禮拜所ニ對シ公然不敬ノ行爲アリタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

說敎、禮拜又ハ葬式ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十九條　墳墓ヲ發掘シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十條　死體、遺骨、遺髮又ハ棺內ニ藏置シタル物ヲ損壞、遺棄又ハ領得シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十一條　第百八十九條ノ罪ヲ犯シ死體、遺骨、遺髮又ハ棺內ニ藏置シタル物ヲ損壞、遺棄又ハ領得シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十二條　檢視ヲ經スシテ變死者ヲ葬リタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十五章　瀆職ノ罪

第百九十三條　公務員其職權ヲ濫用シ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百九十四條　裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者其職權ヲ濫用シ人ヲ逮捕又ハ監禁シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百九十五條　裁判、檢察、警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者其職務ヲ行フニ當リ刑事被告人其他ノ者ニ對シ暴行又ハ陵虐ノ行爲ヲ爲シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ看守又ハ護送スル者被拘禁者ニ對シ暴行又ハ陵虐ノ行爲ヲ爲シタルトキ亦同シ

第百九十六條　前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第百九十七條　公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若クハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其價額ヲ追徵ス

第百九十八條　公務員又ハ仲裁人ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十六章　殺人ノ罪

第百九十九條　人ヲ殺シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第二百條　自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ヲ殺シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百一條　前二條ノ罪ヲ犯ス目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス但情狀ニ因リ其刑ヲ免除スルコトヲ得

第二百二條　人ヲ敎唆若クハ幇助シテ自殺セシメ又ハ被殺者ノ囑託ヲ受ケ若クハ其承諾ヲ得テ之ヲ殺シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二百三條　第百九十九條、第二百條及ヒ前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二十七章　傷害ノ罪

第二百四條　人ノ身體ヲ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百五條　身體傷害ニ因リ人ヲ死ニ致シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第二百六條　前二條ノ犯罪アルニ當リ現場ニ於テ勢ヲ助ケタル者ハ自ラ人ヲ傷害セスト雖モ一年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百七條　二人以上ニテ暴行ヲ加ヘ人ヲ傷害シタル場合ニ於テ傷害ノ輕重ヲ知ルコト能ハス又ハ其傷害ヲ生セシメタル者ヲ知ルコト能ハサルトキハ共同者ニ非スト雖モ共犯ノ例ニ依ル

第二百八條　暴行ヲ加ヘタル者人ヲ傷害スルニ至ラサルトキハ一年以下ノ懲役若クハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若クハ科料ニ處ス

第二十八章　過失傷害ノ罪

第二百九條　過失ニ因リ人ヲ傷害シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二百十條　過失ニ因リ人ヲ死ニ致シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十一條　業務上必要ナル注意ヲ怠リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九章　墮胎ノ罪

第二百十二條　懷胎ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十三條　婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十四條　醫師、產婆、藥劑師又ハ藥種商婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十五條　婦女ノ囑託ヲ受ケス又ハ其承諾ヲ得スシテ墮胎セシメタル者

第7142号　本文

ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百十六條　前條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第三十章　遺棄ノ罪

第二百十七條　老幼、不具又ハ疾病ノ爲メ扶助ヲ要ス可キ者ヲ遺棄シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十八條　老者、幼者、不具者又ハ病者ヲ保護ス可キ責任アル者之ヲ遺棄シ又ハ其生存ニ必要ナル保護ヲ爲ササルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十九條　前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第三十一章　逮捕及ヒ監禁ノ罪

第二百二十條　不法ニ人ヲ逮捕又ハ監禁シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

自己又ハ配偶者ノ直系尊屬ニ對シテ犯シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十一條　前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第三十二章　脅迫ノ罪

第二百二十二條　生命、身體、自由、名譽又ハ財產ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財產ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者亦同シ

第二百二十三條　生命、身體、自由、名譽若クハ財產ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ脅迫シ又ハ暴行ヲ用ヒ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財產ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ脅迫シ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可キ權利ヲ妨害シタル者亦同シ

前二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十三章　略取及ヒ誘拐ノ罪

第二百二十四條　未成年者ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十五條　營利、猥褻又ハ結婚ノ目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十六條　帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ略取又ハ誘拐シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

帝國外ニ移送スル目的ヲ以テ人ヲ賣買シ又ハ被拐取者若クハ被賣者ヲ帝國外ニ移送シタル者亦同シ

第二百二十七條　前三條ノ罪ヲ犯シタル者ヲ幇助スル目的ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收受若クハ藏匿シ又ハ隱避セシメタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

營利又ハ猥褻ノ目的ヲ以テ被拐取者又ハ被賣者ヲ收受シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十八條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百二十九條　第二百二十六條ノ罪、同條ノ罪ヲ幇助スル目的ヲ以テ犯シタル第二百二十七條第一項ノ罪及ヒ此等ノ罪ノ未遂罪ヲ除ク外本章ノ罪ハ營利ノ目的ニ出テサル場合ニ限リ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但被拐取者又ハ被賣者犯人ト婚姻ヲ爲シタルトキハ婚姻ノ無效又ハ取消ノ裁判確定ノ後ニ非サレハ告訴ノ效ナシ

第三十四章　名譽ニ對スル罪

第二百三十條　公然事實ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ其事實ノ有無ヲ問ハス一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ誣罔ニ出ツルニ非サレハ之ヲ罰セス

第二百三十一條　事實ヲ摘示セスト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二百三十二條　本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三十五章　信用及ヒ業務ニ對スル罪

第二百三十三條　虛僞ノ風說ヲ流布シ又ハ僞計ヲ用ヒ人ノ信用ヲ毀損シ若クハ其業務ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條　威力ヲ用ヒ人ノ業務ヲ妨害シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第三十六章　竊盜及ヒ强盜ノ罪

第二百三十五條　他人ノ財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十六條　暴行又ハ脅迫ヲ以テ他人ノ財物ヲ强取シタル者ハ强盜ノ罪ト爲シ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財產上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百三十七條　强盜ノ目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第二百三十八條　竊盜財物ヲ得テ其取還ヲ拒キ又ハ逮捕ヲ免レ若クハ罪跡ヲ湮滅スル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキハ强盜ヲ以テ論ス

第二百三十九條　人ヲ昏醉セシメテ其財物ヲ盜取シタル者ハ强盜ヲ以テ論ス

第二百四十條　强盜人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百四十一條　强盜婦女ヲ强姦シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第二百四十二條　自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シ又ハ公務所ノ命ニ因リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ本章ノ罪ニ付テハ他人ノ財物ト看做ス

第二百四十三條　第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條乃至第二百四十一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百四十四條　直系血族、配偶者及ヒ同居ノ親族又ハ家族ノ間ニ於テ第二百三十五條ノ罪及ヒ其未遂罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

第二百四十五條　本章ノ罪ニ付テハ電氣ハ之ヲ財物ト看做ス

第三十七章　詐欺及ヒ恐喝ノ罪

第二百四十六條　人ヲ欺罔シテ財物ヲ騙取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス」

前項ノ方法ヲ以テ財產上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百四十七條　他人ノ爲メ其事務ヲ處理スル者自己若クハ第三者ノ利益ヲ圖リ又ハ本人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ其任務ニ背キタル行爲ヲ爲シ本人ニ財產上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十八條　未成年者ノ知慮淺薄又ハ人ノ心神耗弱ニ乘シテ其財物ヲ交付セシメ又ハ財產上不法ノ利益ヲ得若クハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百四十九條　人ヲ恐喝シテ財物ヲ交付セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財產上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

第二百五十條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百五十一條　本章ノ罪ニハ第二百四十二條、第二百四十四條及ヒ第二百四十五條ノ規定ヲ準用ス

第三十八章　橫領ノ罪

第二百五十二條　自己ノ占有スル他人ノ物ヲ橫領シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

自己ノ物ト雖モ公務所ヨリ保管ヲ命セラレタル場合ニ於テ之ヲ橫領シタル者亦同シ

第二百五十三條　業務上自己ノ占有スル他人ノ物ヲ橫領シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十四條　遺失物、漂流物其他占有ヲ離レタル他人ノ物ヲ橫領シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百五十五條　本章ノ罪ニハ第二百四十四條ノ規定ヲ準用ス

第三十九章　贓物ニ關スル罪

第二百五十六條　贓物ヲ收受シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

贓物ノ運搬、寄藏、故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役及ヒ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十七條　直系血族、配偶者、同居ノ親族又ハ家族及ヒ此等ノ者ノ配偶者ノ間ニ於テ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

第四十章　毀棄及ヒ隱匿ノ罪

第二百五十八條　公務所ノ用ニ供スル文書ヲ毀棄シタル者ハ三月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十九條　權利、義務ニ關スル他人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百六十條　他人ノ建造物又ハ艦船ヲ損壞シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百六十一條　前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百六十二條　自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シタルモノヲ損壞又ハ傷害シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

第二百六十三條　他人ノ信書ヲ隱匿シタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百六十四條　第二百五十九條、第二百六十一條及ヒ前條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第7142号 本文

○勅令

朕北海道廳官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
内務大臣　原敬

勅令第百五十一號

北海道廳官制中左ノ通改正ス

第六條中「十五人」ヲ「二十二人」ニ改ム

第七條中「四百四十二人」ヲ「四百二十八人」ニ「百三十四人」ヲ「二百五十八人」ニ改ム

第八條中「三人」ヲ「四人」ニ「四人」ヲ「五人」ニ改ム

第二十二條中「整理シ」ノ下ニ「官房及」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕帝國圖書館官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
文部大臣　牧野伸顯

勅令第百五十二號

帝國圖書館官制中左ノ通改正ス

第二條中司書官ノ下「一人」ヲ「二人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治二十六年勅令第九十三號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
文部大臣　牧野伸顯

勅令第百五十三號

明治二十六年勅令第九十三號中左ノ通改正ス

法科大學ノ部「民事訴訟法　一講座」ヲ「民事訴訟法、破産法　二講座」ニ「經濟學、財政學　三講座」ヲ「經濟學　四講座」ニ改メ其ノ次ニ「財政學　一講座」ヲ加ヘ醫科大學ノ部「藥學」ノ次ニ「藥品製造學　一講座」ヲ加ヘ工科大學ノ部「應用化學」ノ下「三講座」ヲ「四講座」ニ「採鑛學、冶金學　五講座」ヲ「採鑛學　二講座」ニ改メ其ノ次ニ「冶金學　三講座」ヲ加ヘ文科大學ノ部「英語學、英文學」ノ下「一講座」ヲ「二講座」ニ、理科大學ノ部「理論物理學」ノ下「一講座」ヲ「二講座」ニ改メ農科大學ノ部「農政學、經濟學」ノ次ニ「水産學　三講座」ヲ、其ノ次ニ「水産海洋學　一講座」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕統監府巡査駐在所費渡切ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
大藏大臣　法學博士阪谷芳郎

勅令第百五十四號

第一條　統監府經費ノ内巡査駐在所費ハ渡切ヲ以テ駐在警察官ニ交付スルコトヲ得

第二條　前條ノ渡切經費ハ年額ニ依リ月割額ヲ定メ毎月之ヲ交付ス但シ特殊ノ事由又ハ土地ノ状況ニ依リ必要ト認ムルトキハ一時ニ數月分ヲ交付スルコトヲ得

前項渡切費ノ額ハ統監之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治三十九年勅令第百五十一號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年四月二十三日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
陸軍大臣　寺内正毅

勅令第百五十五號

明治三十九年勅令第百五十一號中左ノ通改正ス

「勅令第百二十六號」ノ下ニ「又ハ明治四十年勅令第七十六號」ヲ加ヘ「陸軍乘馬飼養條例」ヲ「陸軍將校乘馬令」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○府令

統監府令第十五號

統監府及所屬官署職員ノ襟章中左ノ通改正ス

明治四十年四月十三日

統監　侯爵伊藤博文

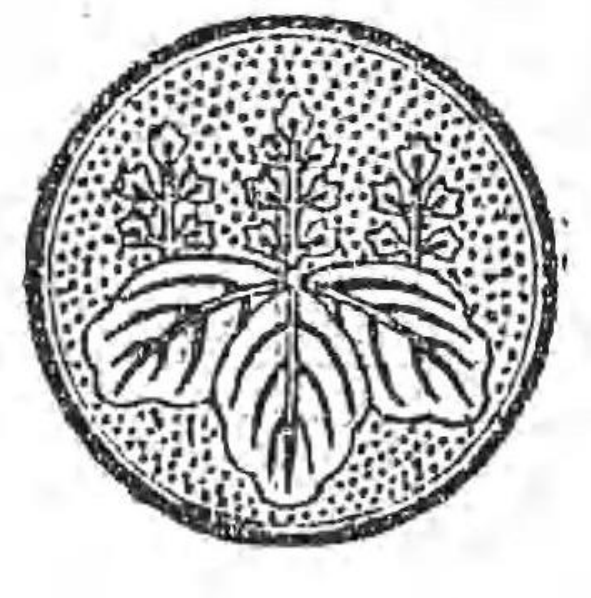
表中統監府勸業模範場職員ノ項ヲ削リ左ノ如ク加フ

統監府財政監査廳職員	金色緣取圓形ノ中部ニ銀色桐章ヲ附シタル直徑八分ノモノトス餘ハ同前
統監府觀測所職員	金色星章ノ中部ニ銀色桐章ヲ附シタル縦八分横八分ノモノトス餘ハ同前
統監府營林廠職員	金色「林」字ノ上半部ニ銀色桐章ヲ附シタル縦六分五厘横八分ノモノトス餘ハ同前
韓國政府傭聘職員	金色八卦章ノ中部ニ銀色桐章ヲ附シタル縦六分五厘横八分ノモノトス餘ハ同前

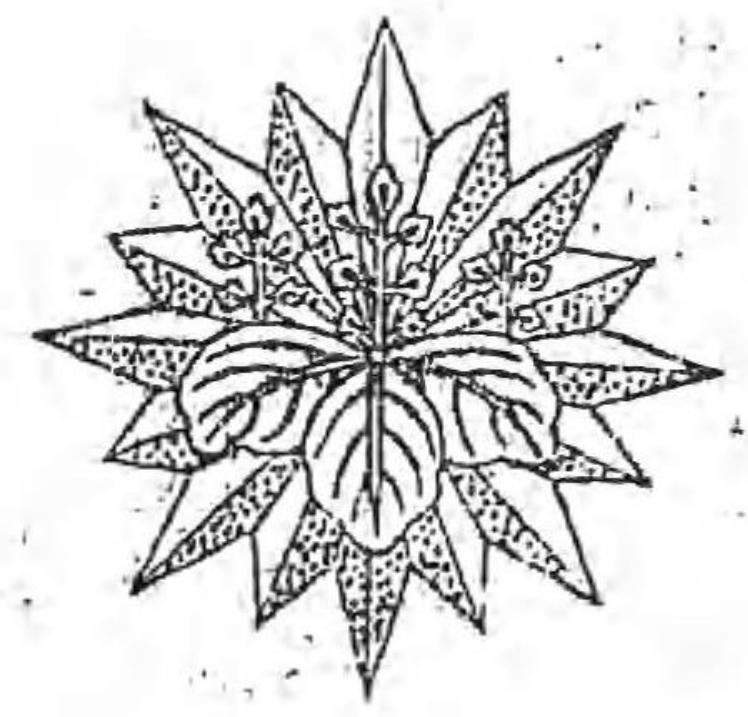
備考　統監府職員ニシテ理事廳ニ在勤スル者ノ襟章ハ理事廳職員ニ同シ

襟章圖中統監府勸業模範場職員ノ圖ヲ削リ左ノ如ク加フ

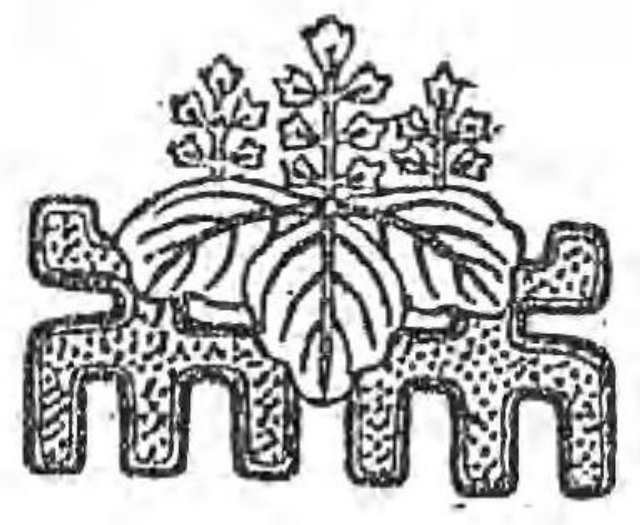
統監府財政監査廳職員



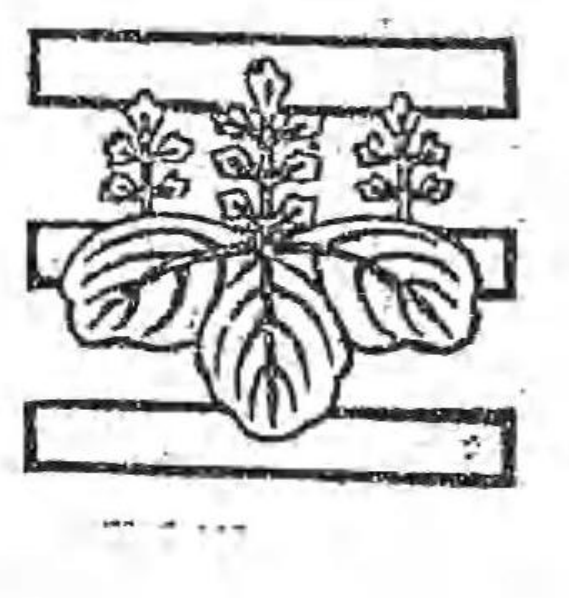
統監府觀測所職員



統監府營林廠職員



韓國政府傭聘職員



○告示

内務省告示第五十號

明治三十九年五月内務省告示第五十七號北海道移住民汽車汽船ノ特別取扱方中左ノ通リ改正ス

明治四十年四月二十四日

内務大臣　原敬

第四條九州鐵道株式會社ノ鐵道ノ下「門司驛」ヲ「神戸驛、横濱驛、平沼驛」ニ改ム

第7142号　本文

文部省告示第百三十二號

兵庫縣神戶市元町ニ商業學校規程乙種程度ニ依リ私立神港商業學校ヲ設置シ明治四十年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年四月二十四日　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第百三十三號

滋賀縣神崎郡北五個莊村ニ商業學校規程乙種程度ニ依リ滋賀縣神崎郡立神崎實業學校ヲ設置シ明治四十年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年四月二十四日　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第百三十四號

福島縣河沼郡坂下町ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ福島縣河沼郡立農業學校ヲ設置シ明治四十年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年四月二十四日　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第百三十五號

福島縣岩瀨郡須賀川町ニ徒弟學校規程ニ依リ福島縣須賀川町立女子技藝學校ヲ設置シ明治四十年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年四月二十四日　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第百三十六號

私立九州高等女學校ヲ福岡縣福岡市荒戶町ニ設置シ明治四十年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年四月二十四日　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第百三十七號

山島村立山島圖書館ヲ石川縣石川郡山島村立山島（尋常高等）小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十年四月二十四日　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第百三十八號

出雲村立圖書館ヲ山口縣佐波郡出雲村立堀（尋常高等）小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十年四月二十四日　文部大臣　牧野伸顯

文部省告示第百三十九號

青森市立圖書館ヲ青森縣青森市大字米町ニ設置ノ件認可セリ

明治四十年四月二十四日　文部大臣　牧野伸顯

遞信省告示第二百七十二號

樺太近藤岬燈臺ニ於テ霧笛ヲ開始シ本年五月一日以後霧雪其他冥濛ナル天候ニハ毎一分四十秒時ヲ隔テテ五秒時吹鳴ス

但霧笛ニ故障ヲ生シタルトキハ從前ノ通霧鐘ヲ打鳴ス

明治四十年四月二十四日　遞信大臣　山縣伊三郎

遞信省告示第二百七十三號

帆船幸悅丸外四十一艘ニ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治四十年四月二十四日　遞信大臣　山縣伊三郎

信號符字	番號	種類	船名	船籍港	所有者
JGMD	五一四四	帆	幸悅丸	渡島國函館區	成田伊三郎
JLSB	六三二二	帆	住正丸	高松市	山田小吉
JMVK	七一一五	汽	曙丸	相模國浦賀町	大藏省
LDKF	七一一六	帆	第十六號川井丸	橫須賀市	川井運輸合資會社
LDKG	七一一七	帆	第十七號川井丸	橫須賀市	川井運輸合資會社
LCPQ	七四四五	帆	金榮丸	安藝國東野村	福井新太郎
JWPK	七四九七	汽	第拾宇和島丸	伊豫國八幡村	宇和島運輸株式會社
JWPL	七四九八	帆	幸德丸	伊豫國瀨戶崎村	曾我庄三郎
JWLB	七九四七	帆	運洋丸	越中國石田村	濱松與三
JWDB	八〇五〇	帆	新榮丸	新潟市	內山京三郎
LCWM	一〇一〇〇	汽	伏瀨丸	肥前國崎戶村	遞信省
JVFL	一〇一三四	帆	第壹旭丸	高知市	吉川滿次
LDMN	一〇一三五	帆	第四幸福丸	高知市	入交瀨十郎
LBNV	一〇三二三	汽	天草丸	大阪市	大阪商船株式會社
LBNW	一〇三二四	汽	不動丸	和泉國岸和田濱町	中村宇吉
LBPC	一〇三二五	帆	第貳末廣丸	大阪市	櫻木康枝
LBPD	一〇三二六	汽	觀音丸	大阪市	中塚武兵衞
LBPF	一〇三二七	汽	第三勢至丸	大阪市	澤口庄助
LBPG	一〇三二八	汽	ギヨルギー丸	大阪市	西成新右衞門
LBPH	一〇三三〇	汽	宮崎丸	大阪市	大阪商船株式會社
JMQN	一〇四一六	汽	曙丸	下關市	東洋漁業株式會社
JMQP	一〇四一九	汽	いなつま丸	下關市	東洋漁業株式會社
JMQR	一〇四二〇	汽	いかつち丸	下關市	東洋漁業株式會社
JMQS	一〇四二一	帆	神幸丸	下關市	佐々井勘治
JMQT	一〇四二四	帆	新榮丸	長門國彥島村	大之木澤太郎
LCPR	一〇六一一	帆	大黑丸	安藝國佐江崎村	三次雛藏
LCPS	一〇六一二	帆	永樂丸	吳市	永井幾太郎
LCFN	一〇六五〇	帆	第二號照海丸	橫濱市	佐藤七五郎
LCFP	一〇六五二	帆	第三龍吉丸	橫濱市	佐野金之助
LCFQ	一〇六五三	帆	相生丸	武藏國町田村	木田シゲ
LCHP	一〇六八四	帆	第貳神宮丸	筑後國大牟田町	織田竹次郎
JWQR	一〇七二三	帆	榮吉丸	石見國波根西村	岩谷六太郎
LCTD	一〇八〇三	帆	第十四伊勢丸	東京市	井田一平
LCTF	一〇八〇四	帆	北洋丸	東京市	角利助
LCTG	一〇八〇五	帆	第五榮辰丸	東京市	合名會社田野駒井商店
LCTH	一〇八〇六	帆	宮榮丸	東京市	宮崎榮次郎
LCTJ	一〇八〇八	汽	岳陽丸	東京市	日本郵船株式會社
LCTK	一〇八〇九	帆	千鳥丸	東京市	花房眞
LCWN	一〇八四一	汽	第一東鄕丸	長崎市	長崎捕鯨合資會社
LCWP	一〇八四二	帆	飛龍丸	長崎市	長崎縣
LDGB	一〇八九三	汽	弓張丸	神戶市	八卷修三
LDGC	一〇八九四	汽	翔天丸	神戶市	伊勢市五郎

○敍任及辭令

○明治四十年四月二十三日

敍從六位　正七位勳四等功四級　松阪　主稅

任稅關監視官兼稅關事務官　稅務監督局稅務屬兼大藏屬　近藤　春臺

敍高等官七等

任陸軍技師　島居　榮

敍高等官七等

任理事廳副理事官　檢事正七位　松本　重敏

敍高等官五等

任統監府財政監査官　稅關監視官兼稅關事務官從七位　野手　耐

敍高等官六等

任栃木縣技師　富山縣技師從五位　杉谷　幸藏

敍高等官三等

任山口縣技師　香川久治郎

敍高等官六等

任福井縣技師　小出伊勢治

敍高等官七等

任島根縣技師　埼玉縣技手　井口　幹夫

敍高等官八等

東京府立工藝學校長ニ任ス　（東京府立職工學校長兼東京府立工藝學校長從七位）今　景彥

東京府立職工學校長ニ任ス　巖手縣立工業學校長從七位　秋保　安治

巖手縣立工業學校長ニ任ス　東京府立職工學校教諭從七位　島　邦生

千葉縣立茂原農學校教諭ニ任ス　岡山縣師範學校教諭　佐瀨辰三郎

山梨縣師範學校教諭ニ任ス　群馬縣女子師範學校教諭　小田寅之助

（千葉縣立茂原農學校教諭兼千葉縣立茂原農學校舍監從七位）菊池幸次郎

青森縣北津輕郡立農學校長兼青森縣北津輕郡立農學校教諭ニ任ス

秋田縣農業技師ニ任ス　島根縣農業技師　池本馬太郎

輜重兵監陸軍少將　澁谷　在明

騎兵監陸軍少將秋山好古和蘭國差遣ニ付不在中騎兵監事務取扱被仰付

依願免本官　東京美術學校教授　向井繁太郎

願ニ依リ本職ヲ免ス（以上四月二十三日內閣）　（富山縣立農學校教諭）上野　長雄

特旨ヲ以テ位一級被進　陸軍步兵大尉正七位勳四等功四級　松阪　主稅

免內事課次長補調査課長　宮內書記官　栗原　廣太

內事課勤務兼勤被仰付（以上四月二十三日宮內省）　宮內書記官　栗原　廣太

造幣局技師工學博士　甲賀　宜政

造幣局技師山縣修不在中造幣局鑄造部長代理ヲ命ス

六級俸下賜　稅關監視官　近藤　春臺

横濱稅關監視部長ヲ命ス

横濱稅關在勤ヲ命ス（以上四月二十三日大藏省）　稅關事務官　近藤　春臺

四級俸下賜　陸地測量師　外谷鉦二郎

福岡縣山門郡三橋村大字枝光三百五十三番地ノ三ノ二　待島　ヤヲ

故陸軍步兵上等兵待島卯一郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百貳拾圓ヲ賜フ

群馬縣新田郡笠懸村大字鹿村千七百八十五番地　和田　治平

故陸軍步兵一等卒和田仁一郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ

熊本縣飽託郡健軍村大字健軍五千百三十二番地　森山淸四郎

故陸軍輜重輸卒森山伊賀八明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

新潟市磯町通二ノ町七十四番戶　飯島　キセ

故陸軍輜重輸卒飯島長吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

福島縣信夫郡渡利村大字渡利字中河原二十番地　丹治　キチ

故陸軍輜重輸卒丹治慶吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

福島縣相馬郡小高町南小高字町百三十八番地　佐藤　彌七

故陸軍輜重輸卒佐藤彌作明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

第7142号　本文

千葉縣君津郡巖根村高柳三千三十九番地　高橋　おか
故陸軍步兵一等卒高橋松藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ
廣島縣雙三郡三次町四百七十八番屋敷　山野　コハマ
故陸軍步兵一等卒山野好松明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ
京都府愛宕郡修學院村字一乘寺第十六番戶　山本　やそ
故陸軍步兵一等卒山本朝吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ（以上四月二十二日陸軍省）
步兵第十二聯隊大隊副官陸軍步兵大尉　根本　喜三郎
免本職補步兵第六十二聯隊中隊長
步兵第六十二聯隊附陸軍步兵中尉　尾崎　清幹
免本職補步兵第六十二聯隊大隊副官
步兵第五十一聯隊附陸軍步兵少尉　福田　弘
免本職補步兵第三十五聯隊附
步兵第三十五聯隊附陸軍步兵少尉　中村　正
免本職補步兵第五十一聯隊附
澎湖島要塞砲兵大隊中隊長陸軍砲兵大尉　金子　金壽
免本職補澎湖島要塞司令部部員
野戰砲兵第一聯隊附陸軍砲兵中尉　奥　市彥
（各通）
野戰砲兵第十六聯隊附陸軍砲兵中尉　澤　淳
免本職補野戰砲兵第二十一聯隊附
由良要塞司令部部員陸軍工兵大尉　淸水　俊治
免本職補臨時陸軍建築部廣島支部部員
（各通）
騎兵第九聯隊附陸軍三等軍醫正　松井　昌親
騎兵第十七聯隊附陸軍騎兵中尉　高橋　秋秀
休職被仰付
理事　鏆目　良一郎
第十一師團法官部部員ヲ免シ第十六師團法官部長心得ヲ命ス
第十六師團法官部長心得理事　鏆目　良一郎
第四師團法官部御用掛兼勤ヲ命ス
理事　小堀　銈作
第十師團法官部部員ヲ免シ第十五師團法官部長心得ヲ命ス
第十五師團法官部長心得理事　小堀　銈作
第一師團法官部御用掛兼勤ヲ命ス
理事　柳田　新治
第十一師團法官部部員ヲ免シ第十師團法官部部員ヲ命ス
第十五師團法官部長心得理事　霜島　龜太郎
第一師團法官部御用掛兼勤ヲ免ス
理事　霜島　龜太郎
第十五師團法官部長心得ヲ免シ第五師團法官部部員ヲ命ス
理事　小林　砂吉
第五師團法官部部員ヲ免シ第十一師團法官部部員ヲ命ス
第十六師團法官部長心得理事　河內　貞藏
第四師團法官部御用掛兼勤ヲ免ス
理事　河內　貞藏
第十六師團法官部長心得ヲ免シ第十師團法官部部員ヲ命ス（以上四月二十三日同）

海軍大尉　今泉　哲太郎
海軍大尉　南鄕　次郎
海軍大尉　森　鐵一郎
（各通）
海軍大尉　大橋　朝正
海軍大尉　大寺　量吉
海軍大尉　山崎　正策
海軍大學校乙種學生被免海軍水雷學校高等科學生被仰付
海軍大尉　大塚　太郎
海軍大尉　中村　良三
海軍大尉　末次　信正
（各通）
海軍大尉　松坂　茂
海軍大尉　平　良雄
海軍大學校乙種學生被免海軍砲術學校高等科學生被仰付
海軍大尉　名古屋　爲毅
海軍大尉　替地　初太郎
海軍大尉　漢那　憲和
（各通）
海軍大尉　宮村　暦造
海軍大尉　東條　政二
海軍大尉　石井　祥吉
海軍大學校乙種學生被免海軍大學校專修學生被仰付（以上四月二十三日海軍省）
宮崎區裁判所判事兼宮崎地方裁判所判事　橋谷　繁三郎
補岡山區裁判所判事兼岡山地方裁判所判事
長崎區裁判所判事兼長崎地方裁判所判事　種子島　時慶
補大分地方裁判所判事
大分地方裁判所判事判事　江藤　袈裟次郎
補宮崎區裁判所判事兼宮崎地方裁判所判事
（長崎地方豫備判事）　余綱　章
補長崎區裁判所判事兼長崎地方裁判所判事
大分地方裁判所判事判事　種子島　時慶
九級俸下賜
宮崎區裁判所判事判事　江藤　袈裟次郎
（各通）
長崎區裁判所判事判事　余綱　章
十一級俸下賜
司法官試補　河面　雄三郎
宇都宮區裁判所檢事代理ヲ解ク
司法官試補　市來　彥吉
鹿兒島區裁判所檢事代理ヲ解ク
司法官試補　櫂田　貢
宇都宮區裁判所檢事代理ヲ命ス（以上四月二十二日司法省）
宮崎地方裁判所部長判事　山口　正毅
裁判所書記登用試驗委員長ヲ命ス
宮崎地方裁判所檢事　高橋　一作
（各通）
宮崎地方裁判所判事　臼井　武松
裁判所書記登用試驗委員ヲ命ス（以上四月二十三日同）
京都帝國大學法科大學敎授法學博士　岡村　司
（各通）
京都帝國大學法科大學敎授法學博士　勝本　勘三郎
本俸三級俸下賜（四月二十二日文部省）

日本大博覽會事務官　赤星　典太
日本大博覽會事務局歲入徵收官ヲ命ス（四月十九日農商務省）
遞信技師　近藤　茂
東京市東京電燈株式會社本年四月十六日付屆出落成電氣工作物ノ檢査ヲ命ス
遞信技師　澁澤　元治
新潟縣下上越電氣株式會社本年四月十一日付屆出落成電氣工作物ノ檢査ヲ命ス
遞信技師　澁澤　元治
左ノ縣下及東京府下ヘ出張ヲ命ス
神奈川　山梨
通信技師　關口　壽
三重縣下四日市電燈株式會社本年四月八日付屆出落成電氣工作物ノ檢査ヲ命ス（以上四月十九日遞信省）
遞信技師　畑　英三郎
六級俸下賜
遞信技師　高津　清
（各通）
遞信技師　平井　惟次
九級俸下賜
臨時鐵道國有準備局事務官　中川　正左
七級俸下賜
一等郵便局長　松木　幹一郎
一級俸下賜
一等郵便局長　宇都宮　友枝
六級俸下賜
通信事務官補　長　尚連
一級俸下賜
通信事務官補　淸水　益三郎
通信事務官補　秋山　宇喜太
（各通）
通信事務官補　伊達　七藏
二級俸下賜
通信事務官補　青沼　鑄太郎
（各通）
通信事務官補　中村　稻造
三級俸下賜
通信技師　飯沼　貞雄
四級俸下賜
通信技師　松田　方雄
五級俸下賜
通信技師　稻田　三之助
七級俸下賜
通信技師　關口　壽
通信技師　若目田　利助
（各通）
通信技師　田中　豐夫
通信技師　高田　善彥
八級俸下賜
通信技師　肥田　式夫
（各通）
通信技師　樺島　一
九級俸下賜
通信技師　高野　四郎
六級俸下賜（以上四月二十二日同）
市立大阪高等商業學校敎諭　下河內　十二藏
七級俸下賜（四月十八日大阪府）
群馬縣前橋測候所技師　赤井　敬三
年俸六百六拾圓下賜（四月十九日群馬縣）
群馬縣農事試驗場技師　佐々木　林太郎
年俸千參百圓下賜（四月二十日同）

千葉縣女子師範學校敎諭　吉成　翁助
十二級俸下賜（四月十九日千葉縣）
佐賀縣立小城中學校長　國井　清音
八級俸下賜（四月十三日佐賀縣）

正誤

昨二十三日本欄六八五頁下段高橋三吉ニ係ルモノハ衍

海軍省副官

○宮廷錄事

○謁見　本邦駐箚澳地利匈牙利國特命全權大使アダルベルト、ド、アムブロー、デ、アダモーツ信任狀捧呈濟ニ付キ昨二十三日午前十時三十分參內　皇后陛下ニ謁見仰付ケラレ又同大使館書記官オット、フランツ、大使館附武官陸軍參謀少佐アダルベルト、ダニ、ド、ギャルマタ外交官補伯爵クノー、デ、フール、ワルデローデノ三名モ同時謁見仰付ケラレタリ

○皇族發著　載仁親王殿下ハ御職務ヲ以テ昨二十三日御出發神奈川縣橫須賀及千葉縣下ヘ御出張アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○臨時招魂祭及大祭祭式次第　來ル五月執行ノ靖國神社臨時招魂祭及大祭祭式次第左ノ如シ

臨時招魂祭竝ニ大祭祭式次第

淸祓　五月一日

午後第二時神職神殿ヲ裝飾シ祓場ヲ設ク
同第三時陸海軍兩省掛官（陸海軍武官ハ正裝）祓場參向席ニ著ク
次宮司以下神職祓場ニ參著
此間伶人音取ヲ調
次宮司進テ再拜拍手迎神ノ式ヲ行フ（此時諸員起ツ）
此時菅搔ヲ奏ス
次神饌三臺ヲ供ス（宮司以下奉仕）
此間奏樂
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司玉串ヲ奉リ祓ノ詞ヲ讀ム竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次主典兩人潮水及祓串ヲ取テ祓ヲ行フ（此時諸員起ツ）
次掛官拜禮
次神職神拜
次神饌ヲ撤ス（宮司以下奉仕）
此間奏樂
次宮司進テ再拜拍手送神ノ式ヲ行フ（此時諸員起ツ）
此時菅搔ヲ奏ス
次退下
淸祓執行ノ儀ヲ本殿ニ告ク

同時陸海軍兩省掛官本殿ニ參向
次宮司以下神職昇殿席ニ著ク
次宮司進テ再拜拍手
次開扉（宮司奉仕）殿取名ニ從フ（此時諸員起ツ）
此間奏樂
次神饌十五臺ヲ供ス（宮司以下奉仕）
此間奏樂
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次掛官拜禮
次神職神拜
次神饌ヲ撤ス（宮司以下奉仕）
此間奏樂
次宮司進テ再拜拍手
次退下

招魂祭

同日午後第七時前招魂場左右ニ庭燎ヲ燒ク
午後第七時三十分儀仗兵一中隊參著
午後第八時陸海軍兩省掛官、竝兩省各局各官衙、近衞、第一兩師團勅奏任官總代及判任官總代（陸海軍武官ハ正裝）招魂場參向席ニ著ク

第7142号 本文

第 7142 号 本文

次宮司以下神職招魂場ノ席ニ著ク
次宮司進テ再拜拍手招魂ノ式ヲ行フ（此時諸員起ツ）
次神饌（十臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次官員拜禮
次神職神拜
次宮司陸海軍兩省掛官ト共ニ本殿ニ參向
次宮司進テ再拜拍手
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手
此間諸員起ツ
次宮司掛官ト共ニ殿ヲ下リ招魂場ニ到リ席ニ著ク
次宮司進テ再拜拍手
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次神饌ヲ撤ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司撤饌ヲ奉戴シテ本殿ニ奉還ス自餘ノ諸員之ニ從フ（此時庭燎炬火ヲ滅ス）
次宮司昇殿內陣ニ入リ靈璽ヲ安置シ奉ル竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次神饌（二十五臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次官員拜禮
次神職神拜
次神饌ヲ撤ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次閉扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次退下

大祭初日　五月二日
午前第四時庭燎ヲ燒ク
次神職神殿ヲ裝飾ス
午前第七時陸海軍兩省掛官（陸海軍武官ハ正裝文官ハ正服）及宮司昇殿禰宜以下神職之ニ從フ
次宮司進テ再拜拍手
次開扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次神饌（五十臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次午前第七時三十分陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、隊外將校同相當官、陸海軍兩省勅奏任文官（陸海軍武官ハ正裝文官ハ大禮服）昇殿
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次午前第八時　勅使參向中門外ニ於テ下乘昇殿掌典補之ニ從フ
此時陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長ハ拜殿ノ階上椽側ニ諸掛官及宮司禰宜ハ拜殿階段ノ下ニ奉迎ス
次掌典補　御祭文ヲ勅使ニ呈ス
次勅使神前ニ進テ　御祭文ヲ奏ス
此間諸員起ツ
次勅使神前ヲ退キ　御祭文ヲ宮司ニ付ス
次宮司　御祭文ヲ神前ニ奉ル
次勅使下向
此時奉送奉迎ノ時ノ如シ
次陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、隊外將校同相當官、陸海軍兩省勅奏任文官拜禮
次掛官拜禮
次神職神拜
次午前第九時ヨリ陸海軍諸隊順次拜禮
同時遺族本殿階上椽側ニ昇リ拜禮（但シ今回合祀セラレシ遺族ニ限ル）
軍隊拜禮畢テ諸人ノ參拜ヲ許ス
次神饌ヲ撤ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次閉扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次退下

次日　五月三日
午前第四時庭燎ヲ燒ク
次神職神殿ヲ裝飾ス
午前第八時陸海軍兩省掛官（服裝前ニ同シ）及宮司昇殿禰宜以下神職之ニ從フ
次宮司進テ再拜拍手
次開扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次神饌（五十臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、陸海軍兩省各局各官衙、近衛、第一兩師團勅奏任官總代先著（陸海軍武官ハ正裝文官ハ大禮服）
午前第十時皇族、親任官、公爵、從一位、勳一等及各省（各省ハ陸海軍省ヲ除ク以下同シ）會計檢査院、行政裁判所勅任官總代、警視總監、東京府知事、麝香間祗候總代、錦鷄間祗候總代、貴族院議長、同議員、衆議院議長、同議員、各省奏任官總代、有位華族總代先著（文官奏任以上及有位ノ者ハ大禮服他ハ通常禮服）
午前第十時御出門　行幸
此時陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、先著諸員中門內外ニ於テ奉迎ス
此間軍樂ヲ奏ス
著御陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長御先導階上椽側左右ニ伺候ス宮司神前　御拜座ニ御先導上段ノ下ニ伺候ス
還幸ノ時陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、宮司御先導階下ニ伺候ス
此時諸員奉送奉迎ノ時ノ如シ
此間軍樂ヲ奏ス
午前第十一時御出門　皇后陛下行啓
此時陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、先著諸員中門內外ニ於テ奉迎ス
此間軍樂ヲ奏ス
著御陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長御先導階上椽側左右ニ伺候ス宮司神前　御拜座ニ御先導上段ノ下ニ伺候ス
還啓ノ時陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、宮司御先導階下ニ伺候ス
此時諸員奉送奉迎ノ時ノ如シ
此間軍樂ヲ奏ス
次皇族拜禮
次陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長拜禮
次先著諸員順次昇殿拜禮
次掛官拜禮
次神職神拜
次午後ヨリ遺族拜禮前日ノ如シ
右同時諸人ノ參拜ヲ許ス
次神饌ヲ撤ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司進テ再拜拍手
次閉扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次退下

第三日　五月四日
午前第四時庭燎ヲ燒ク
次神職神殿ヲ裝飾ス
午前第八時陸海軍兩省掛官（服裝前ニ同シ）及宮司昇殿禰宜以下神職之ニ從フ
次宮司進テ再拜拍手
次開扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次神饌（五十臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
午前第九時陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、陸海軍兩省各局各官衙、近衛、第一兩師團勅奏任官總代先著（服裝前ニ同シ）
午前第十時御著　皇太子殿下　同妃殿下　行啓
此時陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、先著諸員中門外ニ於テ奉迎ス
此間軍樂ヲ奏ス
御著陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長御先導階上椽側左右ニ伺候ス宮司神前　御拜座ニ御先導上段ノ下ニ伺候ス
還啓ノ時陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、宮司御先導階下ニ伺候ス
此時諸員奉送奉迎ノ時ノ如シ
此間軍樂ヲ奏ス
次陸海軍兩大臣、臨時大祭委員長、陸海軍兩省各局各官衙、近衛、第一兩師團勅奏任官總代拜禮
次掛官拜禮
次神職神拜
次遺族拜禮前日ノ如シ
右同時諸人ノ參拜ヲ許ス
次神饌ヲ撤ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司進テ再拜拍手
次閉扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次退下

第四日　五月五日
午前第四時庭燎ヲ燒ク
次神職神殿ヲ裝飾ス
午前第九時陸海軍兩省掛官（服裝前ニ同シ）及宮司昇殿禰宜以下神職之ニ從フ
次宮司進テ再拜拍手
次開扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス

次神饌（五十臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次臨時大祭委員長、陸海軍掛官順次拜禮
次神職神拜
次午前第十時ヨリ遺族拜禮前日ノ如シ
右同時諸人ノ參拜ヲ許ス
次神饌ヲ撤ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司進テ再拜拍手
次閉扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次退下

五月六日（例大祭）
午前第四時庭燎ヲ燒ク
次神職神殿ヲ裝飾ス
午前第八時陸海軍兩省掛官（服裝前ニ同シ）及宮司昇殿禰宜以下神職之ニ從フ
次宮司進テ再拜拍手
次開扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次神饌（五十臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次午前第九時陸海軍兩大臣以下將校同相當官殿（拜殿ニ著席ス）
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次皇族拜禮
次陸海軍兩大臣以下順次本殿ニ進ミ拜禮
次掛官拜禮
次神職神拜
次遺族拜禮
右同時諸人ノ參拜ヲ許ス
次神饌ヲ撤ス（禰宜以下奉仕）
此間軍樂ヲ奏ス
次宮司進テ再拜拍手
次閉扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間軍樂ヲ奏ス
次退下

五月七日（直會）
午前第十時陸海軍兩省掛官（服裝前ニ同シ）及宮司拜殿ニ昇ル禰宜以下神職之ニ從フ
此間音取ヲ調
次宮司進テ再拜拍手迎神ノ式ヲ行フ（此時諸員起ツ）
此時警蹕ヲ奏ス
次神饌（五臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間奏樂
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次掛官拜禮
次神職神拜
次宮司進テ再拜拍手送神ノ式ヲ行フ（此時諸員起ツ）
此時警蹕ヲ奏ス
次直會執行ノ儀ヲ本殿ニ告ク
同時陸海軍兩省掛官、宮司、禰宜以下ノ神職本殿ニ昇リ席ニ著ク
次宮司進テ再拜拍手
次開扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
此間奏樂
次神饌（十五臺）ヲ供ス（禰宜以下奉仕）
此間奏樂
次宮司進テ再拜拍手
次主典玉串ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ神前ニ奉ル
次主典祝詞ヲ宮司ニ呈ス宮司之ヲ奏ス竟テ再拜拍手本席ニ復ス
此間諸員起ツ
次掛官拜禮
次神職神拜
次神饌ヲ撤ス（禰宜以下奉仕）
此間奏樂
次宮司進テ再拜拍手
次閉扉（宮司奉仕）殿掌（二名）從フ（此時諸員起ツ）
次掛官竝ニ宮司以下神職拜殿ニ於テ直會ノ神酒神饌ヲ賜ハル
次退下

以上

○休職滿期　休職大阪高等工業學校教授吉岡彥二ハ去月二十七日休職滿期ト爲レリ

○遞信省第二十年報摘要（一昨二十二日ノ續）

郵便貯金

制度ノ改正　前年度二月十六日法律第二十三號ニ依リ公布セラレタル郵便貯金法ハ本年度七月一日ヨリ實施セラレ同時ニ郵便貯金條例ハ廢止セラレタリ郵便貯金條例ハ明治二十三年ノ制定ニ係リ其規定現時ニ於ケル社會ノ實況ニ適セサルモノ多シ是ニ於テカ改テ郵便貯金法ヲ制定シ以テ公衆ノ利便ヲ圖リ且ツ機關ノ行動ヲ完全ナラシメンコトヲ期セリ今其改正ニ係ル要項ヲ擧クレハ左ノ如シ

一一人一日ノ貯金ニ對スル最高制限ヲ撤シ一人ノ總額制限ヲ千圓ニ高メ且ツ公共團體、社寺、學校其他特殊ノモノニ對シテハ貯金總額ニ制限ヲ付セサルコト
一貯金通帳ハ一人ニ一冊ヲ原則トスルモ必要ノ場合ニ於ケル除外例ノ設定ヲ命令ノ規定ニ讓リタルコト
一貯金ヲ以テ購入保管スル證券ノ種類ニ關シテハ之ヲ命令ノ規定ニ讓リ機關ノ行動ヲ自由ナラシメ且ツ保管ニ係ル證券賣却ノ途ヲ開キタルコト
一郵便貯金及保管ニ係ル證券ノ任意讓渡ノ場合ヲ認メ以テ公益上ノ必要ニ應スルコトヽ爲シタルコト
一振替計算ノタメニスル郵便貯金ヲ認メ其預ケ人ハ相互ニ貯金ノ振替受拂ヲ爲シ又ハ預ケ人ノ請求ニ依リ其貯金ヲ第三者ニ拂渡シ若クハ第三者ノ拂込金ヲ預ケ人ノ貯金ニ受入ルヽ等ノ方法ヲ講シ一般公衆ノ利便ヲ圖リタルコト
一貯金預ケ人ノ能力ニ關スル規定ヲ設ケ貯金取扱上一々預ケ人ノ能力ノ有無ヲ審査スルノ煩累ナカラシメタルコト
一郵便貯金ニ關スル拂出證書ノ有效期間ヲ設ケ事務上ノ便宜ヲ圖リタルコト
一郵便貯金ニ關スル時效期間ヲ短縮シ權利關係ノ複雜ヲ避ケタルコト

郵便貯金法ノ制定ニ伴ヒ本年度五月十八日省令第三十六號ヲ以テ發布シタル郵便貯金規則モ亦彼ノ貯金條例施行細則ニ比シ改正セシ點尠カラス左ニ該規則ノ要項ヲ抄記セン

一郵便局所ニ於テハ總テ貯金事務ヲ取扱フヲ以テ本則ト認メ其取扱ヲ爲サヽル局所ニ限リ時ニ告示スルコトヽセリ
一左ノ預ケ人ニシテ貯金ノ目的ヲ異ニスル場合ニ限リ通帳二冊以上ヲ所持スルコトヲ得
　一　公共團體、社寺、學校又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體
　二　規約貯金ノ預ケ人
　三　据置貯金ノ預ケ人
　四　共同貯金ノ總代人
一貯金登記濟通知書ハ尙ホ存續セリ
一改印屆出ノ際保證人ヲ立テシムル從來ノ制度ニ代ヘ主トシテ通帳提示ノ方法ニ依リ本人證明ヲ爲サシムルノ制ヲ採レリ
一利子計算ノ方法ヲ改メ且ツ十錢未滿ノ端數ニ對シテハ其年度內利子ヲ附セサルコトヽシ處務ノ便ヲ圖レリ
一左ノ場合ニ限リ貯金ノ讓渡ヲ認メタリ
　一　公共團體、社寺、學校又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ニ讓渡ス場合
　二　親族ニ讓渡ス場合
　三　遺言ニ依リ讓渡ス場合
一切手貯金臺紙ノ私製ヲ許シタリ
一切手貯金預入制限超過ノ場合ニ於テ從來採用セシ切手還付ノ制ヲ止メ制限超過ノ預入ハ無效トシ且ツ消印セシ切手ニ對シテハ之カ補償ヲ爲サヽルコトヽシ切手貯金ニ伴フ弊害ヲ豫防セリ但シ一人一箇月ノ預入制限ハ從來ノ如ク金一圓トス
一從來ノ實蹟ニ鑑ミ貯金一部拂ノ場合ニ於ケル殘高金十錢ヲ五十錢ニ高メ以テ預ケ人ヲシテ徒ニ貯金ヲ拋棄スルノ弊ナカラシメンコトヲ期セリ
一貯金一部拂ノ請求ニ十錢未滿ノ端數ヲ附スルヲ得サルコトヽシ處務ノ便ヲ圖レリ
一再度拂戾證書ノ請求ニ對シ料金三錢ヲ徵收スルコトヽセリ
一拂戾金ヲ貯金ニ戾入ルヽノ便法ヲ設ケタリ

第7142호 本文

一即時拂ニ關シ左ノ改善ヲ加ヘ預ケ入ノ利便ヲ圖レリ

一　一日ノ回數制限ヲ撤シタルコト

二　一箇月ノ拂戻總額ヲ百圓ニ高メタルコト

三　管理所ニ於テ檢閱濟ノ消印アル通帳ノ預金ニ對シテハ何レノ局所ニ於テモ即時拂ヲ爲スコト

四　從來即時拂ハ郵便局ニ於テ正當本人タルコトヲ確認シタル場合ニ限リタルモ預ケ人ノ提出スル受領證ノ印影カ通帳ニ押捺セル印鑑ト符合スルトキハ正當本人タルコトヲ確知セサルモ其ノ儘拂渡ヲ爲スコト

一從來一、二等局及在外局ニ限定セシ特別即時拂ノ方法ヲ一般各局所ニ普及セシメ電報拂ノ方法ヲ廢シタリ

一證券購入保管ノ外尙ホ之ヲ賣却シ貯金ニ組入ルヽノ方法ヲ設ケタリ

一貯金ヲ以テ購入セサルモ預ケ人ノ所持スル證券ナルトキハ特ニ之カ保管ノ請求ニ應スルノ便法ヲ設ケタリ

一證券保管通帳ノ方法ヲ採リ從來證券一通每ニ發行セシ保管證ニ代ヘ處務ノ簡捷ヲ期セリ

一組合規約ニ依リ拂戻ニ制限ヲ附シ預入シタル貯金ニ限リ之ヲ規約貯金ト稱シ且ツ其認可申請手續ヲ簡易ニセリ

一何人モ豫メ認可申請ノ手續ヲ要セスシテ据置貯金ノ預入ヲ爲シ得ルコトヽセリ

一從來ノ總代人名義ヲ以テ預入スル規約貯金ヲ共同貯金ト稱シ認可申請ノ手續ヲ省略シ其取扱ヲ爲スコトヽセリ

一海外殊域ニ在留セル同胞ノ利便ヲ圖リ海外貯金ノ方法ヲ改良シテ預入ヲ簡易ニシ且ツ本人ハ勿論內地在住者ヲ指定シ貯金ノ拂戻ヲ爲シ得ルノ途ヲ開キタリ

貯蓄債券ノ購買媒介方法ハ從來郵便爲替貯金管理所ニ於テ各局所ヨリ送付ヲ受ケタル購買金額相當ノ爲替證書ヲ取纏メ購買要求高ヲ決定シタル上勸業銀行ヨリ相當數量ノ債券ヲ受領シ引受局所ニ發送シ以テ購買者ニ交付スルノ定ナリシモ不便ナルヲ以テ根本ヨリ該方法ヲ改メ債券發行ノ際勸業銀行ヨリ債券ノ相當數量ヲ豫メ一等局ニ送付シ其代金ノ取立ヲ要求シ得ルコトヽシ一等局ハ各局所ヨリ公衆ノ購買ノタメ振出シタル爲替證書ヲ受クルト同時ニ債券ヲ直接請求者ニ無料價格表記ヲ以テ送付スルコトニ改メ以テ購買者ヲシテ速ニ債券ノ受領ヲ得セシムルト共ニ內部手數ノ省略ヲ期セリ

振替貯金制度ノ創設

郵便振替貯金ノ制度ハ前節郵便貯金法第四條ニ於テ旣ニ認メラレタルモ未タ之カ實施ニ至ラサリシカ本年度一月八日省令第三號ヲ以テ之カ規則ヲ制定シ其三月一日ヨリ實施シタリ此制度ノ目的ハ一般郵便貯金ニ於ケル零碎ノ資金蓄積ト其趣旨ヲ異ニシ主トシテ金錢取引上ノ利便ヲ與フルニ在リ隨テ其受拂ノ如キ一般郵便貯金ト全ク方法ヲ異ニセリ今其梗概ヲ叙スレハ

一　郵便爲替貯金管理所ニ振替貯金原簿ノ口座開設ヲ請求セントスル者ハ基本預金トシテ金二十圓ヲ添ヘ（官公署加入ノ場合ハ之ヲ要セス）郵便局所ヲ經テ之ヲ同所ニ請求スルコト

二　右口座ノ開設ヲ得タル者ハ之ヲ振替貯金ノ口座加入者ト稱スルコト

三　加入者ニ對シテハ左ノ三種ノ取扱ヲ爲スコト

イ　加入者又ハ加入者以外ノ者ヨリ當該加入者ノ口座ニ對スル現金又ハ所定ノ證券ニ依ル拂込ヲ受入ルヽコト

ロ　加入者ノ請求ニ依リ加入者口座相互間ニ於テ貯金ノ振替受拂ヲ爲スコト

ハ　加入者ノ請求ニ依リ加入者又ハ加入者以外ノ者ニ當該口座ノ貯金ヨリ現金ノ拂渡ヲ爲スコト

四　加入者ノ口座ニ對シ拂込ヲ爲サントスル者ハ郵便爲替貯金管理所發行ニ係ル拂込書用紙ニ依リ拂込票拂込通知票ヲ調製シ現金又ハ所定ノ證券ト共ニ郵便局所ニ差出シ尙ホ當該加入者ニ對シテハ通知票ノ裏面ニ通信文ヲ記載シテ通信ヲ爲シ得ルコト

五　郵便爲替貯金管理所ハ前號ノ拂込書類ニ依リ加入者ノ口座ニ受入金ヲ登記シ通知票ハ之ヲ加入者ニ送達スルコト

六　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ他ノ加入者ノ口座ニ振替拂出サントスル場合ニ於テハ郵便爲替貯金管理所發行ニ係ル拂出書用紙ニ依リ拂出票及拂出通知票ヲ調製シ直接之ヲ管理所ニ送付シ尙ホ其通知票ニ依リ第四號ノ例ニ依リ通信ヲ爲シ得ルコト

七　郵便爲替貯金管理所ハ前號ノ拂出書類ニ依リ關係口座ニ拂出及受入ヲ登記シ通知票ハ之ヲ受入加入者ニ送付スルコト

八　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シ自ラ受取リ又ハ他人ヲシテ受取ラシメントスルトキハ第六號ノ例ニ依リ拂出票ヲ調製シテ之ヲ差出スコト但シ通知票ニ通信文ノ記載ヲ許サヽルコト

九　前號ノ請求ニ對シテハ管理所ニ於テ拂戻證書ヲ調製シテ之ヲ受取人ニ送達シ通知票ハ之ヲ案內トシテ拂渡局ニ送付シ拂渡局ニ於テ拂出證書ト引換ニ現金ノ拂渡ヲ爲スコト

十　加入者ハ遞信省構內郵便局ノ窓口ニ於テ局待拂ヲ受クヘキ小切手同樣ノ拂出書ヲ振出シ得ルコト

十一　前號ノ拂出書ハ構內郵便局ノ窓口ニ於テ受付ケ直ニ之ヲ管理所（構內局ノ樓上ニ在リ）ニ送付シ印鑑及口座ノ現在高ニ對照ノ上局待ノ受取人ニ現金拂渡ヲ爲スコト

十二　振替貯金ノ受拂料金及拂込書、拂出書ノ用紙代金ハ當初加入請求ノ場合ヲ除クノ外左ノ割合ニ依リ當該加入者ノ口座預金中ヨリ毎日控除徵收スルコト

イ　拂込料金　一口每ニ金二錢

ロ　拂出料金

口座振替　拂出口座及受入口座ヨリ各一口每ニ金二錢宛

現金拂　局待拂　一口ノ請求金高ニ應シ十圓マテ五錢、五十圓マテ十錢、百圓マテ十五錢、五百圓マテ三十錢、千圓マテ五十錢

ト等ナリ

十三　管理所ハ各口座ニ對シ受拂アル每ニ其受拂高、越高、現在高ヲ當該加入者ニ通知スルコト

十四　國庫ノ計算ニ屬スル官署ノ口座ニ對シテハ利子ヲ附セス且ツ前號ノ料金ヲ徵收セサルコト

而シテ振替貯金拂込書ハ當初郵便爲替貯金管理所發行ノモノニ限ルノ定ナリシモ斯クテハ加入者ニ不便ニシテ一時急劇ノ請求ニ對シ動モスレハ加入者ノ需要ヲ充ス能ハサルノ虞アルノミナラス一面加入者ヲシテ之ヲ利用セシムルノ方法ヲ講スルハ本制度周知ノ上ニモ利益アルヲ以テ本年度二月十九日省令第六號ヲ以テ左ノ條件ノ下ニ之カ私製ヲ許シタリ但シ本規則ハ振替貯金規則實施前ノ發布ニ屬スルヲ以テ該制度施行ト同時ニ施行シタリ

一　私製拂込書用紙ハ郵便爲替貯金管理所發行ノモノト同様ナルヘキコト

二　私製拂込書用紙ニハ其相當欄ニ加入者ノ住所氏名及口座番號ヲ印刷シタルモノナルヘキコト

三　私製拂込書ノ裏面ニハ通信文ノ性質ヲ有セサル廣告其他ノ事項ヲ印刷シ得ルコト

事業ノ狀況

郵便爲替貯金管理所ニ於テハ郵便爲替、郵便貯金ヲ管理シ及郵便爲替、郵便貯金ノ檢查計算ニ關スル事務ヲ掌理スルモノニシテ此等ノ事項ニ關シテハ韓國及臺灣ニ對シテモ仍ホ全部又ハ一部ノ關係ヲ持續セリ然レトモ臺灣及韓國ニ付キテハ他ノ通信事項ト共ニ別ニ章ヲ設ケテ之ヲ揭載スヘキヲ以テ玆ニハ只內地及在淸局所ノ取扱ニ係ル狀況ヲ記載スルニ止メントス

內地局所取扱　郵便貯金ハ前年度以來非常ノ好況ヲ以テ增進シ同年度ニ於テ旣ニ金額二千十五万七千五百五圓（卽チ三割二分一厘）預ケ人二百四十二万七千八百三十六人（卽チ四割八厘）ノ激增アリタル後ヲ承ケタルニモ拘ラス本年度ニ至リテ更ニ金額二千二百四十四万七千三百八十九圓（卽チ二割九分八厘）預ケ人二九十一万九千三百九人（卽チ一割八分七厘）ノ增進ヲ呈シタルヲ以テ其金額ハ四年前ナル三十四年度末ニ二倍シ預ケ人ハ三年前ナル三十五年度末ニ二倍スルニ至レリ

本年度及前年度ノ狀況比較ハ左ノ如シ

	三十八年度	三十七年度	比較增加
預入度數	一八、九六八、八二八	一五、七七九、三〇四	三、一八九、五二四
同金額	四一、一五三、三六四圓	二八、七三八、九〇〇圓	一二、四一四、四六四圓
拂戻度數	三、〇五九、六〇〇	二、一九七、四四三	八六二、一五七
同金額	三一、一一〇、七八四	二〇、三五三、八一六	一〇、七五六、九六八

拂戻金額ニ對スル預入金額ノ超過	一〇、〇四二、五八〇	八、三八五、〇八四	一、六五七、四九六
元加利子及證券利子	二、三五九、〇五四	一、七三八、五七七	六二〇、四七七
年度末現在貯金金額	五四、二四八、七七五	四一、八〇一、三八六	一二、四四七、三八九
新規預入人員	一、七九六、四四五	一、九二九、二四五	減 一三三、八〇〇
全額拂戻人員	八七七、一四四	五〇一、四二五	三七五、七一九
全額拂戻人員ニ對スル新規預入人員ノ超過	九一九、三〇一	一、四二七、八二〇	減 五〇八、五一九
年度末現在貯金預ケ人	五、八四八、四九八	四、九二九、一八九	九一九、三〇九

（備考）本表預入、拂戻、元加利子及證券利子ヲ差引シテ前年度末現在貯金金額ト本年度末現在同金額トノ差ト符合セサルハ臺灣、韓國及在淸局所取扱ニ係ルモノトノ關係上ヨリ生スル結果ニシテ違算ニハアラサルナリ下ニ揭クル在淸局所取扱ノモノ亦同シ

本年度中ニ預入レタル平均一日ノ度數ハ五万千九百六十九度ニシテ其金額ハ十一万二千七百四十九圓トス（前年度ノ四万三千二百三十一度七万八千七百三十七圓ニ對シテ）拂戻ノ一日ノ平均度數ハ八千三百八十二度ニシテ其金額ハ八万五千二百三十五圓ナリ（前年度ノ六千二十度五万五千七百六十四圓ニ對シテ）平均一度ノ預入金額ハ二圓十七錢ニ當リ前年度ノ一圓八十二錢ナリシニ比スレハ三十五錢ノ增加ト爲リ拂戻一度ノ平均金額ハ十圓十七錢ニシテ前年度ノ九圓二十六錢ヨリ九十一錢ノ增加ヲ來セリ

此ノ如ク本年度ニ於テハ預拂共ニ平均一度ノ金額前年度ヨリ多カリシモ前者ノ增加ハ後者ニ比シテ其割合高カリシカタメ結局年度ノ末日ニ於ケル平均一人ノ貯金金額ヲ多カラシメ二十九年度以來逐年減少シツヽアリシ平均一人ノ年度末現在貯金金額ヲシテ九圓二十八錢ニ上ラシメ前年度末ノ八圓四十八錢ニ對シテ八十錢ノ多キヲ致シ前々年度末ノ九圓四錢ニ比スルモ尙ホ二十四錢ノ多キヲ見ルニ至レリ蓋シ注目スヘキ事項ノ一タルヘシ而シテ此現象ノ特殊郵便貯金ノ增加ヲ主因トスルモノニアラサルコトハ特殊ヲ除クモ尙ホ本年度末（九圓十四錢）ノ前年度末（八圓四十錢）ヨリ多キコト七十四錢ニ及ヘルヲ以テ知ルヘシ

在淸局所取扱　ニ係ル郵便貯金モ亦前年度以來頗ル好況ニシテ前々年度末ニ於テ三千六百九人ナリシ預ケ人ハ本年度末ニ至リテ六千六十二人ト爲リ之ニ對スル金額ハ十三万二千三百十七圓ヨリ進ミテ五十万五千三百二十一圓ト爲レリ而シテ預ケ人一人ニ付キテノ平均貯金ハ三十六圓六十六錢ナリシモノ今ハ八十三圓三十六錢ニ高マレリ

本年度及前年度ノ狀況比較ハ左ノ如シ

	三十八年度	三十七年度	比較增加
預入度數	二四、〇六二	二〇、一九三	三、八六九
同金額	七〇一、六三一圓	三三九、七五六圓	三六一、八七五圓
拂戻度數	九、二七五	五、五八〇	三、六九五
同金額	四六一、一八八圓	二一八、三七三圓	二四二、八一五圓
拂戻金額ニ對スル預入金額ノ超過	二四〇、四四三	一二一、三八三	一一九、〇六〇
元加利子及證券利子	一六、四六四	八、〇五一	八、四一三
年度末現在貯金金額	五〇五、三二一	二五八、九八八	二四六、三三三
新規預入人員	二、五五六	一、七六九	七八七
全額拂戻人員	一、三六六	四二〇	九四六
全額拂戻人員ニ對スル新規預入人員ノ超過	一、一九〇	一、三四九	減 一五九
年度末現在貯金預ケ人	六、〇六二	四、八九一	一、一七一

保管證券　郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ヘキ證券ハ本年度末ニ於テハ各種國債證券、新潟、山梨、岐阜、滋賀、石川、福井、富山、鹿兒島ノ各縣債券、東京、大阪、京都、橫濱、神戶、長崎、廣島、高松ノ各市債券、貯蓄、勸業、興業、北海道拓植銀行ノ各債券及郵便爲替證券ノ二十二種ニ限レリ此等證券ノ郵便爲替貯金管理所ニ於テ保管セラルヽ本年度末現況ハ左ノ如シ

	金額	前年度ニ對スル增加
內地局所ノ取扱ニ係ルモノ	二、九二八、八〇〇圓	一、七三三、六五〇圓
在淸局所ノ取扱ニ係ルモノ	三〇、三一〇	一〇、二〇〇

振替貯金　本年度三月一日ヨリ實施セラレタル郵便振替貯金ハ創始ノ事業ニ屬シ該制度ノ利用方法等未タ一般公衆ニ知悉セラレサルニ拘ラス同月三十一日マテノ口座加入者ハ旣ニ五百二十三人ノ多キニ達セリ而シテ其內二百四十一人（卽チ五分ノ二）ハ東京市內在住者ニシテ他ノ二百八十二人（卽チ五分ノ三）ハ地方在住者ニ屬セリ地方商工業者ノ之ヲ利用スル者多キハ寧ロ豫想外トスル所ナリ

右一箇月間ニ於ケル受拂狀況ハ左ノ如シ

	口數	金額
拂込	八八〇	五二、二七八圓
拂出	四四一	二八、三〇三

卽チ拂込ノ一日ノ平均口數ハ三十七金額ハ二千百七十八圓ニシテ一口ノ平均金額ハ五十九圓四十一錢ナリ又拂出ノ一日ノ平均口數ハ十八金額ハ千百七十九圓ニシテ一口ノ平均金額ハ六十四圓十八錢ニ當レリ而シテ其年度末ニ於ケル現在金高ハ右受拂差引殘額及基本預金、同利子、各種料金、用紙代金ヲ合セテ三万五千百五十一圓トス

（未完）

○官吏發著

▲ニ沼津御用邸ヘ出張ノ馬醫師寺田三郞ハ本月二十日歸京セリ

三重縣ヘ出張ヲ命セラレタル造神宮技師安藤時藏ハ昨二十三日出發セリ

▲ニ廣島灣要塞幹部演習視察ノタメ廣島縣福山地方ニ向ヒ出張ノ第五師團參謀長野島忠恭ハ本月十八日歸著○廣島陸軍地方幼年學校長鞍掛起英ハ校長會議ノタメ同十九日出發上京セリ

▲ニ會計實地檢查ノタメ出張ノ中隈會計檢查院部長ハ一昨二十二日歸京セリ

▲ニ上京ノ福岡縣港務長松本郁朗ハ昨二十三日、安藤愛媛縣知事ハ今二十四日孰モ出發歸任ス

○官吏死去

東京帝國大學農科大學助教授從七位農學博士池田作親ハ去月十五日死去セリ

判決

○特許局審決

山本長兵衞外三人ヨリ高橋重太郞ニ對シ第一二四二六號登錄商標ヲ其指定商品中黃楊櫛ニ對シ無效トスルタメ審判請求事件ニ付キ本月十七日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

第一〇一八號

審決書

大阪市東區南久寶寺町二丁目二十四番屋敷
請求人　山本　長兵衞
大阪市南區順慶町三丁目百十六番屋敷
請求人　天野　嘉藏
大阪府泉南郡貝塚町大字貝塚南二百五十二番屋敷
請求人　嘉田　小四郞
大阪府泉南郡北近義村大字加治三番屋敷
請求人　稻葉　牛次郞
大阪市東區備後町二丁目十八番屋敷
右代理人　特許代理業者　堤　他彥
大阪市東區南久寶寺町一丁目七十三番屋敷
被請求人　高橋　重太郞
大阪市東區北濱三丁目六十三番屋敷
右代理人　特許代理業者　松岡　歸之

右山本長兵衞外三名ヨリ高橋重太郞ニ對シ第一二四二六號登錄商標ヲ其指定商品中黃楊櫛ニ對シ無效トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

第7142号　本文

請求人申立ノ要領ハ前記第一二四二六號商標登錄ハ指定商品中黃楊櫛ニ對シ無效トスト審決セラレ度其ノ理由ハ右登錄商標タル㊉印ハ明治三十二年三月二十七日ノ出願ニ係リ同年五月八日一切ノ櫛ニ對シ登錄ヲ受ケタルモノナルコトハ商標公報第二百十八號ニ依リ明ラカナリ然ルニ請求人等カ管理スル木櫛工商組合員全般ハ往昔ヨリ右㊉ノ圖形及其ノ稱呼「マルヂウ」ヲ以テ黃楊櫛ノ代名詞ト爲シ一般取引上ニ於テ用ヒ來ルノミナラス需用者モ㊉ノ圖形ヲ商品ニ烙印シアレハ黃楊櫛ナルコトヲ知リ得ルナリ斯ノ如ク㊉ハ古來ヨリ同業者間一般ニ黃楊櫛ノ代名詞トシテ用ヒラレ來リタルモノナレハ本件登錄商標ハ商標普通ノ名稱ヲ單ニ圖形ニ顯ハシタルニ止マリ商標トシテ登錄ヲ受クルヲ得サルモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且人證ノ申立ヲ爲セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決セラレ度其ノ理由ハ請求人ハ㊉ノ商標ハ請求人等カ管理スル木櫛工商組合員全般カ往昔ヨリ黃楊櫛ノ代名詞トシテ用ヒ來リタルモノヲ圖形ニ顯ハシタルモノナレハ普通名稱ニシテ登錄ヲ受クルヲ得サルモノナリト云フト雖右㊉ノ商標ハ被請求人カ數十年前木櫛商ヲ營ム際其ノ名ノ重太郎ニ因ミ㊉印ノ商標ヲ使用シ始メタルモノニシテ黃楊櫛ノ代名詞ニアラス所謂商品ノ普通名稱トハ其商標ヲ使用スル商品若ハ其ノ商品ノ性質ヲ表示スルカ又ハ其物品ニシテ他ニ通稱ナク雅名若ハ寓名ニ由テ行ハレ慣用ノ久シキ遂ニ其ノ物品ノ普通名トナリタルモノナラサルヘカラス故ニ「つげのくし」ノ如キハ「つげのくし」ト云フ以外ニ名稱ノ存スル理ナシ又所謂普通名稱ナルモノハ帝國內一般又ハ狹クトモ一地方ニ普通ナルモノナラサルヘカラス然ルニ請求人等ハ其ノ同業者而カモ請求人カ管理スト云フ木櫛工商組合員ニ限リ行ハルル名稱ナリト云フカ故ニ所謂商品ノ普通名稱タルニ至ラサルモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ乙第一號乃至第十三號ノ證據ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

證人小林兵八及川瀨正七ノ訊問調書ニ依レハ「マルヂウ」ナル名稱ハ黃楊櫛ノ異名ニシテ普通一般ニ使用セラルルコト明カニシテ被請求人ノ登錄商標タル㊉ハ此普通名稱ヲ表示スルモノト云ハサルヘカラス然ルニ本件登錄商標ハ明治三十二年五月八日ノ登錄ニ係ルモノニシテ登錄當時ノ規定タル商標條例第二條ニ商品普通ノ名稱ノミヲ以テ要部トナスモノハ其ノ登錄ヲ受クルヲ得サルモノトストアルニ依リ本件登錄商標ハ右ノ規定ニ該當スルモノニシテ黃楊櫛ニ對シテハ無效タルヘキモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第一二四二六號商標登錄ハ黃楊櫛ニ對シ無效トス

明治四十年四月十七日於特許局

審判長　特許局事務官　中松盛雄
特許局事務官　松田啓太郎
特許局事務官　八見次郎

警察

○出火　東京府外三縣ニ於ケル出火左ノ如シ

東京府　本月十日午後八時五分伊豆國神津島一番地ヨリ出火全燒二戶同九時十五分鎭火」一昨二十二日午前四時三十分東京市本鄕區根津須賀町十二番地ヨリ出火全燒十一戶、半燒十五戶、同五時鎭火原因過失」昨二十三日午前零時三十分同市本所區龜澤町一丁目二十六番地ヨリ出火全燒半燒各〻一戶同時四十七分鎭火原因放火ナリ

高知縣　本月十八日午前四時長岡郡東豐永村字中內ヨリ出火一戶燒失燒死者一

佐賀縣　本月十八日午後七時三十分東松浦郡北波多村芳ノ谷（炭坑株式會社坑夫納屋）ヨリ出火納屋四十三棟（此戶數百六十四）炭坑專用ノ賣店二十六棟（此ノ戶數三十）外農家二戶燒失、同九時三十分鎭火負傷者四

熊本縣　本月十七日正午八代郡河俁村ヨリ出火住家二十六戶、小屋十九棟（內尋常小學校分敎場一棟）燒失負傷者二同午後九時鎭火原因過失ナリ

○陸海軍

○水路告示第千九百十一號

一艦船ニ於テ此告示ヲ領受シタルトキハ速ニ其關係ノ圖誌ヲ改正增補センコトヲ要ス
一方位ハ總テ磁針ニシテ燈置ノ方位ハ海方ヨリ取ル

第五六五八項

黑龍沿岸州

浦鹽斯德港入港船舶ニ對スル注意

露國水路部告示第一八四號一九〇七年二月十六日ニ據レハ浦鹽斯德港ニ沈置セル水雷ノ未タ尙ホ除却サレサルモノアリテ觸發ノ虞無シトセサルニ因リ本港ニ入ラントスル航海者ハ黎明ヲ以テAskold I.又ハCape Gamovaニ達シ日中ニ本港ニ到ル航路ヲ通行スヘシ但シAskold I.ニ達セントスルニハ同島ヨリ少ナクモ八十浬ノ距離ニテ黎明ヲ期シ同島ニ於テ水先案內ヲ聘シ其指導ニ從ヒ本港ニ入ルヲ要ス

本港ニ入ルニAmur bayニ依ラントスルトキハ針路ヲCape Gamovaニ取リ同岬ヨリRimskago Korsakova, Stenin及Tsivolko諸島ヲ東ニ見テ成ル可ク近クMatyyeeva rock及Cape Chernyavskagoニ接シ同灣ヲ航進シ浦鹽斯德港ニ到ルヘシ

本港ニ向ヒ航進中ハ浮流物ニ對シ嚴密ナル監察ヲ加ヘ之ヲ迂回スヘシ是レ其Cape Gamova及Askold I.ニ達スルニ右ノ岬島ヲ距ル四十浬乃至八十浬ノ距離ニ於テ黎明ヲ期スヘキ所以ナリ（海軍省軍務局回牒）

右告示ス

明治四十年四月二十四日　水路部長　坂本一

注意

一當部刊行ノ圖誌類ハ左記ノ各地ニ於テ之ヲ販賣ス
日本郵船株式會社東京本店○大阪、神戶、長崎、函館、門司ノ五支店
一此告示ノ印刷物ハ若干部ヲ前記ノ圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者臨時ノ要望ニ應スヘシ
一此告示ノ印刷物ハ左記ノ韓國沿海各理事廳及帝國領事館ニモ送付シアルヲ以テ各航海者ハ臨時該處ニ就テ縱覽スルヲ得ヘシ
鎭南浦　馬山　仁川　木浦　群山　釜山　元山　城津○孟買　新嘉坡　馬尼剌　香港　盤谷
廈門　上海　漢口　杭州　福州　芝罘　天津　牛莊　浦鹽斯德　晚香坡　シヤトル　桑港
ホノルヽ　シツニー　タウンスビル
一海上ノ危險ヲ發見シ又ハ航海上現行圖誌ノ改補ニ必要ナル實驗ヲ爲シタルトキハ速ニ其當事者ヨリ直接水路部ニ報告アランコトヲ希望ス依テ便宜ノ爲メ水路報告用紙ト題セル印刷物若干部ヲ第一號ニ記セル各圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者ノ要望ニ應ス但シ必スシモ此用紙ヲ用ユルニ及ハス

○橫須賀軍港細則中改正

橫須賀鎭守府司令長官ハ橫須賀軍港細則中左ノ通改正セリ（明治三十四年八月十四日本欄內參看）（海軍省）

第七十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七十一條ノ二　荒井ノ東南突角ヲ中心トシテ五十間ノ半徑ヲ以テ畫キタル水面內（其ノ外方ニ三箇ノ浮標ヲ碇置ス）ハ汽艇其ノ他火氣ヲ有スル一切ノ船舟ノ入ルコトヲ禁ス

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
笠置 新高	四、二三	芝罘		
須磨	同	橫須賀		
松江	同		城津	迹湖
摩耶	同	美保ノ關		
赤城	四、二三	芝罘		
筑波 千歲	同	ジブラルタル		アナポリス
高千穗	同		大通	安慶

○日本赤十字社錄事

社員總會　日本赤十字社大阪支部ニテハ本月五日大阪市四天王寺境內ニ於テ大阪市社員總會ヲ擧行セリ當日總裁職仁親王殿下台臨アラセラレ理事子爵松平乘承、第一部長後藤松吉郎等陪從午後二時式ヲ擧クルヤ支部長高崎親章ハ三十七八年戰役ニ關シ本社ニ賜リタル勅語令旨ヲ捧讀シ次ニ總裁殿下ハ左ノ御諭旨ヲ賜リタリ

本日大阪市社員總會ニ臨ミ諸氏ト親シク相見ルハ余ノ欣喜スル所ナリ

大阪ハ古來殷富ノ大都府且師團所在ノ要地ナルヲ以テ當支部ニ於ケル赤十字事業ハ最モ旺盛ナラサルヘカラス幸ニ社員及職員ノ盡瘁ニ由リ夙ニ著シク發達シ戰時準備モ亦早ク成リ明治三十七八年戰役ニ際シ三箇救護班ヲ內外ニ派遣シ又患者休養所ヲ設置シテ傷病軍人ノ慰藉ニ勗メ各〻實效ヲ擧ケタルハ滿足ノ至ナリ

今ヤ本社ノ聲譽ハ遠ク海外ニマテ籍甚シ社業ノ隆替ハ實ニ國光ニ關スルモノアリ因テ今後益〻黽勉シテ將來ノ準備ニ遺憾ナキヲ期ス諸氏夫レ此旨ヲ體シ一層協力贊助アランコトヲ望ム

次テ支部長答辭ヲ上リ持木副長前年中ノ事務會計ヲ報告シ次ニ松平理事社長ノ祝詞ヲ代讀シ次ニ社員總代ノ祝詞アリ其ヨリ總裁殿下ニハ社業ニ功勞アル者及社資ヲ幇助セル篤志者ニ有功章及特別社員章ヲ御親授アラセラレ畢テ無事散會セリ當日參會者無慮一万八千人頗ル盛況ヲ呈セリ

支部役員總會竝建築落成式　日本赤十字社三重支部ニテハ本月八日同支部樓上ニ於テ第二回役員總會竝建築落成式ヲ擧行セリ當日總裁職仁親王殿下ニハ理事子爵松平乘承第一部長後藤松吉郎等ヲ隨ヘ台臨アラセラレ午前十時式ヲ擧クルヤ支部長有松英義職員名簿及支部建築圖ヲ捧呈シ殿下ニハ左ノ御諭旨ヲ賜リタリ

茲ニ三重支部第二回役員總會竝事務所建築落成式ニ臨ミ諸氏ト親ク相見ルヲ懌フ

當支部ニ於ケル社業ハ逐年發達シテ今日ノ盛況ヲ呈シ日露戰役ノ際ニハ二箇救護班ヲ派遣シテ克ク實績ヲ擧ケ又新築モ其功ヲ畢ヘ諸般事業ノ發展ヲ見ルハ諸氏奮勉ノ結果ニシテ尤モ嘉尙スヘシ

今ヤ本社カ戰後經營ニ汲々タルニ當リ尙ホ諸氏ノ翊贊ニ竢ツモノ少ナカラス諸氏益〻勵精努力センコトヲ

次ニ支部長答辭ヲ上リ鵜見副長前年ノ事務成績及建築工事ノ報告ヲ爲シ次ニ松平理事社長ノ祝詞ヲ代讀シ其ヨリ總裁殿下ニハ功勞者及篤志者ニ特別社員章ヲ御親授アラセラレ同十一時三十分無事散會セリ當日參會者七百餘人頗ル盛況ヲ呈セリ

役員及特別社員總會　日本赤十字社靜岡支部ニテハ本月十日同支部構內ニ於テ支部役員及特別社員總會ヲ擧行セリ當日總裁職仁親王殿下ニハ理事子爵松平乘承第一部長後藤松吉郎等ヲ隨ヘ台臨アラセラレ午前十時式ヲ擧クルヤ支部長李家隆介ハ三十七八年戰役ニ關シ本社ヘ賜リタル勅語令旨ヲ捧讀シ總裁殿下ヨリ御諭旨ヲ賜リ功勞者及篤志者ニ特別社員章ヲ御親授アラセラルヽ等其擧式ノ順序ハ大阪支部同樣ニシテ當日雨天ニモ拘ラス參會者六百餘人終始靜肅ニ散會セリ殿下ノ御諭旨左ノ如シ（以上宮內省）

本日靜岡支部役員及特別社員總會ニ臨ミ諸氏ト相見ルハ余ノ欣喜スル所ナリ

當支部ハ諸氏多年ノ盡力ニ由リ現今ノ隆盛ヲ致シ明治三十七八年戰役ニハ二箇救護班ヲ派遣シテ軍衛ノ醫務ヲ助ケ又患者休養所ヲ設置シテ傷病者ノ慰藉ニ努メ各〻成績ノ觀ルヘキアルハ滿足ノ至ナリ

該戰役ニ於ケル本社ノ行動ハ幸ニ其效ヲ奏シ聲譽ヲ中外ニ博シタルト共ニ將來ノ責任愈〻重キヲ加ヘタルヲ以テ自今一層勉テ社業ヲ振張整理センコトヲ期ス諸氏夫レ協同一致シテ益〻國家ノ爲メ盡ス所アランコトヲ望ム

○學事

○大學院入學

左記二十八ハ各頭書ノ事項攻究ノタメ東京帝國大學大學院ヘ入學ヲ出願セシニ依リ同大學ニ於テ之ヲ許可セリ（文部省）

經濟政策殊ニ保險ニ關スル事項	法學士	川谷又三郎
商法	法學士	山數一成
國際公法	法學士	香田標一
商法殊ニ保險法	法學士	石川喜保
民事訴訟法	法學士	前田直之助
產科學婦人科學一般	醫學士	大瀨貫明
生理學一般	醫學士	井上達一
精神病學一般	醫學士	齋藤玉男
內科學一般	醫學士	筧繁
整形外科學一般	醫學士	松岡百合人
外科學一般	醫學士	前川重一
產科學婦人科學一般	醫學士	橋爪賢次郎
外科學一般殊ニ肛門外科	醫學士	青木龍雄
傳染病一般	醫學士	原口哲次
外科學一般	醫學士	大沼辰三
內科學一般	醫學士	隈見淳太郎
耳鼻咽喉科學一般	醫學士	寺田暢作
耳鼻咽喉科學一般	醫學士	杉村可宗
氣管枝病變	醫學士	中村符
醫學科中花柳病學一般殊ニ黴毒ノ原因及療法	醫學士	小川龍

○卒業證書授與

東京高等商業學校ニ於テ曩ニ試驗ヲ延期セシ專攻部（銀行科）東京府士族藤田辰雄ニ本月二十日卒業證書ヲ授與セリ（文部省）

○留學生出發

文部省外國留學生理學博士本多光太郎ハ本月十七日出發セリ（文部省）

○財政

○通貨流通高

大藏省ノ調查ニ係ル去月末通貨流通高及增減比較左ノ如シ（△印ハ減）（大藏省）

種類	流通高（圓）	前月末比較增減（圓）	前年同月末比較增減（圓）
新金貨	一四、八一三、九四四・五六三	△一三、五三六、四九四・〇九〇	二、四一七、九〇八・四五〇
舊金貨	八、〇九七、九七六・八八四	△一、三三二・〇〇〇	△四二七、六七六・〇〇〇
金貨合計	二二、九一一、九二一・四四七	△一三、五三七、八二六・〇九〇	一、九九〇、二三二・四五〇
補助銀貨	八五、七六六、五一〇・七五〇	△九九、六四〇・〇〇〇	一〇、五六二、三二六・九〇〇
補助銅貨	一八、二四一、七五七・〇七二	△二七・〇〇〇	三五、一四七・一〇〇
補助貨合計	一〇四、〇〇八、二六七・八二二	△九九、六六七・〇〇〇	一〇、五九七、四七四・〇〇〇
正貨合計	一二六、九二〇、一八九・二六九	△一三、六三七、四九三・〇九〇	一二、五八七、七〇六・四五〇
兌換銀行券	三一八、七三二、一五九・〇〇〇	△二九四、八五三・〇〇〇	四九、六四〇、一七六・〇〇〇
通貨總計	四四五、六五二、三四八・二六九	△一三、九三二、三四六・〇九〇	六二、二二七、八八二・四五〇

（備考）正貨ハ發行高ヨリ鎔潰高、純輸出高及兌換銀行券準備高ヲ控除シ舊金貨ハ倍位ニ計算ス又補助銅貨中ニハ白銅貨、青銅貨及新舊銅貨ヲ含ム」兌換銀行券ハ月末發行高ヲ示ス

○產業

○全國米實收高

農商務省ノ調查ニ係ル昨三十九年全國米實收高左ノ如シ（△印ハ減）（昨三十九年五月四日本欄內參看）（農商務省）

昨三十九年ノ米作ハ第一回豫想ノ際ニ於テハ氣候稍々適順ナリシヲ以テ頗ル豐作ヲ豫期シタリシカ其後氣候不順ニシテ降雨多ク氣溫著シク低下シ且ツ風、水害ヲ被リタル地方尠カラサリシヲ以テ稍々收穫ヲ減シタリ然レトモ其收穫高ハ四千六百三十二萬六千四百三十四石ニシテ前年ニ比スレハ二割一分四厘、平年ニ比スレハ八分九厘ノ增收ヲ來セリ

米累年比較

年次	作付段別				收穫高				一段步收穫高			
	粳米	糯米	陸米	計	粳米	糯米	陸米	計	粳米	糯米	陸米	平均
	町	町	町	町	石	石	石	石	石	石	石	石
三十年	二、四五七、六八二・一	二六七、四七二・〇	六二、〇二七・二	二、七八七、一八一・三	二九、七二二、七三六	二、八七八、九四四	四三七、六一三	三三、〇三九、二九三	一・二〇九	一・〇七六	〇・七〇六	一・一八五
三十一年	二、四八五、一七九・一	二六五、〇三七・〇	六七、四〇七・九	二、八一七、六二四・〇	四二、七一二、三九二	四、〇五五、六九〇	六一九、五八四	四七、三八七、六六六	一・七一九	一・五三〇	〇・九一九	一・六八二
三十二年	二、五〇〇、五〇四・〇	二六七、七六一・二	七一、二八五・〇	二、八三九、五五〇・二	三五、六四九、六三七	三、四九七、二〇九	五五一、四一二	三九、六九八、二五八	一・四二一	一・三〇六	〇・七七四	一・三九四
三十三年	二、四八六、三二〇・三	二六七、三五八・八	七四、七八〇・八	二、八二八、四五九・九	三七、二二一、二〇〇	三、五九〇、五二八	六五四、六九四	四一、四六六、四二二	一・四九七	一・三四三	〇・八七五	一・四六六
三十四年	二、四九七、四四四・六	二七〇、〇五八・三	七九、八五四・四	二、八四七、三五七・三	四二、一〇七、八七三	四、〇八六、〇四〇	七二〇、五二一	四六、九一四、四三四	一・六八六	一・五一三	〇・九〇二	一・六四八
三十五年	二、四九九、一二七・八	二六三、八七〇・九	八四、一九三・二	二、八四七、一九一・九	三三、一八八、三三七	三、一三七、二六二	六〇六、六六七	三六、九三二、二六六	一・三二八	一・一八五	〇・七二一	一・二九七
三十六年	二、五一二、九八九・六	二六四、九六九・〇	八六、一八〇・五	二、八六四、一三九・一	四一、八四三、〇八一	三、九六八、二五二	六六一、九六五	四六、四七三、二九八	一・六六五	一・四九八	〇・七六八	一・六二三
三十七年	二、五三五、八六四・一	二六二、一七四・九	八二、六七五・九	二、八八〇、七一四・九	四六、五一四、六三一	四、三三三、四七二	五八二、一一八	五一、四三〇、二二一	一・八三四	一・六五三	〇・七〇四	一・七八五
三十八年	二、五四五、二一八・五	二六一、二五五・五	七五、〇七四・五	二、八八一、五四八・五	三四、四四五、一八九	三、一三三、八九八	五九三、四七三	三八、一七二、五六〇	一・三五三	一・二〇〇	〇・七九一	一・三二五
三十九年	二、五五八、三七二・七	二六四、四〇六・一	七六、四五九・五	二、八九九、二三八・三	四一、七五四、二六二	三、八八二、九九九	六八九、一七三	四六、三二六、四三四	一・六三二	一・四六九	〇・九〇一	一・五九八
平年	二、五〇八、四九五・四	二六六、八〇三・六	八〇、五八〇・九	二、八五五、二二一・〇	三八、二五三、三九六	三、六五五、八五八	六一九、七八三	四二、五四四、九九四	一・五二五	一・三七〇	〇・七六九	一・四九二

（備考）平年トハ三十八年ヨリ七箇年前ニ遡リ其中最豐最凶ノ二箇年ヲ除キ殘五箇年ヲ平均シタルモノナリ」平年ノ計ノ内譯ト符合セサルハ各種類ニ就キ平均シタルニ因ル

米輸出入累年比較

年次	輸出			輸入		
	數量	價額	一石ニ付キ價格	數量	價額	一石ニ付キ價格
	石	圓	圓	石	圓	圓
三十年	五一七、六七八	六、一四一、二二八	一一・八六	二、五二〇、五五八	二一、五二八、四二九	八・五四
三十一年	四二〇、〇四七	五、九二〇、一八五	一四・〇九	四、六七八、五〇一	四八、二一九、八一〇	一〇・三一
三十二年	八七一、五三四	一〇、二八二、〇一二	一一・八〇	六六〇、二三七	五、九六〇、一六六	九・〇三
三十三年	二五三、五六三	三、五七六、五六九	一四・一一	九一四、七九二	九、〇二一、五三六	九・八六
三十四年	五二〇、六一七	六、九〇八、九一三	一三・二七	一、二四四、七七五	一一、八七八、九五八	九・五四
三十五年	五〇七、六九五	六、六七九、五四四	一三・一六	一、八〇三、六二九	一七、七五〇、八一七	九・八四
三十六年	三八二、九七四	四、九五九、八八〇	一五・〇八	四、八六四、九六二	五一、九六〇、二七二	一〇・六八
三十七年	三〇八、四二九	四、七二四、八六〇	一五・三二	五、八九二、七一四	五九、七九一、九一一	一〇・一五
三十八年	二〇八、〇七四	三、一二六、九八九	一五・〇三	四、六三八、三六五	四七、九八一、二六五	一〇・三四
三十九年	二二四、四六三	三、六八七、〇八三	一六・四三	二、四四〇、四三四	二六、一七二、〇七九	一〇・七二

（備考）輸出入ノ石數ハ一擔ヲ四斗トシテ算出セリ

米收穫高比較

道府縣	三十九年	三十八年	平均	三十八年比較增減	平年比較增減	備考
	石	石	石	石	石	
北海道	二三〇、五八二	一五九、九三六	一四五、一三四	七〇、六四三	八五、四四八	結實期後氣溫冷却且ツ降霜早カリシ等ノタメ其害少カラス殊ニ函館支廳管内ニ於テ甚シカリシヲ以テ豫想ノ如キ收穫ヲ見ルヲ得サリキ
東京	二七四、九七一	二五八、二〇三	二九六、七一五	一六、七六九	△ 二一、七四三	成熟期ニ於テ天候不良ナリシカタメ豫想外ノ不作ナリシ
京都	八一八、〇三八	七五五、四九四	七五四、一一九	六二、五四四	六三、九一九	播種當時ニ在リテハ氣候稍〻低溫ノタメ發芽遲緩ノ地方アリシカ間モナク溫度順調ニ復シ雨量又過不及ナク分蘖佳良莖稈強健ニ發育シ病蟲ノ被害モ僅少ニ止リシヲ以テ近年比類ナキ豐作ヲ期待セシカ出穗開花ノ季節ニ際シ降雨多ク頻ニ冷氣加リシカタメ少カラサル障害ヲ被リシカ秋分以降天候稍〻回復セシヲ以テ聊カ見直セシモ再ヒ陰晴極リナキコト數日ニ亙リシタメ遂ニ充分ナル結實ヲ見ル能ハサリシ
大阪	一、一六一、七三三	一、〇九五、六三八	一、〇四四、九六五	六六、〇九五	一一六、七六八	本年ハ苗代以來移植後ニ至ルマテ氣候適順殊ニ土用以後日照強カリシタメ株張伸暢共ニ良好ニ經過シ害蟲ノ發生亦僅少ニシテ孰モ大豐作ヲ豫期セシカ中晩稻開花期ニ際シ降雨頻リニ至リ且ツ氣溫低カリシタメ病蟲害ヲ被リ一般成熟上多少ノ障害ヲ與ヘタリ而シテ前年ニ比シ作付段別ノ增加セシハ粳米ニシテ主トシテ挿秧時期ニ際シ田面浸水ノ被害ナカリシニ由ル
神奈川	三二四、二〇〇	三五八、二五一	三七七、八七三	△ 三四、〇五一	△ 五三、六七三	挿秧後氣候稍〻適順ナリシヲ以テ平年以上ノ收穫アルヘキ豫想ナリシモ開花期ニ至リ降雨頻繁ニシテ俄ニ冷氣ヲ加ヘシタメ如上ノ不結果ヲ見ルニ至レリ
兵庫	二、一九四、三六二	二、〇二一、四七〇	二、〇〇五、〇八一	一七二、八九七	一八九、二八六	—
長崎	四六六、二〇四	三四九、二五一	四〇七、九九九	一一六、九五三	五八、二〇五	挿秧後氣候適順ニシテ且ツ風、水害等ナク成育頗ル佳良ナリシカタメ近年稀有ノ豐收ヲ來セリ
新潟	二、七一八、四七三	一、六五〇、五九七	二、三五三、〇二一	一、〇六七、八七六	三六五、四五二	挿秧ノ際ニ於テハ天候適順ニシテ作柄良好ナリシカ中晩稻開花期前後ニ於テ陰雨連日秋冷ヲ催スコト速ナリシヲ以テ豫想ノ收穫ヲ得ル能ハサリシ
埼玉	九三四、〇六七	七七九、九三七	九二八、八五一	一五四、一三〇	五、二一六	—
群馬	三三八、〇一四	一七二、八二〇	四五三、八〇七	一六五、一九四	△ 一一五、七九三	九月以後降雨連日溫度低下セシタメ出穗遲滯シ且ツ不整ナリシヲ以テ受精及成熟作用ヲ害シタメニ中晩稻ノ收穫意外ニ減少シタリ
千葉	一、四一二、三二二	一、五一四、三六四	一、五四一、二三五	△ 一〇二、〇四二	△ 一二八、九一三	播種以來氣候適順ニシテ苗ノ發芽生育共ニ良好ナリシカ六月中挿秧期ニ際シ旱天打續キ用水欠乏ヲ告ケ七月ニ至リ豪雨ノタメ辛ウシテ挿秧ヲ爲スヲ得タリシモ尙ホ千六十三町歩ハ全ク不作地ニ歸セリ又七月中旬ニ及ヒ豪雨襲來ノタメ利根其他ノ諸川氾濫シ二千三百九十町歩餘ノ稻田朽腐ニ歸セシヲ以テ收穫上多大ノ影響ヲ被リシノミナラス其後氣候甚タ不順ニシテ水稻特ニ全縣下ノ七分ヲ占ムル晩稻ハ甚シク其生育ヲ阻害セラレ遂ニ近年稀ナル凶作ニ終レリ尤モ陸稻ハ幸ニ氣候適順ニシテ未曾有ノ豐作ヲ得タリ
茨城	九五一、四四四	九七三、三四五	一、二四一、三五〇	△ 二一、九〇一	△ 二八九、九〇六	播種以來氣候適順ナリシモ挿秧期ニ至リ旱天打續キタルタメ灌漑不便ノ地ニ在リテハ移植期ヲ失シタルモノアリ六月中旬ヨリ數回ノ降雨アリテ幸ニ挿秧ヲ了シ爾後氣候適順氣溫昇騰シ生育ノ狀況稍〻挽回シタリシカ晩稻ノ出穗期ヨリ氣候俄ニ冷濕ト爲リ爲ニ開花結實其害ヲ蒙リ晩稻ノ被害殊ニ甚シカリシ加之縣下西南部ニ於テハ七月中旬ヨリ八月上旬ニ亙ル洪水ノ罹災極テ甚シク稻數部ノ如キハ收穫皆無ノ箇所少カラサリシ
栃木	七四四、一一三	五一一、〇六六	七八二、三五二	二三三、〇四七	△ 三八、二三九	開花期ヨリ結實期ニ亙リ氣候冷濕ナリシカタメ結實作用ニ阻害ヲ來セリ
奈良	七〇三、五八五	六八七、四五五	六五七、〇二六	一六、一三〇	四六、五五九	挿秧後氣候適順ニシテ豐作ノ豫想ナリシカ出穗期ニ際シ雨量過多ナリシカタメ冷氣甚シク或ル部分ニ在リテハ穗腐病ニ罹ル等成熟不充分ナリシ
三重	一、一八〇、五二一	一、一八二、四五六	一、一五三、四五二	△ 一、九三五	二七、〇六九	二百十日前ニ在リテハ頗ル好況ニシテ平年ニ比シ約一割ノ增收ヲ得ル見込ナリシモ開花期ニ際シ降雨過多ナリシカタメ結實充分ナラサリシ
愛知	一、八六五、〇九八	一、七九二、七一一	一、七五一、三四四	七二、三八七	一一三、七五四	挿秧以後氣候頗ル適順ニシテ株張伸暢共ニ良好ナリシカ九月上旬ヨリ降雨連日氣溫低下シ縣下稻作ノ大部分ヲ占ムル中晩稻ノ出穗ヲ遲延ナラシメ晩稻ノ被害ハ殊ニ甚シカリキ尙ホ處々ニ病蟲害ヲ發生セシモ當局者豫防驅除ノ督勵ト農家ノ注意トニ因リ其災害甚シカラサルヲ得タリ
靜岡	一、〇九六、〇五一	一、〇二八、九一五	九五七、二〇一	六七、一三六	一三八、八五〇	挿秧以來氣候適順ニシテ生育良好ナリシモ九月初旬以來降雨多ク氣候俄ニ冷涼ト爲リ中晩稻ノ結實ヲ害セシカタメ豫想ノ收穫ヲ得ルコト能ハサリシ
山梨	三〇三、三六八	二八七、九七七	三四八、二二六	一五、三九一	△ 四四、八五八	挿秧以來氣候適順生育良好ニシテ病蟲害ノ發生亦少カリシカ九月上旬ヨリ氣候頓ニ冷氣ヲ催シ大ニ登熟作用ヲ阻害セリ
滋賀	一、二八〇、九三七	一、二二二、五八九	一、一七八、八〇四	五八、三四八	一〇二、一三三	挿秧以來氣候適順秧稻ノ發育頗ル良好ニシテ八月下旬ノ作柄ハ近來稀有ノ好景況ナリシカ九月ニ至リ氣候一變シ霖雨連日ニ亙リ中晩稻ノ成熟ヲ害シ加之稻熱病發生シ頗ル悲觀的感想ヲ懷カシメタリシカ十月ニ至リ天候回復シタルカタメ如上ノ收穫ヲ見ルニ至レリ而シテ前年及平年ニ比シ增收ナリシハ主トシテ作付段別ノ增加ト統計調査ノ精密ニ赴キタルカタメナランカ
岐阜	九九九、八二九	八〇一、一一八	八八七、二四二	一九八、七一一	一一二、五八七	播種以來氣候適順成育良好ニシテ近年無比ノ作況ヲ呈セシカ九月ヨリ十月上旬マテノ間低氣壓ノ發生屢〻ナリシカタメ陰冷多雨ニシテ平年ヨリ二度乃至五度ノ低溫ヲ持續シ日射時日寡少ナリシヲ以テ中晩稻ノ開花及結實ニ多大ノ影響ヲ及シ十月下旬ニ至リ氣溫漸ク平年ニ復セシモ到底作況ヲ挽回スルヲ得サリシ
長野	一、〇七三、三三九	九〇五、一五八	一、二〇五、八一三	一六八、一八一	△ 一三二、四七四	開花前マテハ氣候適順ニシテ頗ル好況ナリシモ二百十日前ヨリ頻ニ冷氣ヲ催シ早稻ハ稍〻充分ノ結果ヲ得タルモ晩稻ハ開花充分ナラス其儘萎縮シタルモノ多ク米質概シテ不良ニシテ青米多シ
宮城	七九二、三四〇	一四二、七一八	一、〇三〇、四九五	六四九、六二二	△ 二三八、一五五	挿秧ノ際用水缺乏ノタメ時期ニ後ルヽコト旬日加フルニ土用中ハ低溫ニシテ曇天多ク從テ開花ノ期ヲ遲延ナラシメ結果充分ナラサリシ然レトモ風雨病蟲ノ被害ナカリキ
福島	九三四、一三八	三一四、六一五	一、一九五、三七一	六一九、五二三	△ 二六一、二三三	挿秧以後氣候適順ニシテ分蘖稍旺ナリシモ成熟期ニ及ヒ曇天降雨ノ日多ク氣溫低下シタリシヲ以テ成熟各〻後レ晩稻ノ如キハ收穫特ニ不良ナリシ
岩手	五八二、九七五	一九三、一九〇	五〇六、七六〇	三八九、七八五	七六、二一五	挿秧以來天候概ネ適順發育頗ル良好ナリシモ二百十日後晩稻抽穗開花ノ期節ニ際シ天候頓ニ不良ニ陷リ朝夕冷氣打續キタルタメ一般ニ成熟作用ヲ妨ケラレ就中氣仙、東磐井、上閉伊、九戸ノ諸郡ハ登熟最モ不充分ナリシ幸ニシテ早稻中稻ニハ格別ノ被害ナカリシ
青森	四五九、八三五	五四三、九五〇	七〇八、八九五	△ 八四、一一五	△ 二四九、〇六〇	含穗期ニ際シ氣候俄ニ冷濕ト爲リシカタメ抽穗著シク遲緩ト爲リ中晩稻ハ刈取前後ニ於テ甚タシキ霜雪及霜害ヲ被リタルカタメ田面ニ散落米多ク晩稻ノ結實ハ不充分ニシテ粃米過半ヲ占メタリ皆無作ト看做スヘキ段別七千八百三十三町歩ニ達セリ

第7142号 本文

第7142号 本文

山形	一、四二〇、九六八	一、〇三八、四三七	一、三八四、四九五	三八二、五三一	三六、四七三	前年ノ凶作ニ鑑ミ官民共ニ鋭意之カ轍ヲ踏ムナカランコトヲ努メタリシモ含穗期以後氣温頓ニ低下シ一般ニ成熟遲緩ニ陷リ山間及冷濕地方ノ如キニアリテハ多大ノ收穫ヲ減シ又庄內地方ハ暴風等ノ被害アリテ比較的收穫總多ヲ見ルヲ得サリキ
秋田	一、三七四、五一八	九八七、二〇三	一、二〇二、五三八	三八七、三一五	一七一、九八〇	開墾ノ結果作付段別ノ增加シタルト氣候ノ適順ナリシトニ因リ增收ヲ得タリ
福井	七七三、五三七	七七三、七六一	七七九、七四九	△二二四	△六、二一二	挿秧以來氣候適順發育良好ニシテ病蟲ノ被害少ナク米作ノ二大厄日トシテ懸念セシ二百十日及二百二十日ハ暴風雨ノ被害ヲ免レ早稻ハ相應ノ成熟ヲ爲セシモ中晩稻ハ開花ノ時期ニ至リ天候不順トナリ降雨旬餘ニ亙リ其氣温甚シク低下セシカタメ開花ノ平年ヨリ後ルヽコト殆ト旬日甚シク成熟ヲ阻碍セリ作付段別ノ增加ハ主トシテ耕地整理地目變換及荒地起シ返ニ因ル
石川	九七三、五六一	七七一、六八五	九七三、九二三	二〇一、八七六	△三六二	挿秧以來氣候適順發育頗ル良好ナリシモ土用前後ニ曇天打續キ氣温著シク低下セシカタメ往々稻熱病ニ罹リシモノアリテ頗ル前途ヲ憂慮セシカ其被害區域意外ニ狹少ナリシト其後ノ天候順ニ復シ氣温昇騰セシヲ以テ發育狀況良好ニ赴キ近年稀有ノ作況ヲ呈シタリ然ルニ二百十日以後天候一變シ降雨打續キ氣温甚シク下降セシヨリ時恰モ開花期ニ際シタル中晩稻ハ著シク損害ヲ被リ爾後成熟一般ニ不良ニ陷レリ作付段別ノ增加セシハ耕地整理、荒地起返等ニ因ル
富山	一、四三三、七四二	一、二三五、二九八	一、四二三、〇三三	一九八、四四四	一〇、七〇九	抽穗前マテハ氣候適順ニシテ無難ニ經過セシモ其後降雨曇天打續キ氣温低下シタメニ往々稻熱病ヲ發生シタリシカ爾後天候順ニ復シタルヲ以テ其被害ハ一部分ニ止リタリ
鳥取	六一三、三七八	五二七、〇三〇	五四七、七四六	八六、三四八	六五、六三二	挿稻以來降雨頻繁ニシテ分蘖充分ナラサリシモ土用後天候順ニ復シ氣温昇騰セシタメ漸次生育好況ニ赴ケリ
島根	八七七、二五九	七四九、五二三	七八四、二六〇	一二七、七三六	九二、九九九	挿秧後氣候不順降雨頻繁ニシテ發育不良ナリシカ土用前ヨリ天候順ニ復シ作柄好況ヲ呈シ早中稻ハ成熟佳良ナリシモ晩稻ハ開花期ニ際シ氣温低下シ曇天降雨打續キ稻穗ニ黑斑ヲ生シ成熟期ニ至リテハ禾穗ニいもち病ノ發生スルアリ又多少降雨ノ被害アリタリ
岡山	一、四七〇、七四三	一、二九九、一七三	一、三二八、八九三	一七一、五七〇	一四一、八五〇	收穫ノ增加ハ兒島灣開墾地ノ新田ヲ主トシ其他作替等ノタメ作付段別ヲ增加シタルト挿秧後天候稍適順ニシテ生育良好ナリシト害蟲ノ驅除豫防ヲ督勵シタルトニ因ル
廣島	一、二二八、八二五	九三六、〇五五	九〇五、六一一	二九二、七七〇	三二三、二一四	挿秧ノ際ニハ降雨多カリシモ土用前ヨリ氣候順ニ歸シ早、中晩稻共ニ生育稍良好ナリシモ九月上旬ヨリ十月上旬ニ亙ル晩稻抽穗期ニ際シ降雨連日氣温低下シ爲ニ晩稻ハ多少ノ障害ヲ被レリ然レトモ螟蟲浮塵子ノ被害ハ少カリシ
山口	一、三二六、六三四	一、一六七、八〇四	一、二四七、三八二	一五八、八三〇	七九、二五二	挿秧以來氣候適順生育良好ナリシモ秋分前ニ於ケル降雨ノタメ多少成熟ヲ妨ケタリ
和歌山	五九八、九八九	五六四、六二五	五二〇、九八一	三四、三六四	七八、〇〇八	挿秧以來氣候適順分蘖佳良八月中旬ノ頃一時氣候冷涼ノ傾アリシモ其後順ニ復シ風水害等ノ被害ナク害蟲驅除ヲ勵行シタルカタメ收穫增加ヲ來セリ
徳島	四七八、三一〇	四五七、二六〇	三八六、四七四	二一、〇五〇	九一、八三六	挿秧以來氣候適順ニシテ經過頗ル良好ナリシモ土用入後旱天打續キ高燥ノ地ハ多少被害ヲ見シモ其ハ極テ小部分ニ止レリ然ルニ其後氣温低下シタルカタメ多少登熟ヲ妨ケタリ
香川	八〇〇、三六二	七六四、一二五	六九七、四六六	三六、二三七	一〇二、八九六	挿秧以來氣候適順成育良好ナリシモ抽穗期ニ際シ降雨頻繁爲ニ氣温低下シ又病蟲害ヲ發生シ多少結實ヲ阻害セシ地方アリシモ成熟期ニ至リ天候順ニ復シタルト農業督勵部員ノ盡力トニ因リ收穫增加ヲ見ルニ至レリ
愛媛	八三一、〇〇六	七三七、一〇六	六九五、二六一	九三、九〇〇	一三五、七四五	
高知	六四三、〇六〇	五二三、九五〇	五三一、一八四	一一九、一一〇	一一一、八七六	作況ハ概シテ良好ニシテ多少蟲害發生セシモ豫防驅除ノ結果蔓延スルニ至ラスシテ息メリ
福岡	二、三七三、九九九	一、六八三、〇三七	一、七九六、五〇三	六九〇、九六二	五七七、四九六	挿秧後氣候適順ニシテ分蘖生育共ニ良好ナリシモ晩稻ノ開花結實期ニ際シ天候不順連日降雨ナリシヲ以テ多少結實ノ作用ヲ害シタリ
大分	九二五、三七八	七九六、七五八	七五一、〇五〇	一二八、六二〇	一七四、三二八	前年ニ比シ作付段別ノ增加僅ニ百四十二町二段歩ナリシニ拘ラス收穫十二万八千六百二十石ヲ增加シタルハ春來氣候適順成育佳良ナリシニ因ル
佐賀	一、一五三、一四三	八三六、九三六	八六三、五一九	三一六、二〇七	二八九、六二一	作付段別ノ增加セシト苗代以來氣候適順ニシテ旱風水ノ災害ナク害蟲ノ驅除豫防亦其效ヲ奏セシカタメ近年稀有ノ豐收ヲ得タリ
熊本	一、四一八、四六八	一、一八八、八六三	一、二一五、六六三	二二九、六〇五	二〇二、八〇五	作付段別ノ增加ハ荒地起返、地目變換、新地開墾、耕地整理等ノタメニシテ收穫ノ增加ハ播種以來氣候適順用水潤澤爲ニ成育頗ル良好殊ニ開花當時ノ如キハ近年無比ノ好況ヲ呈シ其後害蟲發生セシモ其被害ハ極テ尠少ニシテ一般好況ヲ呈セシニ因ル

宮崎	七四六、四七〇	五八八、三一〇	六二三、五七九	一五八、一六〇	一二二、八九一	前年ニ比シ作付段別ノ增加セシハ地目變換又ハ開墾等ニ因リ收穫ノ增加ハ土用中ノ氣候頗ル適順ナリシト害蟲ノ驅除豫防其效ヲ奏シタルトニ因ル
鹿兒島	九六二、二二九	八一〇、八五九	八二〇、三四五	一五一、三七〇	一四一、八八四	氣候適順ニシテ風蟲等ノ被害ヲ認メス作付段別ノ增加セシハ地目變換、耕地整理等ニ因ル
沖繩	七一、三〇〇	三一、五三七	三五、八七六	三九、七六三	三五、四二四	增收ナリシハ作付段別ノ著シク增加シタルト植付後氣候適順ニシテ發育良好ナリシトニ因ル
計	四六、三二六、四三四	三八、一七二、五六〇	四二、五四四、九九四	八、一五三、八七四	三、七八一、四四〇	

（備考）平年ノ計ハ內譯ト符合セス是レ全國ノ計ニ於テ算出シタル平年數ヲ記入シタルニ因ル

米地別方

道府縣	作付段別				收穫高				一段歩收穫高			
	粳米 町	糯米 町	陸米 町	計 町	粳米 石	糯米 石	陸米 石	計 石	粳米 石	糯米 石	陸米 石	平均 石
北海道	一八、九〇〇・七	九〇〇・二	—	一九、八〇〇・九	二二四、九三〇	五、六五二	—	二三〇、五八二	一・一九〇	〇・六二八	—	一・一六五
東京	一四、八三二・一	二、四六六・〇	三、九七三・〇	二一、二七一・一	二〇五、九八三	三一、四一六	三七、五七三	二七四、九七二	一・三八九	一・二七四	〇・九四六	一・二九三
京都	四一、一六〇・五	三、五三六・二	二九・〇	四四、七二五・七	七五八、三八八	五九、三一一	三三九	八一八、〇三八	一・八四三	一・六七七	一・一六九	一・八二九
大阪	四九、四一四・一	三、六〇四・七	五〇一・七	五三、五二〇・五	一、〇八〇、四一七	七四、四三一	六、八八五	一、一六一、七三三	二・一八六	二・〇六五	一・三七二	二・一七一
神奈川	二一、四八一・五	二、八一三・二	二、七二〇・六	二七、〇一五・三	二七五、六九一	三二、八三三	一五、六七六	三二四、二〇〇	一・二八三	一・一六七	〇・五七六	一・二〇〇
兵庫	九九、六〇五・一	七、七四九・〇	二七六・八	一〇七、六三〇・九	二、〇四四、八三七	一四五、九二二	三、六〇八	二、一九四、三六七	二・〇五三	一・八八三	一・三〇三	二・〇三九
長崎	二九、三〇八・四	四、一〇〇・六	二六八・六	三三、六七七・六	四〇七、八九七	五四、九五四	三、三五三	四六六、二〇四	一・三九二	一・三四〇	一・二四八	一・三八四
新潟	一四七、九二三・四	一八、四〇八・四	三〇六・七	一六六、六三八・五	二、四三七、五九六	二七八、六九九	二、一七八	二、七一八、四七三	一・六四八	一・五一四	〇・七一〇	一・六三一
埼玉	五九、二四三・六	九、〇四三・四	四、三八四・〇	七二、六七一・〇	七八〇、〇五六	一一二、一七一	四一、八四〇	九三四、〇六七	一・三一七	一・二四〇	〇・九五四	一・二八五
群馬	二五、九二三・九	四、〇二一・七	一、八〇九・七	三一、七五五・三	二七六、一六八	三九、七五七	一二、〇八九	三二八、〇一四	一・〇六五	〇・九八九	〇・六六八	一・〇三三
千葉	九〇、七五二・九	一〇、四四九・五	三、九七一・〇	一〇五、一七三・四	一、二四六、七〇九	一三二、二六一	三三、三五二	一、四一二、三二二	一・三七四	一・二六六	〇・八四〇	一・三四三
茨城	七七、六一四・一	一一、四八五・九	一二、四三八・三	一〇一、五三八・三	七四九、七九九	一〇三、八一五	九七、八三〇	九五一、四四四	〇・九六六	〇・九〇四	〇・七八七	〇・九三七
栃木	五一、五九六・六	六、一二一・〇	八、〇九九・二	六五、八一六・八	六〇六、四九五	六五、五〇九	七二、一〇九	七四四、一一三	一・一七六	一・〇七〇	〇・八四一	一・一三一
奈良	二九、三二九・六	二、五二三・二	一〇九・六	三一、九六二・四	六五〇、〇六五	五二、一六七	一、三五三	七〇三、五八五	二・二一六	二・〇六七	一・二三四	二・二〇一
三重	六九、九四八・一	五、〇五〇・一	六五五・一	七五、六五三・三	一、〇九七、一二九	七五、八七九	七、五一三	一、一八〇、五二一	一・五六九	一・五〇三	一・一四七	一・五六〇
愛知	八八、二四〇・二	七、七九八・〇	四、七七四・三	一〇〇、八一二・五	一、六六四、四五二	一三二、一〇九	六八、五三七	一、八六五、〇九八	一・八八六	一・六九四	一・四三六	一・八五〇
靜岡	五六、六六九・八	五、五二七・二	二、三〇三・九	六四、五〇〇・九	九八二、〇二九	八七、一六四	二六、八五八	一、〇九六、〇五一	一・七三三	一・四七七	一・一六六	一・六九九
山梨	一七、四二一・九	二、一〇七・八	二二一・六	一九、七五一・三	二七〇、三二九	三〇、一九九	二、八四〇	三〇三、三六八	一・五五二	一・四三三	一・二八二	一・五三六
滋賀	五七、六八七・九	四、三五一・三	六三・三	六二、一〇二・五	一、一九八、〇四七	八二、二〇七	六八三	一、二八〇、九三七	二・〇七七	一・八八九	一・〇七九	二・〇六三
岐阜	五六、八二三・四	四、七八三・二	二、四七一・一	六四、〇七七・七	九〇一、〇八七	七〇、六二九	二八、一一三	九九九、八二九	一・五八六	一・四七七	一・一三八	一・五六〇
長野	六一、五八九・三	七、六三〇・五	四二・七	六九、二六二・五	九六六、二〇四	一〇六、八〇七	三二八	一、〇七三、三三九	一・五六九	一・四〇〇	〇・七九八	一・五四七
宮城	七二、六一六・八	六、八九五・八	五・六	七九、五一八・二	七二一、四六八	七〇、八二九	四三	七九二、三四〇	〇・九九四	一・〇二七	〇・七六八	〇・九九六
福島	八一、四九三・三	一一、一七四・二	二三〇・七	九二、八九八・二	八二九、四三八	一〇三、六三九	一、〇六一	九三四、一三八	一・〇一八	〇・九二七	〇・四六〇	一・〇一〇
岩手	四三、七〇一・〇	五、五一〇・九	—	四九、二一一・九	五一八、九八三	六三、九九二	—	五八二、九七五	一・一八八	一・一六一	—	一・一八五
青森	五三、一四四・三	四、四九六・〇	一・五	五七、六四一・八	四二六、一四三	三三、六八五	七	四五九、八三五	〇・八〇二	〇・七四九	〇・四六七	〇・七九八
山形	七七、八八九・五	七、一一〇・五	六一三・八	八五、六一三・八	一、三一三、一三七	一〇三、七九七	四、〇三四	一、四二〇、九六八	一・六八六	一・四六〇	〇・六五七	一・六六〇
秋田	八八、九六六・七	八、六三七・〇	三七・〇	九七、六四〇・七	一、二六二、八九〇	一一一、四〇三	二二五	一、三七四、五一八	一・四二〇	一・二九〇	〇・六〇八	一・四〇八
福井	四一、八〇三・五	四、二七四・九	五・二	四六、〇八三・六	七〇八、六五一	六四、八三五	五一	七七三、五三七	一・六九五	一・五一七	〇・九八一	一・六七九
石川	四六、二二九・〇	五、一九九・五	六七・六	五一、四九六・一	八七七、九〇三	九五、一三三	五二五	九七三、五六一	一・八九九	一・八三〇	〇・七七七	一・八九一
富山	七一、九六二・七	五、七四〇・七	四・一	七七、七〇七・五	一、三二六、三九三	一〇七、三一七	三二	一、四三三、七四二	一・八四三	一・八六九	〇・七七八	一・八四五
鳥取	三〇、三四九・四	三、〇五七・六	三三四・四	三三、七四一・四	五五七、七七三	五二、一一一	三、四九四	六一三、三七八	一・八三八	一・七〇四	一・〇四五	一・八一八
島根	五一、五七九・一	四、〇〇六・四	二三二・九	五五、八一八・四	八一八、五八一	五六、一〇四	二、五七四	八七七、二五九	一・五八七	一・四〇〇	一・一〇五	一・五七二
岡山	七九、一四二・一	六、四一四・四	七八九・九	八六、三四六・四	一、三六二、二一九	九九、四一二	九、一一二	一、四七〇、七四三	一・七二一	一・五五〇	一・一五四	一・七〇三
廣島	六八、五七二・三	六、三三四・七	二四一・九	七五、一四八・九	一、一二四、一二七	一〇一、三九九	三、二九九	一、二二八、八二五	一・六三九	一・六〇一	一・三六四	一・六三五
山口	七三、一八四・二	五、三六一・三	一四二・五	七八、六八八・〇	一、二四五、〇五〇	八〇、一一一	一、四七三	一、三二六、六三四	一・七〇一	一・四九四	一・〇三四	一・六八六
和歌山	三〇、〇九七・六	二、二五二・七	一一三・三	三二、四六三・六	五五八、二九五	三九、〇六六	一、六二八	五九八、九八九	一・八五五	一・七三四	一・四三七	一・八四五

第7142号 本文

德島	二二、六八九・五	二、九四一・六	四、三五一・五	二九、九八二・六	三九一、二五七	四七、〇三九	四〇、〇一四	四七八、三一〇	一・七二四	一・五九九	〇・九二〇	一・五九五
香川	三四、五〇一・〇	三、〇九〇・七	一三六・二	三七、七二七・九	七三七、三七八	六一、一三三	一、八五一	八〇〇、三六二	二・一三七	一・九七八	一・三五九	二・一二一
愛媛	四二、六五二・九	四、〇四九・九	一六九・一	四六、八七一・九	七六三、四六八	六五、四四四	二、〇九四	八三一、〇〇六	一・七九〇	一・六一六	一・二三八	一・七七三
高知	三三、九三七・九	二、二二三・四	四三・三	三六、二〇四・六	六〇六、四六四	三六、〇六〇	五三六	六四三、〇六〇	一・七八七	一・六二二	一・二三八	一・七七六
福岡	九八、七四七・五	一〇、八〇四・〇	八三五・九	一一〇、三八七・四	二、一五九、二九一	二〇五、〇一〇	九、六九八	二、三七三、九九九	二・一六七	一・八九八	一・一六〇	二・一五一
大分	四六、四三二・六	五、一四三・一	九三四・五	五二、五一〇・二	八三〇、五六九	八五、一四八	九、六六一	九二五、三七八	一・七八九	一・六五六	一・〇三四	一・六七二
佐賀	四四、三一八・二	六、〇二三・九	一五四・〇	五〇、五〇五・一	一、〇一九、四六四	一三二、二一〇	一、四六九	一、一五三、一四三	二・三〇〇	二・一九一	〇・九五四	二・二八三
熊本	六三、一二九・八	七、六二八・七	二、九二八・九	七三、六八七・四	一、二四三、八九二	一三七、九六四	三六、六一二	一、四一八、四六八	一・九七〇	一・八〇八	一・二五〇	一・九二五
宮崎	三六、五三四・三	三、六五九・一	三、六六九・八	四三、八六三・二	六六〇、三七一	五八、三七六	二七、七二三	七四六、四七〇	一・八〇八	一・五九五	〇・七五五	一・七〇二
鹿兒島	四九、四六二・九	五、六〇一・四	一〇、九八五・五	六六、〇四九・八	八〇九、〇四九	八四、三五九	六八、八三一	九六二、二三九	一・六三六	一・五〇六	〇・六二七	一・四五七
沖縄	九、七六七・五	二、二九三・六	一〇・二	一二、〇七一・三	五七、七〇〇	一三、五三一	六九	七一、三〇〇	〇・五九一	〇・五九〇	〇・六七六	〇・五九一
計	二、五五八、三七二・七	二六四、四〇六・一	七六、四五九・五	二、八九九、二三八・三	四一、七五四、二六二	三、八八二、九九九	六八九、一七三	四六、三二六、四三四	一・六三二	一・四六九	〇・九〇一	一・五九八

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘願許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
栃木試登錄第六十八號	上都賀郡加蘇村地內	銀、銅	坪 五五〇、〇〇〇	東京市本鄉區根津西須賀町 柴垣鋼郎	三、二六	試掘願許可
群馬試登錄第六十二號	利根郡古馬牧村水上村地內	金、銀	二二四、三九五	群馬縣利根郡沼田町 眞下康一郎 外一人	三、二七	同
長野試登錄第六十七號	東筑摩郡本城村坂北村地內	石炭	五四三、九五二	長野縣東筑摩郡坂北村 山崎由太郎	三、二七	同
長野試登錄第六十八號	下高井郡堺村地內	銅	五八一、二〇〇	東京市本所區千歲町 星野岩松	三、二七	同
茨城試登錄第五十號	久慈郡上小川村地內	金、銀	五三一、九八〇	水戶市大字上市馬口勞町四丁目 大高織右衛門	三、二七	同
新潟試登錄第四百六十號	中頸城郡金谷村地內	石油	三六八、九〇〇	新潟縣中頸城郡直江津町大字八幡 片田初造 外二人	三、二七	同
新潟試登錄第四百六十一號	南蒲原郡長澤村地內	同	四〇三、九五〇	同縣長岡市坂之上町 寶田石油株式會社	三、二八	同
新潟試登錄第四百六十二號	刈羽郡田尻村地內	同	九九、五一〇	同縣刈羽郡柏崎町字今町	三、二八	同
新潟試登錄第四百六十三號	北蒲原郡五十公野村地內	金、銀、銅	二三八、三九〇	東京市麻布區麻布仲之町 高橋由藏	三、二八	同
靜岡試登錄第五十八號	榛原郡萩間村菅山村地內	石油	五二五、一一〇	新潟縣刈羽郡大洲村 溝口喜久馬	三、二八	同
靜岡試登錄第五十九號	賀茂郡城東村地內	金、銀	二一二、七七二	愛知縣知多郡半田町字荒古 河合彌平	三、二八	同
岐阜試登錄第五十七號	惠那郡長島町地內	銅、鐵、亞鉛	一〇〇、五七二	東京市淺草區芽町二丁目 松成伊三郎 外一人	三、二八	同
長野試登錄第六十九號	北安曇郡平村神城村美麻村地內	石油	三〇五、〇三六	同市芝區芝伊皿子町 吉井幸藏 外一人	三、三〇	同
新潟試登錄第四百六十四號	西頸城郡能生谷村能生町地內	同	三〇九、四〇〇	新潟縣刈羽郡大洲村 日本石油株式會社	三、三〇	同
新潟試登錄第四百六十五號	中頸城郡斐太村地內	同	六八、六八〇	同上	三、三〇	同
新潟試登錄第四百六十六號	東頸城郡牧村地內	石炭	一〇〇、五七四	同上 西村廣	四、一	同
岐阜試登錄第五十八號	不破郡府中村地內	滑石	六〇、〇〇〇	大阪市東區大川町 清水政太郎	四、一	同
岐阜試登錄第五十九號	益田郡高根村地內	銀、銅、鉛	一一三、七五〇	岐阜縣益田郡高根村 丸山万吉	四、一	同
岐阜試登錄第六十號	養老郡一之瀨村地內	滑石	一一五、五四九	大阪市東區大川町 清水政太郎	四、一	同
茨城試登錄第五十一號	多賀郡櫛形村豐浦町地內	石炭	一九七、〇一八	長野縣諏訪郡上諏訪町 渡邊龜五郎	四、一	同

○通運

○官設鐵道收入旬報

官設鐵道去月二十一日ヨリ同三十一日ニ至ル十日間ノ收入概算左ノ如シ△印ハ減（遞信省）

線名	年度	平均營業哩	旅客人員	貨物噸數	客車收入 圓	貨車收入 圓	收入總計 圓
東海道線	本年度	四〇八	七〇〇、三八八	七三、四五七	四五三、八九六	一七〇、五〇七	六二四、四〇三
	前年度比較增減	―	一二九、四四三	△二、四一一	九三、九九四	△一四、七一一	七九、二八三
北陸線	本年度	一五四	八七、〇八二	六、六二六	四七、八四一	一八、二七八	六六、一一九
	前年度比較增減	―	一〇、九〇九	△一、九四八	八、五〇二	△六、四二三	二、〇七九
信越線	本年度	一一八	六一、一九八	六、二〇〇	三〇、三三五	一二、四二七	四二、七六二
	前年度比較增減	―	一一、七六四	一、三四八	一〇、〇七〇	△三、〇五二	七、〇一八
奧羽線	本年度	三〇二	七〇、七九〇	一〇、七六九	三一、五一四	三一、〇六六	六二、五八〇
	前年度比較增減	―	△八、一四二	六五四	△三、五六六	五、四一五	一、八四九
中央東線 局	本年度	一五九	六七、〇一〇	九、六六三	二二、五三五	九、七一四	三二、二四九
	前年度比較增	一七	一三、二二六	四、二五八	二、八七六	九〇五	三、七八一
	元甲武 本年度	二八	九三、二二六	七、七五五	一一、七四六	八、一一三	一九、八五九
山陰線	本年度	五四	一八、〇六六	一、二九一	三、六八四	一、五三六	五、二二〇
	前年度比較增減	―	八六二	△二二三	一七二	△三三九	△一六七
鹿兒島線	本年度	四一	二〇、五九五	一、七五七	五、六七九	二、一三七	七、八一六
	前年度比較增減	―	二、七五九	△一九五	九〇九	△二一一	六九八

中央西線	本年度	五〇	一九、四九九	三、七八八	七、一〇八	六、四三一	一三、五三九
	前年度比較增	―	一、二三三	一、五六六	二、〇七三	一、九七七	四、〇五〇
北海道線 局	本年度	二二一	三六、八九二	一七、八〇一	一八、九四一	三一、三四二	五〇、二八三
	前年度比較增減	―	一二、六四四	七、四八一	△四七七	一一、九六〇	一一、四八三
	元炭礦 本年度	二〇八	五三、七四九	四二、八六〇	二七、九二九	五七、三二四	八五、二五三
元日本線	本年度	八五九	五二三、四八七	九七、六七五	二三九、二九二	二三三、五二八	四七二、八二〇
元岩越線	本年度	五〇	七、八三八	一、八五四	四、三二〇	五、五七六	九、八九六
元山陽線	本年度	四三一	三九二、三七二	四二、九〇一	一三八、一四〇	七八、一四四	二一六、二八四
合計	本年度	三、〇九三	二、一五二、一八二	三二四、三九七	一、〇四二、九六〇	六六六、一二三	一、七〇九、〇八三
	前年度比較增	一、五九三	一、二四五、三六〇	二〇三、五七五	五三五、九八〇	三七八、二〇六	九一四、一八六

○衞生

○傳染病患者

本月六日ヨリ同十日ニ至ル赤痢、腸窒扶私、痘瘡患者及死亡者數左ノ如シ△印ハ報告未着者（內務省）

道府縣		赤痢				腸窒扶私				痘瘡			
		患者	死者	本年初發以來ノ累計 患者	死者	患者	死者	本年初發以來ノ累計 患者	死者	患者	死者	本年初發以來ノ累計 患者	死者
北海道	區	―	―	一	二	一	―	八	三	―	―	―	―
	郡	一	―	一	二	五	―	七九	一八	―	―	―	―
東京	市	二	―	一五	二	一五	一〇	二二二	五五	―	―	―	―
	郡	二	―	四	―	―	―	四一	一三	―	―	―	―
京都	〃	△		六	一	△		六五	二一	―	―	―	―
	〃			―	―			三六	二二	―	―	―	―
大阪	〃	一	―	八	三	一	二	五八	二六	―	―	―	―
	〃	―	―	―	―	―	一	二一	六	―	―	―	―
神奈川	〃	―	―	六	―	―	―	四〇	一三	―	―	―	―
	〃	―	―	三	―	三	―	二六	三	―	―	―	―
兵庫	〃	一	―	一二	二	七	―	四八	六	―	―	―	―
	〃	―	―	四	二	三	―	二二	六	―	―	―	―
長崎	〃	―	―	―	―	一	―	三五	一〇	―	―	―	―
	〃	―	―	七	三	―	―	二二	八	―	―	―	―
新潟	〃	―	一	二	二	―	―	三	一	―	―	―	―
	〃	―	―	―	―	二	二	一一四	二八	―	―	―	―
埼玉	郡	一	―	二七	三	六	一	八五	二三	―	―	―	―
群馬	市	―	―	一	―	一	―	一四	三	―	―	―	―
	郡	―	―	一	―	一	一	三三	二	―	―	―	―
千葉	郡	△		四	一	―	―	三〇	二	―	―	―	―
茨城	市	―	―	―	―	△		四一	九	―	―	―	―
	郡	二	―	二	二			三一	六	―	―	―	―
栃木	〃	△		―	―	二	―	一九	四	―	―	―	―
	〃			一	―	四	一	八〇	二五	―	―	―	―
奈良	〃	△		―	―	△		九	三	―	―	―	―
	〃			一	一			二一	七	―	―	―	―
三重	〃	△		一	―	―	―	六	一	―	―	―	―
	〃			二	二	一	―	八	三	―	―	―	―
愛知	〃	―	―	二	―	一	―	一三	四	―	―	―	―
	〃	―	―	四	一	五	一	三一	一〇	―	―	―	―
靜岡	〃	―	―	―	―	―	―	五	一	―	―	―	―
	〃	―	―	二	―	二	一	七二	一九	―	―	―	―
山梨	〃	―	―	一	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	〃	―	―	―	―	―	―	七	三	―	―	―	―
滋賀	〃	△		―	―	―	―	一	―	―	―	―	―
	〃			―	―	―	―	二一	三	―	―	―	―
岐阜	〃	△		―	―	―	―	四	―	―	―	―	―
	〃			三	一	一	一	二四	八	―	―	―	―
長野	〃	―	―	―	―	―	―	八	四	―	―	―	―
	〃	―	―	三	―	二一	五	八七	二三	―	―	―	―
宮城	〃	△		―	―	△		一七	四	―	―	―	―
	〃			―	―			五五	一五	―	―	―	―
福島	〃	△		―	―	―	―	九	五	―	―	―	―
	〃			二	―	三	一	六〇	二〇	―	―	―	―
岩手	〃	△		―	―	△		一	―	―	―	―	―
	〃			一	―			二六	六	―	―	―	―
青森	〃	―	―	四	二	―	―	一三	四	―	―	―	―
	〃	一	―	二	一	二	―	二八	一〇	―	―	―	―
山形	〃		―	―	―	二	一	九	六	―	―	―	―
	〃		―	六	二	三	―	八六	二八	―	―	―	―
秋田	〃	△		―	―	―	―	七	二	―	―	―	―
	〃			一一	一	二	―	七八	二五	―	―	―	―
福井	〃	△		一	―	△		一	―	―	―	―	―
	〃			―	―			―	―	―	―	―	―
石川	〃	△		―	―	―	―	一	―	―	―	―	―
	〃			―	―	―	―	一四	五	―	―	―	―
富山	〃	△		―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	〃			―	―	―	―	三	―	―	―	―	―
鳥取	〃	△		―	―	―	―	二三	三	―	―	―	―
	〃			―	―	二	―	二九	七	―	―	―	―
島根	〃	△		―	―	―	―	二	―	―	―	―	―
	〃			一	―	―	―	一八	五	―	―	―	―
岡山	〃	―	―	二	―	一	―	九	二	―	―	―	―
	〃	―	―	五	―	一	―	二五	五	―	―	―	―
廣島	〃	△		三	―	△		二八	一〇	―	―	―	―
	〃			―	―			三六	一〇	―	―	―	―
山口	〃	―	―	―	―	二	―	三	―	―	―	―	―
	〃	―	―	三	二	―	一	四〇	一三	―	―	―	―
和歌山	〃	―	―	―	―	一	―	九	三	―	―	―	―
	〃	―	―	―	―	二	―	一二	―	―	―	―	―
德島	〃	△		―	―	△		―	―	―	―	―	―
	〃			―	―			一	一	―	―	―	―
香川	〃	△		―	―	―	―	一	―	―	―	―	―
	〃			―	―	―	―	一五	五	―	―	―	―
愛媛	〃	△		一	一	―	―	二二	七	―	―	―	―
	〃			一	―	一	―	三〇	一〇	―	―	―	―
高知	〃	△		―	―	―	一	五	二	―	―	―	―
	〃			―	―	一	一	一一	四	―	―	―	―
福岡	〃	△		―	―	三	―	五〇	九	―	―	―	―
	〃			―	―	二一	五	二七一	五四	―	―	一	―
大分	郡	△		―	―	△		一四	二	―	―	一	―
佐賀	市	―	―	―	―	―	―	二	一	―	―	―	―
	郡	―	―	―	―	―	―	七	一	―	―	六	一
熊本	〃	―	―	―	―	三	―	三九	一四	―	―	―	―
	〃	―	―	七	四	八	三	一〇三	三三	―	―	―	―
宮崎	郡	△		―	―	△		九	一	―	―	―	―
鹿兒島	市	△		―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	郡			―	―	二	―	三	―	―	―	―	―
沖縄	區	△		―	―	―	―	五	一	―	―	―	―
	郡			―	―	―	―	一	―	―	―	―	―
合計		一一	一	一七四	四三	一四六	三九	二、七二二	七三五	―	―	八	一

第7142号 本文

○臺灣「ペスト」患者　臺灣島ニ於ケル本月九日ヨリ同十五日ニ終ル一週間內ノ「ペスト」ハ臺北廳五十四、鳳山廳二十三、臺南廳二、鹽水港廳十二、嘉義廳六、基隆廳四、阿猴廳一ニシテ本年初發以來ノ患者累計八百七十二ナリ（內務省）

○雜事

○外國渡來旅客比較　大藏省ノ調査ニ係ル去月中外國渡來旅客國別比較左ノ如シ（大藏省）

國籍	四十年三月	三十九年三月
	人	人
英吉利	二八一	二四二
米國	三九六	三五七
獨逸	七〇	六一
佛蘭西	二七	三一
露西亞	一四〇	三七三
清國	七四三	一、四〇八
韓國	六〇	三四
伊太利	五	四
澳地利	三	七
和蘭	二	五
印度	二〇	九
白耳義	二	五
西班牙	—	二
諾威	—	一
瑞典	—	一
瑞西	三	—
葡萄牙	四	—
丁抹	二	—
土耳其	一	—
濠太剌利	二	四
希臘	一	九
英領加奈陀	三	—
其他ノ國	一	三
計	一、七六六	二、五六六
比較減	八〇〇	—

○移民取扱出張所變更　晩成移民合資會社ヨリ熊本市米屋町一丁目五番地出張所ヲ同市鹽屋町裏二番町四十一番地ニ變更セシ旨本月十六日附ヲ以テ屆出テタリ（外務省）

○在外公館報告

○上海傳染病病況　上海ニ於ケル傳染病病況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ本月十六日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本月十八日本欄內參看）（外務省）

當上海各國居留地內ニ於テ四月九日ヨリ十五日マテ一週間左ノ通傳染病屆出アリタル旨衞生局長ヨリ通知アリタリ

病名	外國人一萬三千七百人ニ對スル患者數	清國人五十一萬人ニ對スル死亡數
天然痘	—	二
實布垤利亞	—	一
結核	—	二五

各種死亡數ハ外國人三、清國人百六十三ナリ

○新嘉坡「ペスト」病況　新嘉坡ニ於ケル「ペスト」病況ニ付キ在同地領事館事務代理領事官補木部守一ヨリ本月五日患者一人發生セシ旨同六日附ヲ以テ報告アリ（去月三十日本欄內參看）（外務省）

○厦門金銀塊及貨幣輸出入額　厦門ニ於ケル去月中ノ金銀塊及貨幣輸出入額ニ付キ在同地領事館事務代理領事官補吉田美利ヨリ本月十一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本月八日本欄內參看）（外務省）

本年三月中、當厦門港輸出入ノ金銀塊及貨幣額ハ七十五万九千二百七十弗ニシテ其內輸入四十六万八千四百七十弗、輸出二十九万八百弗ナリ今之ヲ前月ニ比較スルニ輸入ニ於テ五万七千七百二十弗、輸出ニ於テ十七万五千八百弗ヲ增加セリ尙ホ進テ昨今兩月中ニ於ケル日本圓銀ノ消長ヲ顧ルニ本月中同銀ノ輸入額ハ前月ニ比シ三万千四百八十弗ヲ減少シタルモ同銀輸出額ハ十五万四千二百弗ヲ增加セリ蓋シ本月中圓銀輸出額ノ增加ヲ顯シタルモノハ前月中ハ清國元旦ノタメ商人ハ殆ト休業ノ有樣ナルニ依リ香港ニ向ケ資金ヲ輸出スルノ要ナカリシモ本月中ニ入リテハ休業シタル商人再ヒ開業スルニ至リ市場常態ニ復シタルヲ以テ香港向ケ資金ノ流出ヲ顯スニ至リタルニ依ルナリ即チ本月中ニ於ケル香港向ケ日本圓銀輸出額ハ前月ニ比シ十一万七千餘弗ノ增加ヲ報スルニ至レリ今又本月中厦門港ノ金銀塊及貨幣輸出入額ヲ掲クレハ左ノ如シ

輸入

仕出地	弗銀	圓銀
	弗	弗
香港	五九、五〇〇	二五六、四七〇
福州	一三、五〇〇	—
上海	—	九五、〇〇〇
汕頭	四四、〇〇〇	—
計	一一七、〇〇〇	三五一、四七〇
總計		四六八、四七〇

輸出

仕向地	塊金	金貨	塊銀	弗銀	圓銀
	弗	弗	弗	弗	弗
香港	五、五〇〇	五、七〇〇	一、〇〇〇	一四、〇〇〇	一九二、七〇〇
福州	—	—	—	—	一、九〇〇
汕頭	—	—	—	—	七〇、〇〇〇
計	五、五〇〇	五、七〇〇	一、〇〇〇	一四、〇〇〇	二六四、六〇〇
總計					二九〇、八〇〇

○觀象

○全國天氣豫報

四月二十四日天氣豫報

第一區　北ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ
第二區　北又ハ東ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ所アリ
第三區　第二區ニ同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　第二區ニ同シ
第六區　第二區ニ同シ
第七區　北又ハ西ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ所アリ
第八區　第七區ニ同シ
第九區　第七區ニ同シ
第十區　第七區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

四月二十三日午前九時發　北ノ風、晴
四月二十三日午後四時發　北ノ風、晴

○暴風警報　四月二十三日午後四時零分九、十區海陸ノ警戒ヲ解ク

○地震　名瀨外二十三箇所ノ地震報告左ノ如シ

名瀨	四月二十三日	午前零時五十四分四秒	微（感覺ナシ）	
彥根	同	午前四時五十九分四十二秒	微	震動時間長シ
金山	同	午前四時五十八分十三秒	弱	性質急、上下動アリ、家屋動搖ス
橫濱	同	午前九時五十九分十秒	同	性質緩
金華山	同	午前十時六分十秒	同	戶障子鳴ル
福島	同	午前九時五十六分五十五秒	弱（震度弱キ方）	
石卷	同	午前九時五十七分三十三秒	同	上下動アリ、家屋動搖ス
水戶	同	午前九時五十八分二十四秒	同	性質急、上下動アリ、家屋動搖ス
宇都宮	同	午前九時五十八分三十秒	同	性質緩
東京	同	午前九時五十八分四十八秒	同	性質急
新潟	同	午前九時五十八分五十一秒	同	上下動アリ
筑波山	同	午前九時五十九分零秒	同	家屋動搖ス
秋田	同	午前九時五十九分三秒	同	
甲府	同	午前九時五十八分五十秒	微	性質緩
銚子	同	午前九時五十八分五十五秒	同	
熊谷	同	午前九時五十九分六秒	同	上下動アリ
前橋	同	午前九時五十九分七秒	同	性質緩
橫須賀	同	午前九時五十九分十三秒	同	
松本	同	午前九時五十九分六秒	微（感覺ナシ）	震動時間長シ
大阪	同	午前九時五十九分八秒	同	性質緩
長野	同	午前九時五十九分二十一秒	同	同
沼津	同	午前九時五十九分五十六秒	同	同
福井	同	午前十時零分十七秒	同	
青森	同	午前十時零分三十二秒	同	性質緩
秋田	同	午後零時十五分二十八秒	同	
同	同	午後零時三十一分四十六秒	同	

○東京地震報告

發震時　四月二十三日午前九時五十八分四十八秒
震動時間　五分二十秒
震動方向　北北東―南南西
最大水平動　全振幅　零・九粍　振動期　零・七秒
最大上下動　全振幅　零・二粍　振動期　零・六秒
震度　弱（震度弱キ方）
性質　稍々急
記事　此地震ハ最初ハ緩慢ナル微動ニ起リシカ十七秒時間ヲ經テ稍々急性ナル主震動ヲ現シ其ヨリ二秒時間ヲ經テ前記ノ最大水平動ニ達シ更ニ二秒時間ヲ經テ最大上下動ヲ現シタリ爾後約二十秒時間ハ兩動共ニ著明ニシテ特ニ其中三四回ハ殆ト最大動ニ等シキ振幅ヲ現出シタリシモ次第ニ緩慢ト爲リテ漸次ニ靜止シタリ上下動ノ震動時間ハ二分五十秒ナリキ

（以上中央氣象臺）

○廣告

○藏置貨物

左ニ記載ノ貨物ハ當關ニ於テ收容中ノ處藏置期間滿了ニ付キ此公告ノ日ヨリ滿一箇月以內ニ關稅法第四十八條ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ同法第五十條第二項ニ依リ競賣ニ付スヘシ

明治四十年四月　長崎稅關

記號番號	品名	個數
RNW	食料品	一
ナシ	大工道具	一
ナシ	骨牌	一
White Spray	麥粉	四〇
Walla Walla	同	五二
ナシ	鐵筒	一
s/a	商品	一
ナシ	骨牌	一
ナシ	支那蓆	三
J	夜具	一
Vo&Co 5081.	見本	一
SWC	支那竹籠	一
ナシ	鞄	一
ナシ	手提鞄	一
ナシ	椰子實	一
池田鐵工場	鑵子	一
Morgan End Co	商品	一
ナシ	金巾包	一
ナシ	婦人用外套	一
ナシ	豚脂	一
ナシ	股衣	一
ナシ	籐寢椅子	一
ナシ	折椅子	一
ナシ	雜品	三二
CW	大豆	一
Nagasaki	鉸釘	二
—11—	同	二
ナシ	骨牌	一
ナシ	同	一
ナシ	支那酒	五
ナシ	絲網	一
ナシ	靴下	一
ナシ	商品	四

○癈兵院寄附

昨三十九年當省告示第十五號癈兵院寄附金錢物件取扱手續ニ依リ受領シタル金品及寄附者ノ氏名左ノ如シ

明治四十年四月　陸軍省

受領年月日	金品	數量	時價	本籍族籍現住所官位勳功爵	氏名
	東京府				
四〇、三、一	敷島上製美觀	一三部	一五六・〇〇	東京市京橋區木挽町十丁目六番地、帝國地史編纂所癈兵慰籍部	肝付兼行 外四人
同七	菓子	一箱	二・〇〇	同市京橋區瀧町三丁目一番地	大川富子
同	「百人一首」	一組	一・三〇	同市小石川區關口臺町六番地	一柳あね子
同	「ハンカチーフ」	二打	一・七〇		
同一三	癈兵一同撮影大形寫眞	三枚	一六・〇〇	同市麹町區有樂町三丁目三番地	牧野芳太郎
同	癈兵各自撮影小形寫眞	三組（三枚一組）	六・六〇		
同一五	半紙白紙	四〇〇〇枚	六・〇〇	同市日本橋區佐內町八番地、帝國交友會長	佐藤鶴松
同	石鹼	六五個	六・五〇		
同一七	日本手拭	一〇〇筋	七・〇〇	同市芝區戰時婦人會々長	千家俊子
同	朝日印卷莨	一〇箱	六・〇〇		
同一八	櫻正宗	一〇打（一合入）	一三・二〇	同市京橋區南傳馬町二丁目十一番地	富川浜之助
同二一	菓子切手	一枚	三・〇〇	同市神田區柳町三番地	長島辰五郎
同二三	菓子	一箱	一・〇〇	東京府豐多摩郡淀橋町百八十六番地	牧野キヨ子
同二五	繪畫講習錄	一四部	三・五〇	東京市麻布區飯倉町四丁目四番地	木田寛栗
同	洋畫講義錄	四	一・五二		
同	菓子	二〇箱	二・〇〇	同市本郷區追分町五十番地	小林勇三
同二九	新聞	自三十九年十一月至四十年三月	〇・五〇	同市京橋區采女町	東京通信社
同三〇	習志野「アンコロ」	一三箱	一・三〇	同市麹町區下六番町四十四番地	橘地龜太郎 乃村久綱
同四、一〇	八〇、〇〇〇・〇〇圓			東京市役所內	東京凱旋軍歡迎會
	神奈川縣				
同三、一三	鷄	二〇羽	三〇・六〇圓	神奈川縣橫濱市辨天通四丁目六十三番地	加川千義
同	種卵	三〇顆	二・四〇		
	靜岡縣				
同二一	東京市全圖	一二部	二・〇〇	靜岡縣濱松町鍛冶	乘松富美子
	長野縣				
同二三	半紙白紙	一〇〇〇枚	一・五〇	長野縣諏訪郡宮川村海友會長	廣田具之助
	青森縣				
同二五	菓子切手	一枚	一三・〇〇	陸奥國八戶番町	武藤一明
	廣島縣				
同二八	茶	一〇斤	五・〇〇	廣島縣賀茂郡東野村四十番地	森川篤之助
	大阪府				
同二九	癈兵ノ友	自一號至一六號	一・九二	大阪市東區北久寶寺町一丁目四十二番地	辰巳會
同	辰巳時報	自一號至三五號	〇・七〇		
	富山縣				
同三一	山櫻印卷莨	二八〇〇本	七・〇〇	富山縣東礪波郡太田村婦人會總代	安念志孝

○生徒募集

本校醫學科第一學年ヘ生徒ヲ募集ス志願者ハ左ノ事項ヲ心得ヘシ

明治四十年四月　岡山醫學專門學校

志願者心得事項

一本校入學者ハ中學校卒業者若クハ專門學校入學者檢定規程ニ依ル檢定ニ合格シタル者
一選拔試驗學科目左ノ如シ
　國語及漢文　外國語（英語又ハ獨語ノ內）　數學　物理及化學（無機）
一入學志願者ハ願書ニ履歷書及中學校卒業者ハ當該中學校長ノ卒業證明書專門學校入學者檢定規程ニ依ルモノハ其合格證書竝ニ最近手札形半身寫眞一葉及受驗料金三圓ヲ添ヘ本年六月十日マテニ當校ニ到達スヘキ日取ヲ以テ差出スヘシ
一試驗料ハ自己ノ都合ニヨリ受驗セサルモ返付セス
一試驗期日ハ本年七月二日ヨリ施行ス
一志願者ハ本年七月一日午前九時ヨリ午後二時マテノ間ニ出校シ受驗證票ヲ受取ルヘシ

○音樂演奏會

本月二十八日（日曜日午後二時半）音樂演奏會ヲ開ク

明治四十年四月　東京音樂學校

曲目

一　管絃合奏　基督降誕祭神劇　バハ作曲

二　合唱

甲、偶成　アルカデルト作曲　武島又次郎作歌

乙、みそぎ　マッタス、ブルッフ作曲　石倉小三郎作歌

三　管絃合奏　合奏曲　シューベルト作曲

四　「ピアノ」管絃合奏　研究生　久野ひさ

五　合唱　司伴樂　ベートーフェン作曲

甲、籔之川上　チャイコウスキー作曲　鳥居忱作歌

乙、雁叫　露西亜民歌　旗野十一郎作歌

六　管絃合奏　小夜樂　モツァルト作曲

七　管絃合奏　「スラヴ」舞踏曲　ヅボールシャク作曲

入場券ハ東京市京橋區竹川町十三番地共益商社樂器店ニ於テ發賣セシム

○證券保管通帳亡失及盜難

左記證券保管通帳亡失及盜難ニ罹リタルニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便爲替貯金管理所ニ通報スヘシ

明治四十年四月　郵便爲替貯金管理所

記番號	預ケ入氏名
恩韓九五三八	大森勝三郎
恩る八〇三二	市川巨藏

○營業停止

南埼玉郡岩槻町大字岩槻二千三百六番地平民古物商　鈴木辰五郎

同郡同町大字岩槻六百十三番地平民同　飛田金藏

北埼玉郡騎西町大字騎西六十六番地、當時南埼玉郡柏崎村大字加倉七十一番地寄留平民同　青木長吉

南埼玉郡岩槻町大字岩槻二千三百九番地平民同　早川竹次郎

右孰モ古物商取締法第十四條ニ依リ本月二十二日ヨリ向フ六箇月間其營業ヲ停止セリ

明治四十年四月　埼玉縣

○購買入札

一　蒸氣罐「ランカッシーア」形　一臺　板橋火藥製造所納

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）ヲ開札當日午前十時マテニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ今二十四日ヨリ來ル五月七日マテニ營業證明書携帶當廠ニ出頭標本品、入札心得書及契約書案等熟覽ノ上同八日午前十一時マテニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ東京砲兵工廠提理西村精一擔任ス

明治四十年四月二十四日　東京砲兵工廠

一　綠革	四千八百「メートル」
一　鐵鎖以下	三廉
一　錨「アドミラルチー」型	十一挺
一　普通輪鐵鎖	五千基
一　短輪鐵鎖以下	三廉
一　西洋蠟燭	三万基
一　「オコナイト」被覆銅線	千八百基
一　丁銅	十万基
一　軟鋼鋲	八千八百基
一　鉛地金	五千基
一　電話器用耳聽器	二百四十箇
一　陸用電線	三千「メートル」
一　丸鐵以下	二廉
一　工形鐵	千「メートル」
一　燐銅地金	千基
一　生亞麻仁油	五千基
一　鋼管	百六十本
一　万力	百挺
一　樅材	四千九百五十立方尺

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十（圓未滿切上ケ圓止トス）、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル五月九日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分開札ス

此契約ハ橫須賀海軍工廠會計部長島山頼二擔任ス

明治四十年四月二十四日　橫須賀海軍工廠會計部

一　和製竝「セメント」　六百五樽

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來繼續シ且ツ現實其營業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上來ル五月十三日マテニ營業證明書ヲ差出シ同十四日午前十一時限入札スヘシ同時當部ニ於テ開札ス

此契約ハ吳海軍工廠會計部長眞野秀雄擔任ス

明治四十年四月二十四日　吳海軍工廠會計部

一　木綿	五千段
一　精製「ガーゼ」	六千段
一　「ガーゼ」小包	八千箇
一　硼酸	十八万瓦
一　石炭酸	九十万瓦
一　鹽酸「コカイン」	八百瓦
一　倔里設林	二十七万瓦
一　硫酸「マグネシウム」	三十六万瓦
一　重炭酸「ナトリウム」	四十五万瓦
一　酒精	百五十七万五千瓦
一　「ワセリン」	十八万瓦

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來繼續シ現ニ其營業ニ從事スル證明アル者ニ限ル此證明書ハ來ル五月七日マテニ本院藥品庫ニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ本院藥品庫ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上來ル五月八日午前十一時限入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ吳海軍病院長嶋田庭吉擔任ス

明治四十年四月二十四日　吳海軍病院

一　鑄物用骸炭	一點
一　鍛冶用骸炭	一點
一　白絞油	一點
一　錫塊外三點	

以上神戸又ハ兵庫納

右來ル五月九日神戸營業事務所ニ於テ入札執行

以上入札保證金賣買總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一　石綿類　新橋及上野納	五點
一　指火舍	二點
一　生木綿及晒木綿	二點
一　信號旗	五點
一　石鹼類	二點
一　「インキ」類	六點

以上上野納

右來ル五月九日當部ニ於テ入札執行

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一　護謨製品　新橋納　十點

右來ル五月一日當部ニ於テ入札執行

右購買ス入札望ノ者ハ前記各部所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上當日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ帝國鐵道廳計理部長關師民嘉擔任ス

明治四十年四月二十四日　帝國鐵道廳計理部

一　八番鐵線　旭川及釧路納	二點
一　乾電池　岩見澤納	千五百箇
一　竝枕木	六万挺
一　同	三万挺
一　橋上用及轉轍器用枕木	十點

以上碧炭礦會社線納

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル五月九日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ北海道帝國鐵道管理局長野村彌三郎擔任ス

明治四十年四月二十四日　北海道帝國鐵道管理局

第一號、郵第二號外二十二種　第二號郵第一號外七十一種

以上入札保證金每號各自見積代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）、入札者ハ滿二年以來其營業ニ從事シ且ツ明治三十三年遞信省令第十九號ノ資格ヲ備フルヲ要ス

右購買ス入札望ノ者ハ來ル五月八日マテニ當局會計課ニ就キ見本、入札人心得書、仕樣書及契約書案等熟覽ノ上同九日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ名古屋郵便局長木梨幸吉擔任ス

明治四十年四月二十四日　名古屋郵便局

一　濃紺絨外套　三十六枚

入札保證金各自見積價格百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ警視總監官房會計課ニ就キ入札人心得書、標本品、仕樣書及契約書案等熟覽ノ上本月三十日午前十一時限同課ニ入札書差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ警視總監官房會計課長警視屬長澤誠之助擔任ス

明治四十年四月二十四日　警視廳

○購買入札公告中訂正

昨二十三日本欄內掲載當部購買入札公告中當部ニ於テ入札執行スヘキ竝形厚煉化石二點ノ納品場所「岩淵」ハ「沼津靜岡間」ノ誤ニ付訂正ス

明治四十年四月二十四日　帝國鐵道廳計理部

○工事請負入札

奧羽線湯澤停車場貨物上家增築工事

一　木造貨物上家增築　建坪六十四坪

奧羽線橫堀停車場貨物積卸場擁壁繼足其他工事

一　貨物積卸場擁壁繼足　約延長百三十三呎

一　盛土　約三百五立坪

一　切取　約十一立坪

外三廉

以上入札保證金每工事各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右請負望ノ者ハ當廳秋田營業事務所ニ就キ入札人心得書、契約書案、示方書、圖面及現場等熟覽ノ上來ル五月九日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ帝國鐵道廳工務部長山口準之助擔任ス

明治四十年四月二十四日　帝國鐵道廳工務部

○入札拂下

一　第八號汽機	一臺
一　第十一號汽罐	一箇
一　第二號「ポンプ」	一臺
一　第四號同	一臺
一　第十六號同	一臺
一　第二十一號同	一臺
一　第七號光澤機	一臺
一　第一號鋸機	一臺
一　第二號斷截機	一臺
一　第八號同	一臺
一　第一號研機	一臺
一　第一號壓榨機	一臺

以上入札保證金各自見積代價百分ノ六、契約保證金落札代價百分ノ十一（圓未滿ノ端數ハ圓位ニ切上ク）

右賣却ス買受望ノ者ハ來ル五月八日マテニ當部及北豐島郡王子村抄紙部ニ出頭現品及入札契約心得書熟覽ノ上同九日午前十時マテニ入札保證金ヲ、同十時三十分限入札書ヲ當部ニ差出スヘシ同日午前十時三十五分開札ス

此契約ハ印刷局長山中政亮擔任ス

明治四十年四月二十四日　印刷局會計部

一　圓材五箇外十六廉

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上

右賣却ス買受望ノ者ハ當部ニ就キ契約書案及入札心得書等承合ノ上來ル五月九日午前十時限入札スヘシ同時當部ニ於テ開札ス

此契約ハ佐世保海軍經理部長相原益功擔任ス

明治四十年四月二十四日　佐世保海軍經理部

○商業登記

合資會社登記簿第一七冊第八二三號

一　商號　合資會社東屋商店

一　本店　東京市深川區深川西平井町十八番地

一　目的　小間物、紙、煙草、化粧品、荒物其他雜貨品ノ販賣

一　設立ノ年月日　明治四十年四月十七日

一　代表社員ノ氏名　古原富藏

一　社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任

一　建物三棟　深川區深川西平井町十八番地所在

一　建物一棟　同區同町三番地所在

一　建物一棟　京橋區南新堀二丁目十二番地所在

以上各造作竝建具一式有形儘

一　營業上必要ナル諸道具一式

右價格金二千三百圓　無限　東京市深川區深川西平井町十八番地　古原富藏

一　金三百圓　同　同所　古原モト

一　金三百圓　有限　同市京橋區南新堀二丁目十二番地　富士田すゞ

一　金三百圓　同　同市深川區深川西平井町十八番地　古原きぬ

一　金三百圓　同　千葉縣君津郡貞元村大字下湯江一番地　古原善藏

株式會社八十九銀行登記事項中左ノ如ク變更ス

一　明治四十年四月七日東京市日本橋區靑物町三十一番地ノ支店ヲ左ノ所ニ移轉ス

東京市京橋區銀座二丁目十番地

株式會社城北銀行登記事項中左ノ如ク變更ス

一　各株ニ付拂込タル金額ヲ金三十圓ト變更ス

株式會社帝國ホテル登記事項中左ノ如ク變更ス

一　取締役平沼延次郎ハ明治四十年四月七日死亡ニ因リ退社ス

勸業債券株式會社登記事項中左ノ如ク追加及變更ス

一　增加資本ノ總額　金九十万圓

一　資本增加決議ノ年月日　明治三十九年十一月十五日

一　各新株ニ付キ拂込タル株金額　金十二圓五十錢

一　取締役中村陶夫ハ明治四十年四月十三日住所ヲ左ノ所ニ移轉ス

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目二十五番地

一　明治四十年四月十五日本店ヲ左ノ所ニ移轉セリ

東京市麴區有樂町三丁目三番地

一　取締役川島孝造ハ明治四十年四月十五日退任シ同日左記者取締ニ就任セリ

東京市芝區愛宕町二丁目一番地　牧野元次郎

日本印刷株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一　取締役山本邦彥ハ明治四十年四月六日辭任シ左記者同日取締役ニ就任セリ

東京市神田區鎌倉町十三番地　福島七兵衛

右明治四十年四月十八日登記　東京區裁判所

京橋區商號登記簿第三冊第一四七號

一　商號　秋月商店

一　營業ノ種類　諸機械類直輸入竝ニ製造業

一　營業所　東京市京橋區三十間堀一丁目七番地

一　商號使用者ノ氏名住所　東京市京橋區三十間堀一丁目七番地　秋月德次郎

右明治四十年四月十八日登記　東京區裁判所

調布乾燥合資會社登記事項中左ノ如ク追加ス

一　清算人ノ氏名住所　北多摩郡調布町布田小島分百三十六番地　井上平左衛門

右明治四十年四月十八日登記　八王子區裁判所府中出張所

京濱電氣鐵道株式會社ハ本店ヲ左ノ所ニ移轉ス

神奈川縣橘樹郡川崎町堀ノ內八百三十一番地

右明治四十年四月十七日株式會社登記簿第二號ヘ登記ス　橫濱區裁判所川崎出張所

株式會社尼崎銀行傳法支店　一株ニ付金二十圓拂込ミタルニ依リ各株ノ拂込株金額金五十圓ニ變更

共濟生命保險株式會社大阪支店　監査役安田善彌任期滿了東京市本所區橫網町二丁目安田善彥監査役ニ就任

合資會社今田菊乳舍　明治三十八年五月十五日淸算結了

合資會社石笠製造會社　明治四十年四月五日淸算結了

第7142号　本文

朝日製菓合資會社　社員村上菊太郎ハ金一千七百五十圓社員村上美之助ハ金七百五十圓社員村上利助ハ金五百圓社員村上喜三次ハ金五百圓社員砂田惣吉ハ金五百圓社員田頭虎之助ハ金五百圓社員村上春治ハ金五百圓ノ各其出資額ノ拂戻ヲ受ケ退社　代表社員村上菊太郎退社ニ付抹消　無限責任社員渡邊慶太郎ハ其責任ヲ有限ニ變更　本店ヲ大阪市西區三軒家上ノ町ニ移轉

合名會社柴田商會　明治四十年四月十日清算結了

合名會社設立　商號合名會社大阪製紙所　本店大阪市西區境川町　目的和紙製造及販賣　設立明治四十年四月十五日　代表社員高島才治郎　社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　金六千圓大阪市西區境川町佐藤虎之助金六千圓同市南區長堀橋筋一丁目高島才治郎　金六千圓同所高島善一金六千圓和歌山市新通六丁目竹中源助金六千圓神戸市葺合御幸通八丁目銀治谷宜吉金三千圓大阪市南區鹽町通一丁目堺忠七金三千圓同市西區新町通四丁目林廣吉　存立時期明治四十年四月十五日ヨリ滿十箇年間

右明治四十年四月十六日登記　大阪區裁判所

株式會社佐賀魚市場登記事項中變更　各株ニ付拂込タル株金額ヲ三十七圓五十錢ト改ム　取締役坂井儀平ハ明治四十年四月八日辭任シ佐賀市大字西魚町四十三番地寺崎芳藏ハ同日取締役ニ當選就任ス　監査役滿期ニ付同日改選ノ結果佐賀市大字東魚町七十二番地村岡治吉郎同市大字牛島町二十八番地山崎勇吉當選就任ス

右明治四十年四月十五日登記　佐賀區裁判所

澁益合資會社登記事項中變更　社員小松石造ハ明治三十九年三月二十日死亡ニ因リ相續人佐賀縣東松浦郡相知村大字平山上乙三百七十一番地小松峰造出資金二千六百圓ヲ承繼シ無限責任社員トシテ入社ス

右明治四十年四月十五日登記　唐津區裁判所相知出張所

東京製綱株式會社小倉支店登記事項中明治四十年三月二十六日取締役及監査役增員ニ依リ選擧ノ結果左ノ者當選就任ス

取締役　東京市赤阪區溜池葵町三番地　大倉喜八郎
監査役　同市京橋區南新堀町一丁目六番地　牧原　賢輿

右明治四十年四月十六日登記　小倉區裁判所

東京製綱株式會社支店登記事項中明治四十年三月二十六日支店設置ニ依リ左ノ通登記ス
東京市京橋區月島東河岸通六丁目六番地

右明治四十年四月十六日登記　小倉區裁判所

一商號　株式會社小倉舊魚市場
一本店　小倉市魚町十三番地
一目的　魚類ノ委託ヲ受ケ之ヲ市場ニ糶賣シ其手數料ヲ取得スルヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　明治四十年四月七日
一資本ノ總額　金六万圓
一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢
一公告ヲ爲ス方法　所轄裁判所カ登記事項ヲ公告スル新聞紙ニ登載ス
一取締役ノ氏名住所
福岡縣小倉市魚町十二番地　永野長次郎
同縣同市鳥町十四番地　今渡貞次郎
同縣同市魚町一番地　川上鹿之助
同縣企救郡足立村三萩野九百八十九番地　唐生　惟義
一監査役ノ氏名住所
福岡縣小倉市魚町十番地　進市左衞門
同縣同市同町七番地　久恒勝三郎

右明治四十年四月十六日登記　小倉區裁判所

株式會社大分縣農工銀行登記事項中左ノ通變更ス
一本店大分縣大分郡大分町大字大分千二百九番地　一取締役小野吉彥ノ住所大分縣大分郡大分町大字古國府二百九番地

右明治四十年四月十三日登記　大分區裁判所

秋田糯米合資會社登記事項變更
一有限責任社員加賀谷保吉ハ其出資持分金一千圓ヲ南秋田郡土崎港町清水町六十三番地金子爲吉ヘ讓渡シテ退社シ金子爲吉ハ出資持分金一千圓有限責任社員トシテ入社シタリ

右明治四十年四月十六日登記　秋田區裁判所土崎出張所

株式會社第五十九銀行登記事項中左ノ通變更
明治四十年四月七日取締役補缺選擧ニ依リ青森縣弘前市大字在府町一番戸木村一太郎當選　同年同月同日監査役木村一太郎辭任ニ付抹消

右明治四十年四月十六日登記　五所川原區裁判所

株式會社三戸銀行登記事項中新株式二千株ニ對シ明治四十年四月十五日第三回拂込トシテ金七圓五十錢宛拂込完了各新株ニ付キ拂込タル株金額ヲ金三十二圓五十錢ト變更ス

右明治四十年四月十七日登記　八戸區裁判所三戸出張所

日本燐寸軸木株式會社登記事項中監査役彌井錢藏ハ明治四十年四月一日辭任ス

合資會社設立登記
一商號函館煙草元賣捌合資會社　一本店函館區末廣町四十五番地　一目的官製煙草販賣　一設立ノ年月日明治四十年四月一日　一代表社員ノ氏名濱崎治助　一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格及責任　函館區西濱町二十三番地金五千圓無限濱崎治助、同區同町二十二番地金五千圓有限久保彥助、同區同町二十九番地金五千圓有限新與三郎、同區同町三十四番地金五千圓有限奧寺仁三郎、同區同町三十五番地金五千圓有限酒谷小三郎、同區末廣町七十五番地金五千圓有限今井合名會社函館支店、同區幸町九番地金五千圓有限三輪竹次郎、同區末廣町四十五番地金五千圓有限鹽谷甚右衞門　一存立ノ時期登記ノ日ヨリ明治四十二年六月三十日迄

右明治四十年四月八日登記

函館區末廣町三十番地仐渡邊支店渡部啓吉ノ支配人登記事項中主人ノ姓渡邊ヲ渡部ト更正ス又主人死亡ニ付明治三十九年三月十二日家督相續ニ因リ主人ノ氏名住所ヲ新潟縣佐渡郡松ヶ崎村大字松ヶ崎千百八十六番地渡部チカト變更ス

合名會社設立登記
一商號丸善萱谷合名會社　一本店函館區音羽町六十四番地　一支店室蘭郡室蘭町大字札幌通九十八番地、樺太大泊本町六丁目市街地區劃外　一目的酒類及味噌醬油釀造酒類竝雜貨荒物賣買　一設立ノ年月日明治四十年四月十二日　一代表社員萱谷善司　一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格金九万圓函館區音羽町六十四番地萱谷善司、金一万三千圓同區同町同番地萱谷カノ、金三千圓同區同町同番地萱谷恒司、金三千圓同區同町同番地萱谷セン、金三千圓同區同町同番地泉貫伊三郎、金三千圓同區同町同番地萱谷勝司、金三千圓同區同町同番地萱谷英司、金一万圓同區同町同番地古川金兵衞、金三千圓同區同町同番地萱谷健司、金三千圓室蘭郡室蘭町大字札幌通九十八番地中島健次郎　一存立ノ時期明治四十年四月十二日ヨリ滿三十箇年

株式會社函館銀行登記事項中左ノ通資本增加ス
增加資本總額金一百万圓　資本增加決議ノ年月日明治三十九年十二月九日　各株ニ付拂込ミタル株金額金十二圓五十錢

右明治四十年四月十二日登記　函館區裁判所

〇法人登記

井上報德社登記事項中左ノ通變更ス
一理事梶原新平滿期退職ニ依リ明治四十年四月十日左記ノモノ當選就職ス
理事　東八代郡錦村井之上千二百十六番地　根津虎馬平

右明治四十年四月十八日登記　甲府區裁判所鵜飼出張所

〇產業組合登記

保證責任大井信用組合登記事項中左ノ通變更
一事務所ヲ南桑田郡大井村大字並河小字北條七十一番地ニ移轉

右明治四十年四月十七日登記　園部區裁判所龜岡出張所

有限責任雲部信用販賣購買組合設立登記　名稱、有限責任雲部信用販賣購買組合　組織、有限責任　事務所、多紀郡雲部村ノ內東本庄村三十二番地ノ一　目的、組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便利ヲ得セシムコト、組合員ノ委托ヲ受ケ其生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト、組合員ニ產業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト　設立許可ノ年月日、明治四十年三月八日　出資一口ノ金額及拂込方法、出資一口金十圓トシ第一回ニ金一圓ヲ拂込ミ其後ハ出資各口ニ付毎年一月末及六月末ニ金一圓宛ヲ拂込ム　理事及監事ノ住所氏名、理事多紀郡雲部村ノ內倉谷村三百五十二番地安井嘉次郎、同郡同村ノ內泉村二十五番屋敷大西榮次郎、同郡同村ノ內東本庄村二百七十八番地山田辰之助監事多紀郡雲部村ノ內奧縣守村十二番屋敷谷田太吉、同郡同村ノ內西本庄村六番屋敷小島正夫、同郡同村ノ內佐貫谷村六百四十一番地曾我部謙吉、同郡同村ノ內春日江村十五番屋敷山內利太郎同郡同村ノ內泉村四十七番屋敷中西嘉市郎　存立時期、二十箇年

右明治四十年四月十七日登記　篠山區裁判所

一名稱　有限責任小藪購買組合
一組織　有限責任
一事務所　岐阜縣羽島郡小藪村大字午南新田四百二十八番地
一目的　農事及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却ス
一設立許可ノ年月日　明治四十年三月十四日
一出資一口ノ金額　金五圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込一口ニ付金一圓トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付毎年六月末日迄ニ金二圓以上ヲ拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
岐阜縣羽島郡小藪村大字小藪二千九百十四番地ノ二　日比保太郎
同縣同郡同村大字同百七十三番戸　橫井勝右衞門
同縣同郡同村大字午南新田三十二番戸　馬場佐太郎
一監事ノ氏名住所
岐阜縣羽島郡小藪村大字小藪十七番戸　宮田　鎚二
同縣同郡同村大字大須九十一番戸　森川　勇藏
同縣同郡同村大字前野三百五十番戸　岡田　長藏
一存立ノ時期　二十箇年

右明治四十年四月十七日登記　岐阜區裁判所竹ヶ鼻出張所

有限責任富谷村信用組合登記事項中監事改選ニヨリ左ノ通變更ス
一監事ノ氏名住所　宮城縣黑川郡富谷村明石二十六番地　伊藤榮五郎

右明治四十年四月十日登記　仙臺區裁判所吉岡出張所

〇公示催告

埼玉縣北葛飾郡彥成村大字彥糸六番地戶主平民
不在者　新井信太郎
嘉永元年三月十五日生

右ニ對シ利害關係人新井七五郎ヨリ失踪宣告ノ申立アリタルニ付不在者ハ明治四十年十月三十一日迄ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ受クヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治四十年四月十八日
越ヶ谷區裁判所
判事　川村亨

岡崎電燈合資會社ハ本月八日臨時總會ニ於テ株式組織ニ變更ノ決議ヲ爲セリ此組織變更ニ對シ異議アル債權者ハ明治四十年六月十八日マテニ其旨本社ニ申出テラルヘシ此段公告ス

明治四十年四月十七日
岡崎電燈合資會社
業務擔當社員　杉浦銀藏

亡父新作死亡ニ因リ家督相續ノ限定承認ヲ爲シタルニ付キ一切ノ相續債權者及受遺者ハ明治四十年六月五日マテニ其請求ヲ申出テラルヘク若シ右期間內ニ申出ナキ債權ハ清算ヨリ除外スヘシ

明治四十年四月一日
佐賀縣杵島郡朝日村大字中野十番地
右家督相續限定承認者　藤田大助

〇華族世襲財產

東京府東京市小石川區小石川大塚上町仲町ノ內
一市街宅地合計五百五十二坪九合四勺　子爵松平定晴所有

右世襲財產ト爲シタキ旨願出テタル趣宮內大臣ヨリ達セラル依テ該財產ニ對シ故障アル者又ハ地番等承合シタキ者ハ來ル五月二十四日マテニ當廳ニ申出ツヘシ

明治四十年四月十七日　東京府

〇兌換銀行券發行週報

兌換銀行券發行高每週平均高報告（自明治四十年四月十五日至明治四十年四月二十日）

	圓
兌換銀行券發行高	二七七、九六五、七二〇・〇〇〇
金貨及金塊	一四一、一三四、三二四・〇〇〇
準備合計	一四一、一三四、三二四・〇〇〇
準備竝保證	
公債證書	五九、九四二、五四四・〇〇〇
大藏省證券	五、六九五、二五〇・〇〇〇
政府證券	二三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
證券	二一、一一六、〇〇〇・〇〇〇
商業手形	二八、〇七七、六〇二・〇〇〇
保證合計	一三六、八三一、三九六・〇〇〇
制限超過高	一六、八三一、三九六・〇〇〇

明治四十年四月二十三日　日本銀行

〇營業週報

日本銀行營業週報告（明治四十年四月二十日）

負債ノ部

	圓
株金	三〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金其他株主ニ關スル勘定	二七、一三一、二八七・二一八
兌換銀行券發行高	二七七、〇〇九、七五二・〇〇〇
政府預金	四二四、一九七、四六〇・四一〇
預金	一〇、七六八、三一三・二五三
爲換借	二八、七八六・四〇〇
總計	七六九、一三五、五九九・二八一

資產ノ部

割引手形	七四、八三二、四七一・一八〇
買入外國手形	一六、六七八、四一八・八五〇
政府法定貸金	二二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
貸出金	四二五、七七〇、一六七・四六九
爲換貸	六七〇、二六一・四三六
公債證書	八二、七八八、三八五・三七〇
所有物	三、一六二、二三二・七一七
通貨及地金銀	一四三、二三三、六六二・二五九
總計	七六九、一三五、五九九・二八一

明治四十年四月二十三日　日本銀行

〇東京郵便局外國郵便締切時限

明後二十六日神戸マテ汽車便送同地ヨリ春日丸ヲ以テ上海及南清地方ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
普通	二十六日午後二時	二十六日午前十一時半
書留	同上	同上
小包	同日午後一時半	同上

（備考）小包ハ清國（獨逸局所在地）宛萬國小包竝ニ威海衛、寧波宛香港小包

第7142号　本文

第7142号 本文

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「ポルチカ」號ヲ以テ浦潮斯德經由露西亞、西伯利地方ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
普通	二十六日午後九時半	二十六日午後六時半
書留	同上	同上
價格表記	同日午後九時	同上

本月二十七日横濱マテ汽車便送同地ヨリ旅順丸ヲ以テシアトル經由歐米以遠ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局	横濱局
普通	二十七日午前十時	二十七日午前八時	二十七日午前十一時半
書留	同日午前九時半	同日午前六時半	
小包	二十六日午後七時	二十六日午後五時	
聯合爲替	二十七日午前九時	同日午後四時	
特別爲替	二十六日正午十二時	同日午前九時半	

（備考）小包ハ北米合衆國及ポートリコ宛

同日神戸マテ汽車便送同地ヨリ「プリンツ、イーテル、フリードリッヒ」號ヲ以テ上海經由歐洲、印度、香港以遠ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
普通	二十七日午後九時半	二十七日午後六時半
書留	同上	同上
價格表記	同日午後九時	同上
小包	同上	同上
香港爲替	同日午後四時	同日午後一時

（備考）小包ハ埃及、歐洲、北米合衆國等宛

同日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「ヤンツー」號ヲ以テタマコ經由歐米以遠ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
普通	二十七日午前七時	二十六日午後十時
書留	同日午前六時半	同上
小包	二十六日午後七時	同日午後五時
聯合爲替	同日午後四時	同日午後一時
特別爲替	同日正午十二時	同日午前九時半

（備考）小包ハ北米合衆國及ポートリコ宛

同日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「モンゴリア」號ヲ以テ布哇經由歐米以遠ヘノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局	横濱局
普通	二十七日午前十時半	二十七日午前八時	二十七日午後十二時半
書留	同日午前十時	同上	
小包	二十六日午後七時	二十六日午後五時	
聯合爲替	二十七日午前九時半	同日午後四時	
特別爲替	二十六日正午十二時	同日午前九時半	

（備考）小包ハ布哇、北米合衆國及ポートリコ宛

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

兵庫丸　今二十四日正午十二時横濱出帆四日市行（出帆日延）

廣島丸　同日午後四時横濱出帆神戸行

春日丸　明二十五日午前十時横濱出帆同二十七日午前十時神戸出帆上海行（神戸、門司、長崎經由）（横濱神戸棧橋繫留）

香川丸　同日午後四時横濱出帆神戸、門司、基隆、安平、打狗行（船客ヲ搭載セス）

和歌浦丸　明後二十六日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行（出帆日延）

越後丸　本月二十七日正午十二時横濱出帆牛田、四日市行（船客ヲ搭載セス）

旅順丸（米國行）　同日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行（横濱棧橋繫留）

右兩地ニ於テ桑港、タコマ、ポートランド、バンクーバー、紐育其他合衆國及歐洲各地行汽車、汽船ニ接續スルニ付キ各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス（米國行三等乘船申込ハ出帆當日三日前迄トス）

大連丸　同日午後四時横濱出帆神戸行

小倉丸　同日午後四時横濱出帆五月一日午前十時神戸出帆上海行（神戸、門司、長崎經由）（横濱、神戸棧橋繫留）

東郷丸　本月二十八日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行（出帆日延）

伏木丸　同二十九日午後四時横濱出帆濱口行（大阪、神戸、門司、上海經由）（船客ヲ搭載セス）

旺洋丸　五月一日正午十二時横濱出帆仁川、大連、大沽、牛莊行（四日市、神戸、門司經由）

丹波丸（歐洲行）　同日正午十二時横濱出帆同四日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、坡西土、馬耳塞（倫敦、安土府行（横濱棧橋繫留）

信濃丸　同六日午前十時横濱出帆同十日午前十時神戸出帆香港行（神戸、門司、上海經由）（横濱棧橋繫留）

○同上神戸等出發表

土佐丸　明後二十六日午前十時神戸出帆香港行（門司、上海經由）

淡路丸　同日午後二時神戸出帆安東縣行（宇品、門司、仁川、鎭南浦經由）

日東丸　同日午後四時神戸出帆尾道、門司、境、敦賀、伏木、新潟、酒田、土崎、函館、小樽行

第一「オハヨ」號　本月二十七日正午十二時神戸出帆釜山、木浦、群山、仁川行（門司經由）

高松丸　同二十八日午前八時函館出帆同二十九日午後小樽出帆九春古丹、哥爾薩港、マウカ行

弘前丸　同日午前十時神戸出帆釜山、元山、城津、浦潮斯德行（門司、長崎經由）

芝罘丸　五月二日午前十時神戸出帆芝罘、大沽、牛莊行（門司、長崎經由）

横濱丸　同日午後二時神戸出帆大連行（宇品、門司經由）

日英丸　同六日頃午後三時敦賀出帆境行

臺灣航路

	神戸發正午	門司著發	基隆著
西京丸　毎月	三日	四日	七日
	十八日	十九日	二十二日

本船ハ神戸ニテ鐵道棧橋繫留ニ付キ同所ニテ切符購入御乘船ノ便アリ

	青森發	函館發	室蘭著
毎日	午前三時	（直航）	午後三時
	午前三時	函館止メ	
	午前十時半	午後八時半	翌日午前四時半

○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

韓國行

隅田川丸　明後二十六日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司、下關、釜山、元山行

木浦丸　本月二十七日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司、下關、釜山、木浦、群山、仁川行

安東丸　五月一日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司、下關、釜山、元山行

清國行

大義丸　本月二十七日正午十二時大阪出帆同二十八日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

基隆丸　同日午後三時大阪出帆同二十八日午前十時神戸出帆門司、下關、仁川、鎭南浦、安東縣行（平壤行連絡切符發賣ス）

大智丸　本月二十九日午前十時神戸出帆門司、芝罘、天津行（天津ハ居留地河岸ニ横付）

安平丸　同日午後三時大阪出帆同三十日午前十時神戸出帆門司、下關、仁川、鎭南浦、安東縣行

鐵嶺丸　同三十日正午十二時大阪出帆五月一日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

成興丸　五月二日午前八時大阪出帆同日午後三時神戸出帆宇品、門司、仁川、鎭南浦、安東縣行

大信丸　同三日午前九時大阪出帆同四日午前十時神戸出帆門司、芝罘、天津行（天津ハ居留地河岸ニ横付）

大仁丸　同四日正午十二時大阪出帆同五日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

臺灣行

福岡丸　明後二十六日正午十二時神戸出帆門司、基隆、安平、打狗行

臺北丸　五月一日午後三時横濱出帆同四日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行

臺南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

臺中丸　毎月十五、三十日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

開城丸　本月三十日午後六時敦賀出帆浦潮斯德行

韓國淸國臺灣沖繩行船客ニシテ大阪又ハ神戸ヨリ御乘船ノ方ニハ東京横濱代理店並ニ兩市內出札所ニテ乘船切符發賣ス

○附錄　今二十四日發刊敍任及辭令六頁、三頁

敍任及辭令

官報第七千百四十二號附錄

明治四十年四月二十四日

○敍任及辭令

本欄敍賜ノ項ニ「七級（年金一〇〇）旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金鵄勳章竝ニ年金百圓及勳八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勳八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩澣ニ涉ルヲ以テ其要略ノミヲ揭ク其他皆此例ニ倣フ

陸海軍軍人軍屬ニシテ前項ノ賞與ヲ受ケタル者ハ總テ明治三十七八年從軍記章ヲ授與セラル

○明治三十九年四月一日

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
旭六等	四〇〇	步兵少尉從七位勳七等	加島	得藏
瑞六等	二〇〇	三等軍醫正八位	長谷川	元二

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
一五〇	憲兵大尉正七位勳五等	工藤	歡平

敍 功級	賜 勳等	陸軍官等位勳功爵	氏	名
七級（年金一〇〇）	旭八等	步兵上等兵	赤澤	島治

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	看護手	石井	長惣
同	同	步兵一等卒	中山	彥造
同	同	輜重輸卒	廣澤	茂七
同	一〇〇	步兵一等卒	齋藤	忠作
瑞八等	八〇	看護手	樋浦	藤市

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
八〇	砲兵一等鍛工長	吉川	綺一
同	步兵軍曹勳八等	有田	福一郎
五〇	工兵二等卒	中西	弥太郎
同	工兵一等卒	夏目	廣介
同	騎兵上等兵	松崎	友吉
同	三等看護長	荻原	文作
同	同	足立	吉郎
三五	步兵二等卒	藤澤	健一
同	同	道廣	貫右衛門
同	工兵二等卒	田中	伊三郎
六〇	三等計手	伊東	英之助

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
旭七等	三〇〇	步兵軍曹	竹內	喜十
旭八等	二〇〇	步兵一等卒	北川	勇次郎
同	同	同	夏原	弥太郎
同	一五〇	同	陣野	伊七
同	同	同	三村	初五郎
同	同	砲兵上等兵	村瀨	市太郎
同	八〇	砲兵輸卒	淺田	與八郎
瑞七等	一五〇	步兵軍曹	高島	政太郎
瑞八等	八〇	看護手	明緒	三吉
瑞七等	一二〇	步兵伍長	細川	守山
瑞八等	七〇	步兵一等卒	中平	與四郎
同		同	窪田	藤太郎

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
四〇	步兵一等卒	寶尾	藤三郎
六〇	步兵伍長	新	竹太郎
三五	步兵一等卒	岡田	力造
同	同	關野	總吉
同	砲兵一等卒	榎本	秀一郎
同	步兵二等卒	市川	芳作

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
旭小綬章	一五〇〇	砲兵少佐從五位勳四等功五級	山名	有友
旭八等	一〇〇	砲兵上等兵	關	勝助
同	同	砲兵輸卒	太子	安吉
同	八〇	同	仲谷	鶴吉
瑞八等	同	同	乾	音松
瑞七等	七〇	砲兵上等兵勳八等	田中	仲三郎
同		砲兵一等銃工長	高城	貞教

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
四〇〇	元步兵特務曹長勳七等	古川	清
五〇	砲兵一等卒	篠原	秀次郎
同	砲兵上等兵	木村	榮勝
同	輜重輸卒	山崎	卯作
三五	同	小田	龜太郎
同	同	上田	浦藏
同	元輜重輸卒	百武	政吉

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
三五	砲兵上等兵	江頭	幾三
同	砲兵一等卒	伊藤	喜次郎
同	同	池尻	文五郎
同	砲兵二等卒	額田	長松
同	砲兵輸卒	辻	佐八
同	工兵一等卒	佐々木	芳松
同	工兵二等卒	杉山	幸造
同	輜重輸卒	西尾	房吉
同	同	林	榮三郎
同	步兵二等卒	太田	平重

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	步兵一等卒	林	元之助
同	同	工兵一等卒	田付	末吉
同	一〇〇	步兵二等卒	渡邊	彌七
瑞八等	七〇	同	佐藤	藤松
同	同	步兵一等卒	小島	安五郎

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	輜重輸卒	菊池	龜
同	一五〇	看護卒	熊谷	庄吉
瑞七等	同	一等看護長	岡島	綠三郎

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
旭八等	一五〇	輜重輸卒	森	幾之助
同	一〇〇	同	梅川	駒藏
同	八〇	同	岡	清太郎
同	同	同	高井	勘四郎
同	同	同	道木	米吉
瑞八等	同	同	中川	三藏
同	同	同	熊木	留吉
同	同	同	上野	清
同	七〇	同	長谷部	駒藏
同	同	同	尾崎	卯之松
同	同	同	樋口	卯之助
同	同	同	久松	卯三郎
同	同	同	辻	宗次郎
同	同	同	古谷	三之助
同	同	同	北村	常吉
同	同	同	安村	與左衛門
同	同	同	三浦	音吉

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
四〇	輜重輸卒	永澤	由
同	同	增田	淺吉
同	同	吉田	幾太郎
三五	元輜重輸卒勳八等	林	義男
六〇	輜重兵軍曹	澄田	大吉
三五	輜重輸卒	雪江	弥市郎
同	同	福田	龜吉
同	同	北野	秀吉
同	元輜重輸卒	杉本	仙吉
同	同	岩中	熊太郎
同	輜重輸卒	飯田	伊三郎
同	同	西端	龜吉
同	同	木下	忠藏

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
瑞八等	七〇	步兵上等兵	山下	長治郎
同	同	步兵二等卒	河內	喜太郎

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏	名
三五	步兵二等卒	谷村	德治郎
同	同	小田	熊吉
同	步兵一等卒	磯川	滿弥
同	步兵二等卒	德珍	榮三郎
同	步兵上等兵	松本	周藏
同	步兵二等卒	辻田	竹治郎
同	同	古野	源之助
同	同	森田	豐治郎
同	同	中島	清太郎
同	同	鍛冶	音吉
同	同	澤井	兵次郎
同	同	入江	秀吉
同	同	前田	豐太郎
同	同	船井	宗吉
同	同	藤本	喜三郎
同	同	磐木	正一
同	同	松谷	嘉三郎
同	同	沼田	幸一郎
同	步兵一等卒	田中	市松
同	步兵二等卒	福井	藤次郎
同	步兵一等卒	高橋	茂三郎
同	同	西島	喜三五郎
同	步兵二等卒	村田	藤太郎
同	砲兵一等卒	西尾	清太郎
同	步兵一等卒	佐々木	巳之吉
同	同	辻	鑑次郎
同	同	土井	光藏
同	步兵二等卒	鑓	昇太郎
同	步兵一等卒	鵜野	吾一
同	步兵上等兵	臨田	德三郎
同	步兵一等卒	道明	末吉
同	同	中村	卯三郎
同	同	渡邊	永次郎
同	步兵二等卒	組金	源次郎
同	同	中島	福藏

第7142号　敍任及辭令

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
三五	歩兵一等卒	內藤 鍵之助
同	同	徙山 仁之助
同	歩兵二等卒	天星 庄右衛門
同	歩兵一等卒	石田 善太郎
同	同	中村 駒次郎
同	同	樽本 政五郎
同	同	依田 藤次郎
同	輜重輸卒	兒島 竹松
同	歩兵一等卒	中野 常太郎
同	歩兵二等卒	木村 庄太郎
同	一等縫工	遠山 市之助
同	看護卒	安藤 一郎
同	同	津田 種次
同	同	後藤 兵次郎
同	同	竹中 定吉
同	同	岩井 麻治郎
同	同	吉岡 義定
同	同	中村 初三郎
同	同	松本 儀一
同	同	澤藤 末松
同	同	井上 保藏
同	輜重輸卒	増田 城吉
同	同	長田 平太郎
同	同	富永 信太郎
同	同	中山 博三郎
同	同	渡瀬 喜平
同	同	杉山 郡治
同	同	熊谷 竹一
同	同	永井 善吉
同	同	花井 嘉重
同	同	野木 伴藏
同	同	山本 作平
同	同	三矢 晉次郎
同	同	竹内 長藏
同	同	後藤 吉十
同	同	小杉 護治
同	同	仲澤 甚松
同	同	深田 佐平治
同	同	鈴木 平三郎
同	同	青木 金作
同	同	中島 慶太郎
同	同	宮川 金作
同	同	川口 玉平
同	同	太田 清吉
同	同	加藤 東一郎
同	同	鈴木 兼松
同	同	宇佐美 兼吉
同	同	石橋 善作
同	同	金原 喜一郎
同	同	中村 壽三郎
同	同	太田川 兼次
同	同	福原 正作
同	同	櫛田 清一郎
同	同	鈴木 政五郎
同	同	堤 官司
同	同	榊原 太七
同	同	野村 新太郎
同	同	田宮 海藏
同	同	兒玉 卯三郎
同	同	安間 亀次郎
同	同	豐田 要作
同	同	中野 太次郎
同	同	村松 正平
同	同	成瀬 孫四郎
同	同	村井 初五郎
同	同	竹島 清作
同	同	鈴木 春吉
同	同	板橋 淺吉
同	同	小柳出 長作
同	同	池田 利吉
同	同	山田 岩太郎
同	同	横山 銓
同	同	稲勝 増一
同	同	藤田 壽作
同	同	山本 末吉
同	同	永井 伊之助
同	同	福島 喜作
同	同	垣内 仟
同	同	石原 與作
同	同	大澤 伊助
同	同	眞野 武助
同	同	安藤 岩三郎
同	同	大野 音吉
同	同	渡邊 市右工門
同	同	川口 宇之助
同	同	村松 庄作
同	同	加藤 文吉
同	同	鈴木 福十
同	同	加藤 確太郎
同	同	伊藤 新吉
同	同	鵜田 喜三郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
一〇〇	三等獣醫正八位	福原 吉之助

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
五〇	歩兵二等卒	森田 彌三吉
三五	輜重輸卒	田中 金治
同	輜重兵二等卒	秋田 新之助

敍勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
旭五等	五〇〇	砲兵大尉正七位	坂田 安太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
一〇〇	三等獣醫正八位	打和 與吉

敍功級	賜勲等	陸軍官等位勲功爵	氏名
七級（年金一〇〇）	旭八等	歩兵上等兵	山崎 慶吉

敍勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
旭八等	二〇〇	砲兵上等兵	工藤 武男
同	同	歩兵一等卒	小林 清治
同	同	歩兵上等兵	長谷川 是苗
同	一五〇	元歩兵一等卒	杉山 孫太郎
旭七等	二五〇	二等計手	阿部 德兵衛
同	一〇〇	歩兵一等卒勲八等	高橋 辰藏
旭八等	同	歩兵一等卒	小川 萬藏
同	同	砲兵一等卒	渡邊 數馬

敍勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
瑞八等	八〇	輜重輸卒	寺本 榮太郎
同	同	砲兵一等卒	堤 熊五郎
瑞七等	一五〇	二等計手	福山 雄三郎
瑞八等		輜重輸卒	恆藤 秀彦

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
三五	歩兵一等卒	上ノ山 松太郎
同	輜重輸卒	柴田 好之介
同	歩兵一等卒	丸山 宅治郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
八〇	歩兵軍曹	三浦 勘助
三五	歩兵一等卒	福士 八太郎
同	同	新井 田次郎
同	歩兵二等卒	鎌田 長吉
同	同	八幡 吉之助
同	看護卒	鈴木 宗作
同	砲兵輸卒	沖 與四郎
同	元砲兵上等兵勲八等	矢島 市太郎
同	元砲兵一等卒	岩見 岩松
同	砲兵二等卒	土田 子之助
同	砲兵一等卒	松本 五七
同	元砲兵一等卒	松田 三之助
同	元砲兵輸卒	岩田 常次郎
同	元砲兵一等卒	石田 太四郎
同	砲兵一等卒	堀 初右衛門
同	元砲兵輸卒	元井 與三吉
同	元砲兵一等卒	松井 駒藏
同	砲兵輸卒	玉木 隆太郎
同	砲兵一等卒勲八等	中島 菊松
同	砲兵輸卒	長川 鐵作
同	元砲兵二等卒	藤森 正信
同	砲兵輸卒	岡本 三松
同	元輜重輸卒	下手 松右衛門
同	元砲兵二等卒	中村 初平
同	砲兵二等卒	音田 豐次郎
同	同	増田 與三郎
同	砲兵輸卒	淺川 鹿藏
同	同	前田 兼藏
同	同	宮部 要藏
同	同	北野 甚作
同	同	伊戸川 與十郎
同	同	島田 末次郎
同	同	山本 角右工門
同	同	高岡 甚作
同	同	上島 長松
同	同	鈴木 磯七
同	同	福井 清一郎
同	同	中井 助一
同	同	中村 利吉
同	同	五十嵐 金作
同	同	道家 勇吉
同	同	大野 九八
同	同	佐藤 爲吉
同	同	天池 利兵衛
同	同	安江 清八
同	同	小西 喜知
同	同	淺野 重吉
同	同	佐藤 兼藏
同	同	米野 庄作
同	同	田中 仙吉
同	同	鳳田 保治
同	同	坂下 長松
同	同	山下 力藏
同	同	角野 長造
同	同	山田 八十八
同	同	田中 吉藏
同	同	上ノ山 三吉
同	同	釣 友次郎
同	同	松本 豐藏
同	同	林 豐造
同	同	粟原 藤作
同	同	本郷 岩太郎
同	同	川邊 吉左
同	同	丹羽 孝治郎
同	同	藤澤 與作
同	同	菊山 藤盛
同	同	本多 直信
同	同	田口 惣八
同	同	大橋 與市
同	同	大野 金助
同	同	古川 弥六
同	同	宮脇 金藏
同	同	長瀬 金松
同	同	加藤 常右工門
同	同	野村 政右工門
同	同	澁谷 惣彌
同	同	荒井 金吾
同	同	小川 治作
同	同	野口 惣太郎
同	同	三守 豐次郎
同	同	岡田 忠太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
同	同	國谷 要悦
同	同	村瀬 鐵五郎
同	同	野田 俊一
同	同	小川 三八
同	同	日置 辛一
同	同	田之上 喜右工門
同	同	金井 甚四郎
同	同	至堂 竹吉
同	同	上池 才次郎
同	同	酒井 與三平
同	同	岡部 久次郎
同	同	山田 初右工門
同	同	多胡 久作
同	同	松田 金松
同	同	山田 拾次郎
同	同	武隈 彦右工門
同	同	神保 繁藏
同	同	川合 兵六
同	同	大前 藤吉
同	同	瀧中 清太郎
同	同	小川 粂吉
同	同	小林 仁作
同	同	深尾 利兵衛
同	同	萩野 宇右工門
同	同	高橋 松五郎
同	同	三島 莊之助
同	同	坂下 寄松
同	同	桑原 金七
同	同	友保 周藏
同	同	市原 仙之助
同	同	中村 兼助
同	同	竹内 弥左工門
同	同	佐々木 淺次郎
同	同	稲葉 作次郎
同	同	鍋島 佐一郎
同	同	津田 仁太郎
同	同	山田 喜三郎
同	同	倉田 仁太郎
同	同	牧出 祐造
同	同	松井 宗太郎
同	同	錦木 宗太郎
同	同	川岸 與吉
同	同	藤崎 幸一郎
同	元輜重輸卒	林 榮作
同	元砲兵二等卒	吉澤 甚作
同	元輜重輸卒	宮本 七左工門
五〇	輜重兵上等兵	稲元 新之助
三五	同	兒成 又喜
五〇	輜重輸卒	中島 宇之助
三五	同	中津 有藏
四〇	同	松崎 辰藏
三五	輜重兵一等卒	鳥飼 清治
同	元輜重輸卒	宮崎 傳太
同	輜重兵一等卒	建部 作助
同	輜重輸卒	妹尾 仲太郎
同	同	田中 松次
同	元輜重輸卒	林田 作次
同	輜重輸卒	光永 玄擲
同	同	田中 仁三郎
五〇	同	馬場 金之助
三五	同	高濱 三郎
同	同	田上 直二郎
同	同	吉良 巳藏
同	同	白島 直矢
同	同	西村 末喜
同	元輜重輸卒	若松 森太郎
同	同	内山 長次郎
同	同	山本 新三郎
同	同	藤田 三次郎
同	同	蓮尾 七造
同	元騎兵一等卒	大山 定之助
同	元輜重兵二等卒	關戸 淺太郎
同	輜重輸卒	原 円藏
同	輜重兵二等卒	池田 巳藏
同	同	湯田 邦岐
同	輜重輸卒	廣地 龍助
同	同	三木 讓吉
同	輜重兵二等卒	緒方 卯助
同	輜重輸卒	德永 一八
同	同	高崎 鉄藏
同	同	松尾 郡一
同	輜重兵一等卒	前田 巳之助
同	輜重輸卒	宮本 久吾
同	同	阿向 良市
同	同	田中 豐記
同	同	諸永 仁三郎
同	同	宮本 平藏
同	同	成松 喜之丞
同	同	益島 末吉
同	同	兒玉 傳藏
同	騎兵一等卒	佐々木 末吉
同	元輜重輸卒	小野 友知
同	輜重兵二等卒	村上 又雄
同	輜重輸卒	橋本 宅助
同	同	鈴田 彌造
同	同	瀬戸 彌之助
同	同	相良 兩平
同	同	福島 千太郎
同	同	藤川 辛吉
同	元輜重輸卒	緒方 壽太郎
同	同	大迫 榮之丞
同	輜重輸卒	岡田 磐八
同	同	村山 保
同	輜重兵伍長	富吉 次郎助
同	輜重輸卒	溝口 十太郎
同	同	出原 佐次郎
同	同	岩下 嘉四郎
同	同	市成 四衛門
同	元輜重輸卒	白濱 濱悦
同	輜重輸卒	下宮路 仁助
同	同	楢野 歐太郎
同	同	東 常吉
同	同	大窪 與吉
同	元輜重兵一等卒	田畑 傳作
同	輜重輸卒	高島 睦吉
同	輜重兵二等卒	田賀 勇四郎
同	輜重輸卒	河野 清治
同	同	池田 茂一
同	同	指宿 清次
同	同	若林 貞彦
同	元輜重輸卒	中西 金次郎
同	輜重輸卒	松下 末吉
同	元輜重輸卒	松村 二左衛門
同	同	前田 作次
同	同	新屋敷 弥七
同	元輜重輸卒	下村 八郎
同	輜重輸卒	島田 岩太郎
同	同	田中 末熊
同	同	田中 榮二
同	元輜重輸卒	川畑 小市
同	輜重輸卒	片ノ坂 亀助
同	同	鍛治屋 金太郎
同	元輜重輸卒	馬田 市太郎
同	輜重輸卒	永田 喜三松
同	同	佐々木 與平六
同	元輜重輸卒	坂上 三四郎
同	同	尾込 三太市
同	同	岡村 巳之作
同	同	上野 新次郎
同	輜重輸卒	牛島 茂八
同	元輜重輸卒	郷田 齊德
同	元輜重輸卒	森田 林次郎
同	輜重輸卒	樋田 勝平
同	同	藤下 勝藏
同	元輜重輸卒	廣屋 清吉
同	輜重輸卒	濱田 賤助
同	同	安藤 榮藏
同	同	有川 彦市
同	元輜重輸卒	木場田 武六
同	同	池田 清次郎
同	元輜重輸卒	澤田 庫八
同	同	野田 弥七

敍勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
瑞八等	七〇	一等縫工	杉本 嘉平
同	同	同	村木 啓太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
三五	看護手	橋口 佐市

敍勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
瑞七等	一二〇	歩兵軍曹	友野 十太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
八〇	元歩兵軍曹	橋元 三枝
同	砲兵一等卒	小林 廣吉
四〇	歩兵一等卒	大津 今朝次郎
同	同	高橋 歳次郎
三五	歩兵二等卒	丸山 [illegible]
同	工兵一等卒	矢越 正助
同	工兵二等卒	古城 末次
同	同	吉松 忠雅
同	同	高島 [illegible]
同	砲兵輸卒	阿部 佐吉
同	砲兵二等卒	田中 [illegible]
同	同	前田 今朝一
同	歩兵二等卒	大西 今吉
同	同	木村 富士夫

敍功級	賜勲等	陸軍官等位勲功爵	氏名
七級（年金一〇〇）	旭八等	歩兵上等兵	鈴木 新兵衛

敍勲等	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
旭八等	二〇〇	歩兵一等卒	野村 [illegible]
同	一〇〇	歩兵二等卒	奥山 [illegible]
同	同	同	青木 [illegible]
同	同	同	永田 [illegible]
旭七等	一五〇	輜重輸卒	山田 [illegible]

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
三五	輜重輸卒	松原 [illegible]
同	同	佐藤 [illegible]
同	同	山本 [illegible]
同	同	渡邊 [illegible]
同	同	北村 [illegible]
同	同	河本 [illegible]
同	同	荒川 [illegible]
同	同	野口 [illegible]
同	同	高岡 [illegible]
同	同	中佐 [illegible]
同	同	荒木 [illegible]
同	同	武原 [illegible]
同	同	北川 岩松

敍功級	賜勲等	陸軍官等位勲功爵	氏名
七級（年金一〇〇）	旭八等	歩兵上等兵	前田 三郎

第7142号　叙任及辞令

第7142号 叙任及辞令

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	一五〇	歩兵一等卒	宇野	勝喜
同	同	元歩兵一等卒	村田	安太郎
同	同	歩兵二等卒	那須	安右衛門
同	同	砲兵上等兵	下町	安次郎
同	一〇〇	歩兵二等卒	水谷	庄助
同	八〇	輜重輸卒	徳永	審次郎
同	同	砲兵輸卒	島	弥三郎
同	同	歩兵二等卒	立島	嘉認
同	同	輜重兵一等卒	小野澤	次郎右工門
同	同	工兵一等卒	瀧田	善之助
瑞八等	同	歩兵上等兵	片山	林三郎
同	七〇	輜重輸卒	長谷川	鶴吉

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	輜重輸卒	田中	亀太郎
同	同	和田	末松
三五	元砲兵上等兵	松島	徳三郎
同	同	奥田	捨之丞
同	元輜重輸卒	横田	市松
同	砲兵一等卒	河村	正之助

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	歩兵一等卒	清水	戌松
同	一五〇	同	北野	末吉
同	八〇	同	福士	茂作
瑞八等	同	同	須田	賤吉
同	同	歩兵伍長	岡田	百藏
同	七〇	歩兵上等兵	谷口	岩榮
同	同	歩兵二等卒	原	武男
同	同	歩兵一等卒	釘木	市袈裟
瑞七等	同	歩兵一等卒勲八等	和田	小吉
同	同	同	東	八郎
瑞八等	同	一等鍛工	三浦	源作
同	同	歩兵上等兵	脇田	好五郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	歩兵一等卒	樋口	惣次郎
同	歩兵二等卒	岩切	信七
同	輜重輸卒	辻	惣太郎
同	工兵一等卒	川原	門次郎
三五	歩兵二等卒	藤崎	政吉
同	騎兵一等卒	鳥飼	矢三太
同	同	原	峯吉
同	同	鈴木	義彦
同	騎兵二等卒	沼崎	常太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
一〇〇	三等主計正八位	齋藤	善次郎

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
瑞七等	二三〇	二等計手	佐藤	義男
瑞八等	七〇	歩兵上等兵	鈴木	四代
同	同	歩兵一等卒	諏訪	兵作

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
八〇	三等計手	森	嘉一郎
五〇	歩兵一等卒	岡村	新作
同	工兵上等兵	定政	卯之吉
同	歩兵一等卒	佐藤	宥還
三五	歩兵二等卒	京極	康次
同	工兵二等卒	淺井	孝平
同	歩兵一等卒	小林	喜惣治
同	輜重輸卒	出端	初総
同	同	島田	昇
同	同	石坂	七郎
同	元一等鞍工	川畑	鷲由松
同	二等鍛工	小林	佐太郎

叙 功級	賜 勲等	陸軍官等位勲功爵	氏	名
七級（年金一〇〇）	旭八等	歩兵二等卒	上田	萬藏
同	同	歩兵上等兵	合田	喜太郎
同	旭七等	歩兵軍曹	葦脇	協三郎
同	旭八等	元歩兵上等兵	中平	政太郎

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	歩兵一等卒	三嶽	豐春
旭七等	一八〇	歩兵特務曹長	村田	盛雄
瑞八等	八〇	歩兵一等卒	相原	馬太郎
旭八等	二〇〇	元歩兵二等卒	池添	米惠
同	同	歩兵二等卒	山内	政次郎
同	同	歩兵一等卒	清家	重義
旭七等	同	歩兵上等兵勲八等	東	彌吉
同	同	元歩兵一等卒勲八等	越智	與惣太
旭八等	一五〇	歩兵一等卒	黒石	今造
同	同	同	門脇	貞吉
同	同	同	喜多	善藏
瑞八等	八〇	同	藤谷	嘉太郎
旭八等	一〇〇	同	加茂	通太郎
同	同	同	田窪	義重

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	一五〇	砲兵一等卒	寶田	仙次
同	一〇〇	同	中野	福太郎
同	同	砲兵輸卒	武永	源治郎
同	同	元歩兵一等卒	千葉	良右工門
旭七等	一五〇	歩兵曹長	牧野	久吉
瑞八等	七〇	砲兵一等卒	小西	和記總

叙 功級	賜 勲等	陸軍官等位勲功爵	氏	名
六級（年金二〇〇）	旭八等	騎兵一等卒	岡本	鶴吉
七級（年金一〇〇）	同	騎兵上等兵	平峰	貢彦
同	旭七等	騎兵特務曹長勲八等	松岡	昌助

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	歩兵一等卒	江口	義重
同	同	同	南園	彦助
同	一〇〇	同	池上	熊次郎
同	同	同	吉田	代次郎
旭七等	一八〇	一等看護長	高梨	鉄之助
旭八等	八〇	歩兵一等卒	西本	民次郎
同	同	歩兵二等卒	田口	直次
瑞八等	七〇	砲兵輸卒	政井	駒吉
同		工兵一等卒	竹内	証太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	砲兵上等兵	藤井	卯太郎
同	歩兵一等卒	田原	磯一郎
三五	砲兵一等卒	中村	衞三郎
同	歩兵一等卒	森岡	増一
同	同	横田	貞助
同	同	小田	清太
同	同	成瀬	藏之助
同	砲兵二等卒	竹下	善市

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭五等	四〇〇	一等主計正七位勲六等	今井	四郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
一〇〇	三等獸醫正八位	土屋	省三

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	歩兵一等卒	藤永	百藏
同	一五〇	三等計手	八塚	治助
同	八〇	砲兵一等卒	藤本	庄太郎
瑞八等	七〇	歩兵上等兵	椎橋	喜三郎
同	同	歩兵一等卒	花岡	六作
同	同	元歩兵一等卒	小川	長八
同		砲兵一等卒	島谷	稲松

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	砲兵上等兵	篠原	駒太郎
同	砲兵一等卒	清水	攝二
同	同	丹羽	光太郎
三五	元砲兵一等卒	加藤	玉次郎
同	砲兵一等卒	金田	德治郎

叙 功級	賜 勲等	陸軍官等位勲功爵	氏	名
七級（年金一〇〇）	旭八等	元砲兵一等卒	市田	傳治郎

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	歩兵上等兵	高橋	源治
同	同	歩兵一等卒	下山田	留之助
同	一五〇	同	吉本	與吉
同	一〇〇	歩兵二等卒	前田	宗五郎
同	同	同	田中	吉太郎
同	八〇	歩兵一等卒	福永	只市
瑞八等		砲兵一等卒	清水	太重郎
瑞七等		歩兵軍曹	漆間	辰次郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	歩兵一等卒	和泉	豐吉
同	同	天野	銀平
三五	同	坂元	鼎
同	歩兵二等卒	菅井	郁廣
同	砲兵上等兵	小林	善作
同	二等鍛工	宇野	晉吾

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	歩兵一等卒	山口	源九郎
同	同	工兵一等卒	水本	德太郎
同	一五〇	歩兵一等卒	古井	興平
旭七等	二五〇	二等計手	高橋	鐵三郎
旭八等	一〇〇	工兵一等卒	細水	久馬
同	八〇	歩兵一等卒	濱添	佳太郎
同	同	同	今里	宣作
同	同	輜重輸卒	佐伯	伊勢吉
瑞八等	同	同	磯部	休右衛門

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	輜重輸卒	高野	柳太郎
同	歩兵上等兵	尾崎	良作
三五	歩兵二等卒	桑原	柳松
同	工兵二等卒	後藤	友太郎
同	工兵一等卒	甲斐	代四郎
同	看護手	尾辻	計一

叙 功級	賜 勲等	陸軍官等位勲功爵	氏	名
七級（年金一〇〇）	旭八等	歩兵一等卒	荒木	勇太郎
同	同	元歩兵上等兵	大和田	登

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	歩兵一等卒	仲野	平次郎
同	一五〇	同	伊藤	五良
瑞八等	七〇	元輜重輸卒	内田	沖造

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
三五	騎兵上等兵	藤枝	造
同	同	前田	長市郎
同	同	大石	艮
同	同	半杭	啓太郎
同	同	松村	兵部
同	同	大谷	圭助
同	同	宮永	音作
同	同	石野	好彦
同	同	木村	辰彦

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
同	同	寺島	錄
同	同	麻原	由次郎
同	同	依田	勝
同	同	中野	慶三
同	同	林	善吉
同	同	降矢	美之
同	同	歐山	國藏
同	同	木龍	六助
同	騎兵一等卒	秋山	儉治郎
同	同	小此木	宗太郎
同	同	川原	平八
同	同	橋爪	太郎
同	同	本間	松之丈
同	同	榎本	清能
同	同	菊地	利三郎
同	同	佐藤	源一郎
同	同	畑田	正名

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	一五〇	歩兵上等兵	増永	由松
同	同	歩兵二等卒	森	辨吉
瑞八等	八〇	騎兵上等兵	一安	健三郎
同	同	歩兵一等卒	中野	貞藏
同	同	歩兵二等卒	宮田	早藏

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
三五	砲兵一等卒	西村	勝太郎
同	砲兵輸卒	泉	德藏

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭八等	二〇〇	歩兵二等卒	大谷	光治
同	一〇〇	歩兵一等卒	中山	今朝一
瑞七等	一五〇	歩兵伍長	田中	滋造
瑞八等	七〇	歩兵上等兵	大橋	博道
同	同	同	奥寺	春海
同	同	輜重輸卒	太田	惣太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	歩兵二等卒	太田	治太郎
同	歩兵上等兵勲八等	下田	新市
三五	歩兵二等卒	安達	豐一郎
同	同	瀧川	彌一
同	同	安田	殿市
同	元歩兵一等卒	石原	宇三郎
同	元歩兵上等兵	内藤	眞吉
同	一等鍛工	大沼	喜八
同	歩兵一等卒	渡邊	熊次
同	歩兵二等卒	小林	彌之助
同	同	疋田	源七

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
三五	騎兵上等兵	笹原	保吉
同	騎兵一等卒	齋藤	進
同	同	山崎	隆英
同	同	金子	正太郎
同	同	小勝	勇吉
同	同	荒井	武次郎
同	同	清水	豐治
同	同	水野	六郎
同	同	齋藤	昌順
八〇	騎兵伍長	中原	調平
同	同	藤澤	新五郎
同	騎兵一等卒	森川	一
同	同	北島	又忠
同	同	設樂	貞吉
同	同	小林	又治
同	元騎兵二等卒	佐々木	校治
同	騎兵一等卒	關口	周造
同	同	今井	忠作
同	騎兵上等兵	岩本	定身
同	騎兵一等卒	小出	音吉
同	同	岡村	文三
同	二等鞍工	谷内田	竹藏
同	元騎兵二等卒	本間	軍治
同	騎兵一等卒	金子	慥
同	同	渡邊	清作
同	騎兵上等兵	菊地	松右衛門
同	騎兵一等卒	鈴木	彌次
同	騎兵上等兵	五ノ井	喜三郎
同	騎兵一等卒	鈴木	忠治郎
同	同	村上	秀俊
同	同	黒澤	正治郎
同	同	樋口	德三郎
同	同	福島	善八
同	同	上野	眞傳
同	同	古木	郁太郎
同	騎兵上等兵	關塚	豐太郎
同	二等鞍工	田中	德太郎
同	騎兵一等卒	山本	彦太郎
同	同	長谷川	長次郎
同	同	星野	閑太郎
同	同	鈴木	馬治
同	同	横木	要平
同	同	伊佐	滑次郎
同	元騎兵二等卒	菅原	五直
同	同	星	留藏
同	騎兵二等卒	鈴木	常太郎
同	騎兵一等卒	小島	芳
同	同	松田	靜四郎

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭七等	二五〇	砲兵一等鍛工長勲八等	櫻井	羅太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	歩兵一等卒	佐藤	政次郎
同	一等鞍工	稲木	磯八
同	歩兵一等卒勲八等	片岡	治助
同	歩兵上等兵	垣見	弥六
同	歩兵一等卒	加藤	濱二
同	歩兵上等兵	竹内	藤七
同	同	淺井	録次郎
同	歩兵二等卒	梁田	春吉
同	歩兵一等卒	大岩	豐太郎
同	同	小川	銀次郎
同	同	丹羽	幸太郎
同	歩兵二等卒	川合	常三郎
同	歩兵一等卒	篠田	長太郎
同	同	松永	又五郎
同	同	安井	鐵造
同	歩兵上等兵	豐岡	源吉
同	歩兵一等卒	森	清太郎
三五	歩兵二等卒	龍	華寛
同	同	堀田	亀次郎
同	歩兵一等卒	加藤	吉次郎
同	歩兵上等兵	大山	平三郎
同	元歩兵一等卒	西谷	伍市
同	歩兵一等卒	河村	兼吉
同	歩兵二等卒	中村	圭一
同	同	梶浦	杢次郎
同	歩兵一等卒	山本	千吉
同	歩兵二等卒	松岡	音吉
同	同	坪井	了法
同	同	山内	豐五郎
同	同	中山	銅次郎
同	同	野田	爲三郎
同	歩兵一等卒	小川	泰次郎
同	歩兵二等卒	川瀬	郷次郎
同	同	加藤	久兵衛
同	元歩兵一等卒	村口	岩吉
同	歩兵二等卒	伊藤	米吉

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
瑞八等	七〇	歩兵上等兵	大津	彦三郎
同	同	同	木村	勝太郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	歩兵一等卒	楢	秩
同	歩兵上等兵	井上	清純
八〇	歩兵伍長勲八等	後藤	嘉市
五〇	歩兵一等卒	村田	繁一
同	同	小村	佐次郎
同	同	後藤	藏八
同	歩兵二等卒	岸	政右工門
同	同	中川	孫市
三五	同	渡部	發太郎
同	同	古市	米太郎

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭七等	二五〇	憲兵伍長	木村	恒藏
同	同	憲兵軍曹	岩城	與七郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	歩兵一等卒	石橋	末二郎
同	同	栂	利三郎
同	歩兵二等卒	難波	壽次郎

叙 勲等	賜 賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
旭七等	二〇〇	歩兵上等兵勲八等	柳谷	國太郎
瑞八等	八〇	歩兵一等卒	大西	吉松
同	同	砲兵輸卒	林	直治郎
同	七〇	歩兵上等兵	土肥	作藏
同	同	砲兵一等卒	粉川	喜三郎
同	同	輜重輸卒	大森	民吉

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	輜重輸卒	足利	松之助
同	同	西見	卯之助
同	砲兵輸卒	住谷	米太郎
三五	砲兵二等卒	中島	與一郎

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏	名
五〇	歩兵一等卒	鈴木	音吉
同	歩兵上等兵	成瀬	傳左工門
三五	元歩兵二等卒	中村	竹三郎
同	歩兵二等卒	安藤	松三郎
同	元歩兵一等卒	櫻田	春藏
同	歩兵二等卒	杉山	桑三郎
五〇	看護手	岡田	秋三郎
三五	輜重輸卒	伊東	參二
同	同	鈴木	金吾
同	同	古田	龍次郎
同	同	谷澤	一重
同	同	都築	敬之助
同	同	杉山	房吉
八〇	歩兵伍長	近藤	秀三郎
三五	歩兵一等卒	伊藤	平吉
同	同	飯谷	彦三郎
五〇	工兵二等卒	殿島	長太郎
三五	工兵一等卒	中島	清藏
同	同	牛島	安太郎
同	同	元松	初藏
同	同	井手	吉次郎
同	工兵二等卒	田添	新藏
同	同	成田	榮次
五〇	同	豐村	照次郎
三五	同	藤井	彌戸
同	一等鞍工	木村	直次郎
同	輜重輸卒	中田	榮太郎
同	輜重兵一等卒	松木	岩右工門
	輜重輸卒	加藤	太一郎

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
三五	輜重輸卒	大橋 民之助
同	同	細江 彌市
同	同	池上 厚一郎
同	同	渡邊 幾八
同	同	永井 幹
同	同	比尾野 梅吉
同	同	水野 卯市
同	同	原田 藤藏
同	元輜重輸卒	深井 三郎
同	輜重輸卒	川辻 喜之助
同	同	西村 駒吉
同	同	上田 幸次郎
同	同	矢崎 八助
同	同	池田 榮五郎
同	同	柏樹 榮作
同	同	池生 爲次郎
同	同	仲井 廣
同	同	高瀬 嘉市郎
同	同	淺田 小三郎
同	輜重兵一等卒	川口 仁三郎
同	輜重輸卒	高柴 高松
同	同	左登 柳吉
同	同	北村 太三郎
同	同	二山 太郎
同	同	馬淵 壽太郎
同	同	廣見 幸太郎
同	同	國井 鉄松
同	同	阿戸 安太郎
同	輜重兵一等卒	松倉 源作
同	輜重輸卒	林 万木夫
同	同	矢野 市三郎
同	同	中田 常吉
同	同	中澤 榮五郎
同	同	日比野 採藏
同	元輜重兵一等卒	鍛 正次郎
同	輜重輸卒	坂井 仁三郎

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
旭八等	一五〇	歩兵一等卒	金丸 由平
同	同	同	千代森 正之助
旭七等	一八〇	元歩兵伍長	山本 惣作
旭八等	一〇〇	砲兵輸卒	久保 熊市
同	八〇	歩兵一等卒	生田 佐五郎
同	同	輜重輸卒	中辻 宇三郎
瑞八等	同	同	岩崎 辰次郎
同	同	歩兵一等卒	岩崎 慶次郎

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
五〇	歩兵一等卒	征矢 喜太郎
同	輜重輸卒	渡邊 梅太郎
同	同	鹽野 直吉
同	同	松村 多三郎
同	歩兵二等卒	有藤 東藏
同	元歩兵一等卒	中南 房千代
同	歩兵一等卒	中尾 寅楠
三五	歩兵二等卒	桑田 清太郎

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
瑞八等	七〇	歩兵上等兵	伊丹 滉之助
瑞七等	一五〇	歩兵軍曹	平野 楢之助

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
五〇	歩兵上等兵	近藤 六郎
三五	歩兵二等卒	山本 正一郎
同	歩兵一等卒	斧田 慶治郎
同	同	大森 友次郎
同	歩兵二等卒	富士 岩治郎
同	同	木下 兼松
六〇	歩兵伍長	小林 龜太郎
三五	歩兵一等卒	鹽崎 治三郎
同	同	金綱 定治郎
同	同	神谷 福三郎
同	同	坂本 和助
同	同	岡崎 市太郎
同	同	山田 鶴松
同	同	喜連 德松
同	歩兵二等卒	月田 文三郎
同	同	野口 袒松
同	同	岡本 安松

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
一八〇	歩兵軍曹勳七等	辻 榮吉

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
瑞六等	二〇〇	通譯	渡邊 理惠
同	同	同	川角 忠雄

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
瑞七等			鍋島 綱三
同			山中 勸

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
六〇		關川 忠治

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
三五		佛円 彌太郎

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
旭七等	二五〇	陸地測量手	飯田 留吉
旭八等	一五〇	雇員	增田 藤治郎
同	八〇	同	兼松 正吉
同	同	同	清水 絜
同	同	同	村尾 兵藏
瑞七等	一二〇	同	田中 太吉

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
三五		中村 善次郎
六〇	雇員	近藤 留十

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
三五		小林 常吉
同		市川 龜吉

敍 勳等	賜 賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
旭八等	一〇〇		大久保 豐彦
旭七等	一五〇	雇員	田原 乙次
瑞八等	七〇		村井 嘉一
同	同	元通譯	中島 勇一

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
三五		篠崎 德太郎
同		富岡 辰吉

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
八〇		伊島 清一
同		岩下 孫一
同		竹内 順吉
六〇	雇員	高宮 幸三郎
同	同	岩田 生二
同	同	中西 萬壽雄
三五	看病人	本廣 伴六
同	同	中田 傳次郎
同	同	土谷 龜太郎
同	同	保永 保太郎

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
五〇		齋藤 伴一
同		高坂 鵜吉
同		川端 幸吉
同		川上 宇之吉
同		井上 錄次郎
同		石井 鐵次
同		宇野 捨造
同		田中 音藏
三五		龍崎 彌吉
同		加瀬 昇
同		松本 圓藏
同		渡邊 櫟平
同		笹川 仁久
同		湯本 源藏
同		小山 喜八
同		渡邊 太次
同		坂本 安次郎
同		生出 平藏
同		木村 幸助
同		松井 信太郎
同		川田 辰次
同		高田 常次郎
同		上原 牧太郎
同		本藤 仁作
同		山家 大吉
同		塚田 平三郎
同		江澤 龜太郎
同		佐藤 林兵衛
同		中村 庫信
同		弓座 長太郎
同		鈴木 積五郎
同		星野 貞吉
同		鰐幡 留五郎
同		大山 太十郎
同		馬渡 竹
同		坂口 喜久治
同		青木 正吉
同		清水 鶴太郎
同		渡邊 表甫
同		田村 榮作
同		石井 寅吉
同		安達 文次
同		牛田 嘉一郎
同		佐藤 定之助
同		楢原 勝次
同		三崎 助松
同		諏訪 竹次郎
同		森 吉藏
同		青木 三藏
五〇		竹下 與市
同		松森 太三郎
同		大山 運平

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
三五		安 八十八
同		中庭 七郎

官報第七千百四十二號附錄

明治四十年四月二十四日

○敍任及辭令

本欄敍賜ノ項ニ「七級（年金一〇〇）旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金鵄勳章並ニ年金百圓及勳八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勳八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ篇帙浩瀚ニ涉ルヲ以テ其要略ノミヲ揭ク其他皆此例ニ傚フ

陸海軍軍人軍屬ニシテ前項ノ賞與ヲ受ケタル者ハ總テ明治三十七八年從軍記章ヲ授與セラル

○明治三十九年四月一日

賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
五〇	看病人	島野 七三郎
同	同	長 太四郎
同	同	加藤 作次郎
同	同	中村 仁三郎
三五	同	山田 吉三郎
同	同	淺 松太郎

正誤

（括弧內右方ハ年月日、左方ハ敍任及辭令欄ノ頁數ナリ）

正	誤
旭七等 勳八等ヲ脫ス（官等）	旭八等 內田 三郎（三九、五、九 一九、三）
歩兵上等兵	同（官等） 三谷 耀平（三九、九、一四 三八、四）
能多 長一	能田 長一（三九、九、一四 二〇、一）
土田 說治	土田 說次（三九、九、一四 三四、二）
上等兵	一等卒 松江 勘太郎（三九、九、一四 二七、二）
楢田 佐治郎	楢田 佐次郎（三九、九、一四 二〇、二）
蒲生 嘉藤治	蒲生 嘉藤次（三九、九、一四 三〇、四）
一等卒	二等卒 鶴身 好太郎（三九、九、一四 二八、二）
松元 庄太郎	松本 庄太郎（三九、九、一四 二六、二）
菅原 一雄	管原 一雄（三九、九、一四 二六、二）
小西 貞一	小西 貞市（三九、九、一四 三四、一）
中井 宇次郎	中川 宇次郎（三九、九、一四 二三、四）
矢野 宗治	矢野 宗次（三九、九、一四 三八、四）
安部 善吉	阿部 善吉（三九、九、一四 二一、三）
三島 源治郎	三島 源次郎（三九、九、一四 一八、三）
大河內 彌市	大川內 彌治（三九、九、一四 三四、三）
近井 彌平治	近井 彌平次（三九、九、一四 一六、一）
伊藤 治郎吉	伊藤 次郎吉（三九、九、一四 二九、三）
東原 彌一	東原 彌市（三九、九、一四 一六、四）
一等卒	二等卒 室津 勘太郎（三九、九、一四 一八、四）
歩兵一等卒	同（官等） 近藤 政吉（三九、九、一四 三四、四）
一等卒	上等兵 片山 房一（三九、九、一四 三八、一）
軍曹	伍長 金蔚 利八（三九、九、一四 二六、四）
佐藤 嘉治郎	佐藤 嘉次郎（三九、九、一四 九、一）
上等兵	一等卒 千葉 熊太郎（三九、九、一四 二一、三）
若松 好太郎	若松 芳太郎（三九、九、一四 三四、四）
綾野 平次	綾野 次平（三九、九、一四 三四、四）
白杵 央一	白木 央一（三九、九、一四 二七、一）
宮武 安次	宮武 保次（三九、九、一四 三五、四）
西尾 米治郎	西尾 米次郎（三九、九、一四 二七、四）
鈴木 國三郎	鈴木 明三郎（三九、九、一四 三〇、二）
十川 熊吉	十河 熊吉（三九、九、一四 一九、三）
曾我部 文吾	曾我部 文吉（三九、九、一四 三四、一）
太田 卯吉	太田 宇吉（三九、九、一四 三〇、二）
武下 伊太郎	竹下 伊太郎（三九、九、一四 二四、二）
安部 衛三郎	阿部 衛三郎（三九、九、一四 二八、四）
山中 磯之助	山中 礒之助（三九、九、一四 一八、四）
一等卒	二等卒 谷本 小四郎（三九、九、一四 二四、三）
岡上 萬藏	岡上 萬造（三九、九、一四 三〇、二）
一等卒	二等卒 川原 稷次（三九、九、一四 二一、二）
上等兵	一等卒 重城 元三郎（三九、九、一四 二三、三）
森宗 德治	森宗 德次（三九、九、一四 一八、四）
一等卒	二等卒 横山 增太（三九、九、一四 三三、三）
山下 恒一	山下 恒一（三九、九、一四 三八、一）
香川 惠喜治	香川 惠喜次（三九、九、一四 三八、一）
一等卒	二等卒 古川 傳（三九、九、一四 三九、一）
一等卒	二等卒 細川 梅太（三九、九、一四 二八、三）
元ヲ脫ス（官等）	中原 雄平（三九、九、一四 一七、四）
軍曹	伍長 水野 松太郎（三九、九、一四 一八、二）
安井 虎吉	安井 寅吉（三九、九、一四 二六、四）
豐田 嘉治郎	豐田 嘉次郎（三九、九、一四 三三、三）
大西 富松	大西 留松（三九、九、一四 三四、一）
一等卒 高島 德治郎	二等卒 高島 德次郎（三九、九、一四 三四、四）
一等卒 岡 虎吉	二等卒 岡 虎吉（三九、九、一四 三五、二）
片岡 原太郎	片岡 源太郎（三九、九、一四 一七、二）
松岡 津賀治	松岡 津賀次（三九、九、一四 三三、一）
鶴身 淺之助	鶴見 淺之助（三九、九、一四 二一、三）
佐藤 喜治郎	佐藤 喜次郎（三九、九、一四 一七、二）
高橋 萬治	高橋 萬次（三九、九、一四 二四、二）
福島 利太郎	福島 利三郎（三九、九、一四 三三、二）
境 宇市	堤 宇一（三九、九、一四 三二、四）
芝 駒治郎	芝 駒次郎（三九、九、一四 二六、一）
中邑 勝太郎	中村 勝太郎（三九、九、一四 一七、三）
近藤 菊治	近藤 菊次（三九、九、一二 二六、三）
釜元 鶴藏	釜元 鶴造（三九、九、一二 三三、三）
一等卒	二等卒 片岡 政市（三九、九、一二 二七、四）
中塚 久五郎	中塚 久太郎（[illegible]）
河崎 普平	川崎 普平（[illegible]）
阿部 勘太郎	安部 勘太郎（[illegible]）
中川 利平次	中川 利平太（[illegible]）
前田 浦太郎	前田 德太郎（[illegible]）
香川 一則	香川 一郎（[illegible]）
歩兵一等卒	同（官等） 福崎 市太郎（[illegible]）
大喜多 龍治	大喜山 龍藏（[illegible]）
歩兵一等卒	輜重輸卒 竹內 知太郎（[illegible]）
下地 幸次郎	下池 幸次郎（[illegible]）
土居 瀧次郎	土井 瀧次郎（[illegible]）
岸上 茂平	岸山 茂平（[illegible]）
植田 十滿助	植田 千滿助（[illegible]）
渡邊 金藏	渡邊 金造（[illegible]）
鎌倉 藏吉	鎌倉 藏吉（[illegible]）
上等兵	一等卒 平田 萬助（[illegible]）
勳八等ヲ脫ス（官等）	土井 勝市（[illegible]）
楼垣 周藏	柳垣 周藏（[illegible]）
紫和 德太郎	柴和 德太郎（[illegible]）
西山 千嘉次	西山 千賀次（[illegible]）
高島 新佐	高知 新佐（[illegible]）
三谷 春治	三谷 春次（[illegible]）
元ヲ脫ス（官等）	小瀬 鍵次（[illegible]）
合田 久治	合田 久吉（[illegible]）
和泉 嘉太郎	泉 嘉太郎（[illegible]）
一等卒	二等卒 瀧川 吉太郎（[illegible]）
軍曹	伍長 壽見 佳三郎（[illegible]）
里坊 次太郎	里坊 治太郎（[illegible]）
齋藤 紫造	齋藤 繁太（[illegible]）

第7142号　敍任及辭令

管○原　勝治　菅、原　勝治（三九、九、二二　二一、二）
一○等卒　二、等卒　栗原　傳藏（三九、九、二二　二六、一）
上○等兵○　一、等卒、遠山　梅市（三九、九、二二　二五、四）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）明地　安造（三九、九、二二　二九、二）
鶴身○熊太郎　鶴見、熊太郎（三九、九、二二　二二、三）
一○等卒　二、等卒　山地菊太郎（三九、九、二二　二六、四）
一○等卒　二、等卒　立岩新太郎（三九、九、二二　二六、三）
河○上　鶴松　川、上　鶴松（三九、九、二二　二五、四）
一○等卒○　上、等兵、川淵　庄吉（三九、九、二二　二七、一）
二○等卒　同、（官等ノ項）行成　政市（三九、九、二二　二六、四）
山口新三○郎　山口新太、郎（三九、九、二二　三〇、四）
谷　虎八○　谷　虎吉、（三九、九、二二　二四、一）
山内官○三郎　山内菅、三郎（三九、九、二二　二九、三）
上○等兵○　一、等卒、森江　辰太（三九、九、二二　一九、三）
上○等兵○　一、等卒、篠原　宮次（三九、九、二二　一九、三）
井○場崎岩市　伊、場崎岩市（三九、九、二二　二二、二）
高木大○三郎　高木太、三郎（三九、九、二二　二八、三）
總永　竹一○　總永　竹市、（三九、九、二二　二七、一）
小田原平○太郎　小田原兵、太郎（三九、九、二二　二四、四）
夏目○　要　夏田、　要（三九、一〇、二四　二六、三）
大○田芳太郎　太、田芳太郎（三九、一〇、二三　二五、四）
荒地　京藏○　荒地　京造、（三九、一〇、二三　二六、一）
砲○兵○輸卒　輜、重、輸卒　大西　杉松（三九、一〇、二三　二六、三）
砲○兵○輸卒　同、（官等ノ項）岡田兵三郎（三九、一〇、二三　二六、三）
砲○兵○輸卒　同、（官等ノ項）篠原駒五郎（三九、一〇、二三　二六、三）
喜井　鶴藏○　喜井　鶴造、（三九、一〇、二三　二六、三）
一○等卒　二、等卒　竹治槐太郎（三九、一〇、二三　二八、三）
菊地○　卯平　菊池、　卯平（三九、一〇、二三　二一、一）
岡○本○　榮次　忍、那、　榮次（三九、一〇、二四　二八、一）
中原○嘉平治　中平、嘉平治（三九、一〇、二四　二八、四）
西谷○　清八　西内、　清八（三九、一〇、二四　二八、四）

稲川好○太郎　稲川芳、太郎（三九、一〇、二四　二九、一）
土居○　稔治　土井、　稔治（三九、一〇、二四　三〇、一）
南土居梅○治○　南土居　梅、（三九、一〇、二四　三〇、二）
大葉勢○福太郎　大葉瀬、福太郎（三九、一〇、二四　三〇、四）
岡本　常○次　岡本　榮、次（三九、一〇、二四　四〇、二）
中家元○治郎　中家元、治郎（三九、九、二七　一二、四）
岩田又○治○郎　岩田治、次、郎（三九、九、二七　一五、一）
木南　了幼○　木南　了幻、（三九、九、二七　一五、一）
一○等看護長　同、（官等ノ項）岡崎得三郎（三九、一〇、一〇　三七、二）
歩兵上○等兵○　元、歩兵一等卒、木村敬助（三九、一〇、一〇　四〇、一）
高山　末○二○　高山　末吉、（三九、八、三〇　一一、四）
功力市四○郎　功力市太、郎（三九、八、三〇　八、三）
騎兵上○等兵○　同、（官等ノ項）小林　直助（三九、八、三〇　一二、一）
騎兵上○等兵○　同、（官等ノ項）持丸　邦夫（三九、八、九　三九、四）
岩○崎綾四郎　山、崎綾四郎（三九、九、三　四七、四）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）岩瀬猪太郎（三九、八、一四　三一、一）
一○等卒○　上、等兵、石原　國藏（三九、八、一四　三一、一）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）中河爲治○　中河爲次、（三九、八、一四　三一、二）
板倉○豐三郎　板食、豐三郎（三九、八、一四　四五、二）
歩兵二○等卒　同、（官等ノ項）石崎　嘉吉（三九、八、一五　一四、四）
木○村○庄太郎　石、谷、庄太郎（三九、八、一五　六、二）
一○等卒　二、等卒　中川喜一郎（三九、一〇、二六　三〇、三）
宮向井平○次郎　宮向井米、次郎（三九、一一、九　二二、一）
澤田文次○郎　澤田文太、郎（三九、一一、九　二二、一）
上○等兵○　一、等卒、長谷川清藏（三九、八、一四　四六、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　倉田　梅吉（三九、八、一四　四七、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　篠川善次郎（三九、八、一四　四七、二）
上○等兵○　一、等卒、村田　十吉（三九、八、一四　四七、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　村澤　仁藏（三九、八、一四　四七、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　増田幸治郎（三九、八、一四　四七、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　若林　亀吉（三九、八、一四　四七、四）

元○ヲ脱ス（官等ノ項）　平田善五郎（三九、八、一四　四七、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　伊藤　民藏（三九、八、一四　四七、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　市川　傳（三九、八、一四　四七、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　諸岡助四郎（三九、八、一四　四八、一）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　植村　由藏（三九、八、一四　四八、一）
軍○曹○　伍、長、谷口　佐内（三九、八、一四　四八、二）
上○等兵○　一、等卒、高尾　八識（三九、八、一四　四八、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　江藤橋太郎（三九、八、一四　四八、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　前田銀三郎（三九、八、一四　四八、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　田中　源吉（三九、八、一四　四八、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　道清重三郎（三九、八、一四　四八、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　東　彌太郎（三九、八、一四　四八、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　脇田　佐七（三九、八、一四　四八、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　岡本貞次郎（三九、八、一四　四八、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　吉岡榮五郎（三九、八、一四　四八、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　中村庄兵衛（三九、八、一四　四八、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　岡　光太郎（三九、八、一四　四八、四）
上○等兵○　一、等卒、坂場初次郎（三九、八、一四　四八、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　鹿間勘五郎（三九、八、一四　四八、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　平岡國太郎（三九、八、一四　四八、四）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）泉　關之助（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　谷川善次郎（三九、八、一五　一、二）
上○等兵○　一、等卒、小森安左衛門（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　杉田　槌松（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　山本　宇吉（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　水谷俊之助（三九、八、一五　一、二）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）仲　萬十郎（三九、八、一五　一、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　岩永岩次郎（三九、八、一五　一、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　小倉　平吉（三九、八、一五　一、四）
上○等兵○　一、等卒、片山寅太郎（三九、八、一五　一、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　新谷　末吉（三九、八、一五　一、四）

上○等兵○　一、等卒、田中與三次郎（三九、八、一五　一、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　川添午之助（三九、八、一五　一、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　金丸　岩藏（三九、八、一五　一、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　中湖忠三郎（三九、八、一五　一、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　伊藤　露吉（三九、八、一五　一、二）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）平生平次郎（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　稲垣豐太郎（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　松岡　由松（三九、八、一五　一、二）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）中川　文作（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　野口　藤吉（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　稲葉　由松（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　水谷源兵衛（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　太田長之助（三九、八、一五　一、二）
上○等兵○　一、等卒、黒田　初藏（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　石垣　國松（三九、八、一五　一、二）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）吉原鐵三郎（三九、八、一五　一、三）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）世古藤三郎（三九、八、一五　一、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　鈴木政次郎（三九、八、一五　一、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　野口留次郎（三九、八、一五　一、三）
上○等兵○　一、等卒、中嶋　文助（三九、八、一五　一、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　松本　助市（三九、八、一五　一、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　北村周次郎（三九、八、一五　一、四）
上○等兵○　一、等卒、中崎　平八（三九、八、一五　一、二）
伍○長○　一、等卒、田川　米藏（三九、八、一五　一、二）
軍○曹○　伍、長、神谷　寛之（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　堀川　吉松（三九、八、一五　一、二）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）成田源之助（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　北川熊次郎（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　村田　鹿三（三九、八、一五　一、二）
上○等兵○　一、等卒、川口吉五郎（三九、八、一五　一、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　吉田　定一（三九、八、一五　一、二）

元○ヲ脱ス（官等ノ項）　森　清吉（三九、八、一五　三、三）
上○等兵○　一、等卒、金津　三治（三九、八、一五　三、三）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）森下　利吉（三九、八、一五　三、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　打田　利一（三九、八、一五　三、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　草山　豐吉（三九、八、一五　三、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　大西次太郎（三九、八、一五　三、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　押田　重次（三九、八、一五　三、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　藤井　定吉（三九、八、一五　三、四）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　川上作次郎（三九、八、一五　四、一）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　伊藤　磐六（三九、八、一五　四、一）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）大藤　森藏（三九、八、一五　四、一）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　稲葉千太郎（三九、八、一五　四、一）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）山本伊之助（三九、八、一五　四、一）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　小林与三五郎（三九、八、一五　四、二）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）加藤音次郎（三九、八、一五　四、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　東　末吉（三九、八、一五　四、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　伊藤文五郎（三九、八、一五　四、二）

左記ノ者今般孰モ削除セラレタルニ付キ取消ス

看護卒　大塚卷太郎（三九、一〇、九　三一、二）
輜重輸卒　小峯　鶴吉（三九、一〇、一三　四一、三）
騎兵二等卒　吉田　金助（三九、一一、一九　四六、三）
歩兵一等卒　木下喜兵衛（三九、八、一六　三一、三）
通譯　渡邊　倉藏（四〇、三、一　一、三）
元歩兵一等卒　藤井　吉平（三九、九、一四　四六、一）
元歩兵一等卒　長井倉次郎（三九、九、一五　五、一）
元歩兵一等卒　豐島　鑠重（三九、九、一五　七、一）
豐島　鑠吉
歩兵上等兵　平岡兵三郎（三九、九、一五　八、二）
歩兵一等卒　後藤興兵衛（三九、九、一二　四、三）
輜重輸卒　高橋　濟次（三九、九、一三　七、一）
歩兵一等卒　須佐美角松（三九、一一、二七　一八、三）
輜重輸卒　新居　喜藏（三九、一〇、二四　一五、四）
輜重輸卒　原田　熊次（三九、一〇、八　一九、三）
輜重輸卒　谷井庄次郎（三九、一〇、八　二一、二）
輜重輸卒　大野　善治（三九、一〇、八　一八、四）
輜重輸卒　行川　龍市（三九、一〇、八　一一、三）
輜東輸卒　谷口千賀藏（三九、一〇、八　一八、二）

元○ヲ脱ス（官等ノ項）　林　清治郎（三九、八、一五　四、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　福山　彌吉（三九、八、一五　四、二）
軍○曹○　伍、長、谷口政次郎（三九、八、一五　四、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　門脇惣十郎（三九、八、一五　四、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　西岡作太郎（三九、八、一五　四、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　米川　喜是（三九、八、一五　四、二）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　土屋政之助（三九、八、一五　四、三）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）赤塚惣兵衛（三九、八、一五　四、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　澤田　淺吉（三九、八、一五　四、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　濱地　庄吉（三九、八、一五　四、三）
上○等兵○　一、等卒、寺本清治郎（三九、八、一五　四、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　丸橋五郎吉（三九、八、一五　四、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　宮崎　末藏（三九、八、一五　四、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　布村　秀吉（三九、八、一五　四、三）
元○ヲ脱ス（官等ノ項）　小川彌次郎（三九、八、一五　四、四）
歩兵上○等兵○　同、（官等ノ項）麻生　周藏（三九、八、一五　四、四）

賞勳局書記官

輜重輸卒　高橋　兵八（三九、一一、六　二、二）
輜重輸卒　藤本要五郎（三九、一一、六　二九、一）
輜重輸卒　矢田　炭次（三九、一一、六　二、二）
輜重輸卒　片山源太郎（三九、一一、一三　三、二）
輜重輸卒　土居　兼馬（三九、一一、一三　四三、一）
輜重輸卒　衣斐覺太郎（三九、一一、一三　四三、二）
輜重輸卒　藤本　鶴吉（三九、一〇、八　八、二）
輜重輸卒　木本喜三郎（三九、一一、六　一、三）
元輜重輸卒　山角　卯八（三九、一一、六　三〇、一）
輜重輸卒　岡田吉太郎（三九、一〇、八　五、二）
輜重輸卒　平尾　音助（三九、一〇、二四　五、三）
輜重輸卒　祇園伊勢松（三九、一一、六　二、一）
輜重輸卒　田村隆太郎（三九、一一、六　四、一）
輜重輸卒　上原　新吉（三九、一〇、八　五、二）
輜重輸卒　宮崎角太郎（三九、一〇、八　一、四）
輜重輸卒　竹内健次郎（三九、一〇、八　六、一）
輜重輸卒　植原菊太郎（三九、一〇、八　七、二）
騎兵一等卒　松尾計三郎（三九、一一、二六　四四、二）
元工兵上等兵　中島　聖藏（三九、一一、二四　四三、二）

砲兵一等卒　市川常之助（三九、八、六　五、二）
輜重輸卒　大西　德藏（三九、一〇、三一　七、三）
砲兵一等卒　竹林　勝治（三九、九、一五　八、四）
砲兵輸卒　武藤菅太郎（三九、九、一五　三、二）
砲兵輸卒　小川廣之助（三九、一〇、四　二、二）
歩兵二等卒　阪口駒次郎（三九、八、二　三〇、四）
歩兵二等卒　林　辰之助（三九、八、二　七、二）

輜重輸卒　大宮利三太（[illegible]）
歩兵一等卒　鈴木　豐吉（[illegible]）
歩兵二等卒　石田　猪六（[illegible]）
歩兵一等卒　後藤　鶴吉（[illegible]）
輜重兵一等卒　加藤八十吉（[illegible]）
歩兵一等卒　小椋金太郎（[illegible]）
輜重輸卒　中野安次郎（[illegible]）

第7142号　敍任及辭令